

作成日：西暦 2023 年 1 月 16 日

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

**研究課題名：**若年低体重女性における栄養状態の実態調査

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1．研究の対象

2022 年度職員健診で低体重(BMI<17.5)を指摘され、藤田医科大学病院栄養評価外来に紹介された患者（2022 年 11 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに初診で受診された方で男女含む）

また、2022 年度の職員健診を受診した 20 歳から 40 歳までの男性および女性の方。

### 2．研究目的・方法・研究期間

現在、モデル体型として若い女性の間でシンデレラ体重という言葉が飛び交っています。

シンデレラ体重とは BMI 18 の人を指しますが、一般的には低体重とされる体重です。

しかし、若い女性の低体重は社会問題になっており、不妊、将来の糖尿病発症、骨折などのリスクを抱えることとなります。しかし普通は病院受診のきっかけが無いので、実態は不明な点が多いです。そのため、当院の検診で BMI<17.5 の方を対象に、栄養状態、ビタミン欠乏症の頻度、体組成について調査します。

方法は、カルテを用いて下記の情報を収集し、ビタミン欠乏の比率、低栄養の重症度、体組成の実態について調べます。期間は研究が承認されてから、2027 年 3 月 31 日までです。今年度の職員健診を受診した 20 から 40 歳までの女性（BMI、握力、血圧、HbA1c、総コレステロール、リンパ球数）及び男性（BMI、年齢）の方については、名前がすでにわからない状態で健診受診時の情報を提供いただき、正常範囲の設定に利用します。

### 3．研究に用いる試料・情報の種類

情報：

- 性別、年齢、身長、体重、BMI、
- 20 歳時、1 年前の、現在の体重と BMI
- 握力（右、左）、下腿周囲長、血圧
- 体脂肪率、骨格筋量、内臓脂肪指数 (Inbody で測定)

- 食品摂取頻度調査の結果（総エネルギー、各栄養素摂取量、食品摂取の頻度など）
- 下記検査データ（健診時及び栄養評価外来の紹介受診時\*）  
ヘモグロビン、WBC、リンパ球数、総コレステロール、トリグリセリド、LDLc、  
HDLc、アルブミン、プレアルブミン、FT<sub>4</sub>、TSH、ビタミン B1、B12、葉酸、25OH  
ビタミン D、ALP、BAP、TRACP-5b、カルシウム、リン、クレアチニン、BUN、  
eGFR、HbA1c、CRP
- \* は6ヶ月以内
- 併存疾患（低栄養の鑑別で新たに分ったものを含む）

観察時期：2022 年度健診、健診後二次検診受診後（検診から大体 6 ヶ月以内）。

観察期間：検診後に紹介受診され、採血結果が全て判明した時点。

#### 4．外部への試料・情報の提供

外部への情報の提供はありません。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

#### 5．研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

#### 6．除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。さらに、研究への不参加あるいは途中で参加を取りやめることによって、勤務評定などにおいて不利益な取扱いを受けることはありません。

なお、健康管理部より提供いただく 20 歳から 40 歳の男女のデータに関してはすでに匿名化された後のデータで個人が特定できないため、研究参加拒否の申請があっても削除できません。

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範

圏内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 臨床栄養学講座

担当者：飯塚 勝美

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329

e-mail:katsumi,iizuka@fujita-hu.ac.jp

## 「栄養関連転写因子と悪性腫瘍の重症度との関連に関する観察研究」への協力をお願い

研究機関 藤田医科大学

研究責任者 医学部 臨床栄養学講座

飯塚 勝美

第1版 2021年11月25日作成

### 1. はじめに

これから、藤田医科大学臨床栄養学講座において行われている臨床研究について説明いたします。わからないことがあれば、どんなことでも担当者にお聞き下さい。この説明文書をお読み頂き、内容を十分理解した上で、今回の研究に参加してもよいと思われた場合には、「同意文書」に署名をお願いします。

あなたがこの研究に参加するかどうかは、あなた自身の自由な意思で決めてください。たとえ研究に参加されなくても、担当医師と気まづくなるなどの不利な扱いを受けることはありません。担当医師は、あなたにとって最も適した治療を行います。

また、あなたが研究に参加した後に途中で参加をやめたいと思った場合でも、理由に関係なくいつでもやめることができます。その場合でも、不利な扱いを受けることなく、あなたにとって最も適した治療に切り替えます。

### 2. 臨床研究について

病気の診断やその治療方法は、医師個人の経験則や過去からデータの積み重ねにより評価され、発展してきました。「臨床研究」とは、患者さんなど多くの方々にご協力いただき、新しい治療方法の有効性や安全性を科学的に評価していく研究活動です。

この臨床試験は、参加された方の安全や人権を守るため、国が定めた指針に従って実施されます。この研究を行うにあたり、藤田医科大学医学研究倫理審査委員会にて厳密な審査を行い、藤田医科大学 学長の許可を得た上で実施しております。

### 3. あなたの病気について

大腸がん、胃がん、肝臓がんは古くから食べ物との関係が取り沙汰されています。現在は手術や化学療法の発展により、治療成績が大きく改善している分野です。当然ながら病気の進行が軽いうちに治療できると成績も良くなります。

### 4. 研究の目的及びその意義

本研究では、手術で摘出された病気の場所で発現している遺伝子(転写因子と言う、食べ物で調節されるスイッチです)の量から病気の進み具合を将来的に予測できるかを明らかにします。食べ物のスイッチなので、今まで食べてきたものの影響を考慮することで予測が正確になる可能

性がありますので、同時に調べます。手術前1年間の食事の摂取に関する情報について、FFQ（食物摂取頻度調査）を用いて調査し、食事の影響を考慮した上で、がん、転写因子の関係を調べます。この研究から将来的にはこの転写因子が調節する血液中の物質の量を測定することや胃カメラ大腸カメラの検査をするだけで、癌の進行が予測できるようになればと考えて、この研究を企画しました。

## 5. 研究の方法

### （1）予定される研究期間

倫理審査委員会承認日から2026年3月までを予定しています。

### （2）対象となる患者さん

藤田医科大学病院総合消化器外科に通院し、手術を受ける胃癌、大腸癌、肝癌患者で、本研究の参加にあたり、十分な説明を受けた後に、十分な理解の上に、本人の自由意志による文書同意が得られた20歳以上85歳未満の患者さんです。他に腎臓や肝臓に重たい病気のある人は除きます。

### （3）参加予定者数

この研究では、胃癌、大腸癌、肝癌の各々120名の患者さんの参加を予定しております。

### （4）この研究で行う研究方法

特に治療に対して、何か特別なことを行うことはありません。手術で摘出された標本とカルテの情報から、予測モデルを作成します。なお本研究でご協力いただく臨床情報および検体(手術検体)は、本学バイオバンク(藤田医科大学:HG21-025「新薬・診断薬の開発を主たる目的としたバイオバンク・データベース構築 臨床検査 データ付サンプルの系統的保存」)の一環でバイオリソース室(大学1号館112号室)に一度保管させていただいたものを利用します。バイオバンクで保管された試料は、倫理委員会で承認された別の研究に提供される場合があります。上記試料の二次的な利用が行われた場合には、このような説明文書で当該研究者より公表されます。

### （5）検査及び観察項目

観察項目を研究期間内に調べます。

- 年齢、性別、BMI、化学療法の有無と使用した薬剤
- がんの摘出部位
- FFQ データ(総エネルギー、炭水化物、脂質、タンパク、食物繊維、塩分のいずれか)
- 組織より抽出した mRNA から合成した cDNA を用いた定量的 PCR
- 悪性腫瘍ステージングのため、画像検査データ、病理組織データ

- 内視鏡生検により得た組織サンプル
- 血算、血糖、HbA1c、脂質、腎機能、HBsAb、HCVAb、ANCA、アルブミン、Prognostic nutritional index (PNI)、インスリン、HOMA-R、Fib-4 index
- 飲酒量
- 手術術式と術後合併症の種類、有無

## 6. 予測される利益・不利益

### (1) 予定される利益

本研究は治療介入を行わない観察研究である。疾患の治療方針は通常診療として主治医と患者の意思により決定されるため、本研究に参加することによる治療上での直接的な患者の利益、不利益はともにありません。本研究へ参加することによる研究対象者への直接の利益は生じません。しかし研究成果により将来の医療の進歩に貢献できる可能性がある。明らかなリスクは認めず、将来診療で用いられる可能性の高い基礎データが得られることは対象者への利益が勝ります。探索研究であり、リスクがほぼない検討のため、個人情報の保護に十分留意します。

### (2) 予想される不利益（負担および予測されるリスク）

検査は診療の範囲名であり、手術においても切除量が増加することはありません。検査に使用するサンプル量は数ミリ程度で手術で切除される領域と比較して、大変小さいです。

## 7. 研究に係る費用の負担等

この研究に参加することで、通常の診療と比べ、あなたの経済的負担が増えることはありません。また、この研究に参加されることに対する謝礼はありません。

## 8. 研究に関する情報公開

研究成果は英語論文の形で公表いたします。また、医局のホームページなどにも合わせて公開しております。

研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。希望される場合は、担当医師にお申し出下さい。

藤田医科大学 臨床栄養学のホームページ : <https://www.clin-nutr.med.fujita-hu.ac.jp>

## 9. 試料・情報の保管及び破棄について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された検体や診療情報などのこの研究に

関するデータは、あなたのお名前を識別コード（文字や数字を組み合わせたもの）に置き換えるなど個人を特定できない様に管理します。あなたのお名前と識別コードを結びつける一覧表は、研究に関するデータとは別に管理します。この研究で得られた結果は、学会や医学論文などに公表される場合がありますが、その際は識別コードに置き換えられた情報のみが公表されるため、プライバシーは保護されます。

検体の管理・保管は藤田医科大学臨床栄養学講座もしくはバイオバンク（予定）で行われ、検体は研究終了 5 年後(予定、再延長の場合があります)に破棄します。情報の保管・解析は臨床栄養学講座医局もしくはバイオバンクで行われ、医局内の鍵の掛かる棚にて保管します。データは、研究の正確性を後に判断する事を可能とするために、可能な限り長期に保管し（少なくとも研究成果の公表後 10 年）、破棄する際は、藤田医科大学で決められた手順で行います。

**バイオバンクを使用するため、研究対象者から同意を受ける時点では特定されない将来の研究のために他の研究機関、診療科に提供する可能性が存在します。匿名化検体データ及び ID 紐付け情報が提供される可能性が考えられます。**

## 10. この研究で得られた結果の取り扱いについて

今回の研究で実施する検査は、まだ研究途上にあり十分にわかっていない段階であるため、個別に結果をお知らせすることはありません。どうかご了承ください。

## 11. 特許権等について

本研究の結果として特許権などが生じる可能性があります。その権利は研究機関及び研究者に属することになり、あなたには属しません。

## 12. 研究の資金等と利益相反（企業等との利害関係）

使用する研究費は本学内の研究費です。企業等から研究資金や物的・人的な支援を受けません。研究責任者とそのグループに本研究に係わる企業等との経済的な利害関係はありません。藤田医科大学利益相反委員会から承認を得るとともに、そのマネジメントを継続的に受けて、本研究の公正性を保ちます。

## 13. 研究体制

研究責任者 臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美  
研究分担者 総合消化器外科講座 教授 須田 康一  
総合消化器外科講座 准教授 田中 毅

総合消化器外科講座 講師 秋元 信吾  
総合消化器外科講座 助教 後藤 愛  
消化器内科講座 教授 廣岡 芳樹  
消化器内科講座 教授 柴田知行  
消化器内科講座 教授 宮原良二  
消化器内科講座 教授 橋本千樹  
消化器内科講座 准教授 中川義仁  
消化器内科講座 准教授 葛谷貞二  
病理診断学 教授 塚本 徹哉  
病理診断学 准教授 山田勢至

#### 1.4 相談窓口

研究機関名： 藤田医科大学 臨床栄養学講座

研究責任者： 飯塚勝美(教授)

連絡先： 藤田医科大学臨床栄養学講座

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

Tel: 0562-93-2329

作成日：西暦 2021 年 10 月 25 日

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：TG/HDLc 比の体組成マーカーとしての意義に関する観察研究

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1．研究の対象

2019 年 4 月から 2021 年 9 月まで藤田医科大学 内分泌・代謝内科学教室の外来に通院した糖尿病患者のうち、体組成測定装置 In body、空腹時採血 (TG 及び HDLc を含む) 結果がある患者さん

### 2．研究目的・方法・研究期間

サルコペニアは寝たきりや QOL の低下につながる病態であり、さまざまな病因により生じる。サルコペニアの診断は、筋肉量、筋力、活動量などで総合的に診断されるが、筋肉量の評価には、In body などの体組成計を必要としますので煩雑です。そこで、インスリン抵抗性の指標である TG(トリグリセリド)/HDLc 比が体脂肪率や SIM といった体組成を反映する指標たり得るかをカルテから得られた情報をもとに解析します。さらに、サルコペニアと肥満を合併した患者(いわゆるサルコペニア肥満)での TG/HDLc 比を、サルコペニアのみ、肥満のみ、非肥満非サルコペニア群と比較し、簡便なサルコペニア肥満のスクリーニング検査になるか検証します。研究期間は倫理審査委員会承認日～2025 年 3 月 31 日までです。

### 3．研究に用いる試料・情報の種類

カルテより入手する情報は、ID、年齢、性別、身長、体重より計算した BMI、空腹時血中 TG、空腹時血中 HDLc から計算した TG/HDLc 比、BIA 法 (Inbody)を用いた体組成の値(体脂肪率、体脂肪量、筋肉量、四肢及び体幹筋量、SIM)、脂質異常症内服薬の有無、参考項目として、内服薬、HbA1c、Cre、握力の数値

### 4．外部への試料・情報の提供

なし

## 5 . 研究組織

本学の研究責任者：藤田医科大学 臨床栄養学 教授 飯塚 勝美

## 6 . 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

藤田医科大学 臨床栄養学講座

担当者：飯塚勝美

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329

e-mail:katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

作成日：西暦 2021 年 11 月 12 日

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：患者背景が食行動に与える効果の検討

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1. 研究の対象

- 2019 年 4 月から 2022 年 4 月まで藤田医科大学病院 内分泌・代謝・糖尿病内科の外来に通院した糖尿病患者
- 2021 年 4 月から 2022 年 4 月まで藤田医科大学国際医療センターに検診を受けに来られた方
- 2021 年 4 月から 2022 年 4 月までに五島医院を受診された患者

### 2. 研究目的・方法・研究期間

食事療法は生活習慣病の治療の柱と考えられています。しかし、食事は、本人の思考だけでなく、家庭の経済状況、社会状況により大きい影響を受けます。高齢社

会、世代間格差が叫ばれる中、社会的な背景を加味した栄養指導が今後要求されていくと考えられます。しかし、通院している医療機関の規模や検診機関によって、通院患者の社会背景に違いが見られると考えられると予想されますが、エビデンスはまだありません。年齢は食事摂取量を規定する重要な因子であることがよく知られていますが、これが施設（患者の経済的社会的背景）の違いによりその効果が異なるかは不明です。

そこで医療機関（通常の外来通院患者、会員制精密検診施設、郊外の開業医）における患者の食環境について、今回対象の施設では日常診療に用いられている食物摂取頻度調査（FFQ）の結果を利用し、通院している医療機関の違いを加味して、年齢が食行動に及ぼす影響を明らかにします。本研究で診療機関による違いが明らかとなれば、高齢者に対してより注力すべき栄養素に対する効率的な栄養指導が施設ごとに可能になると考えられます。

方法は、カルテから、年齢、性別、BMI、HbA1c、eGFR、糖尿病罹病歴、データを得た施設、FFQにより聴取した食事組成データを取得し、年齢と食組成の関係を、性別、性別、BMI、HbA1c、eGFR、糖尿病罹病歴、データを得た施設の影響を考慮して（交互作用）解析します。

研究期間は倫理審査委員会承認日～2025年3月31日です。

### 3 . 研究に用いる試料・情報の種類

- 年齢、性別
- 身長、体重より計算した BMI
- 糖尿病罹病歴の有無
- HbA1c, eGFR
- 身長、体重より計算した BMI
- 問診より得られた FFQ（総エネルギー、炭水化物エネルギー比、脂質エネルギー比、タンパク質エネルギー比、食物繊維量、塩分量、各糖質エネルギー比、飽和脂肪酸エネルギー比）

### 4 . 外部への試料・情報の提供

該当なし

### 5 . 研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚 勝美

既存試料・情報の提供のみを行う機関：

五島医院 五島英一

## 6 . 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

### 【相談窓口】

藤田医科大学 医学部 臨床栄養学 講座 教授 飯塚勝美

〒470-1192

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1 - 98

e-mail: katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

なお、この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

## 「食事アプリの個人間、日差間、機種間変動に関する調査研究」への協力をお願い

研究機関 藤田医科大学  
研究責任者 医学部 臨床栄養学講座  
飯塚勝美

第1版 2021年10月25日作成

### 1. はじめに

これから、藤田医科大学臨床栄養学講座において行われている臨床研究について説明いたします。わからないことがあれば、どんなことでも担当者にお聞き下さい。この説明文書をお読み頂き、内容を十分理解した上で、今回の研究に参加してもよいと思われた場合には、「同意文書」に署名をお願いします。

あなたがこの研究に参加するかどうかは、あなた自身の自由な意思で決めてください。たとえ研究に参加されなくても、参加しない場合でも評価等の関連はなく不利益は生じません。

また、あなたが研究に参加した後に途中で参加をやめたいと思った場合でも、理由に関係なくいつでもやめることができます。その場合でも、不利な扱いを受けることはありません。

### 2. 臨床研究について

病気の診断やその治療方法は、医師個人の経験則や過去からデータの積み重ねにより評価され、発展してきました。「臨床研究」とは、患者さんなど多くの方々にご協力いただき、新しい治療方法の有効性や安全性を科学的に評価していく研究活動です。

この臨床試験は、参加された方の安全や人権を守るため、国が定めた指針に従って実施されます。この研究を行うにあたり、藤田医科大学医学研究倫理審査委員会にて厳密な審査を行い、藤田医科大学 学長 の許可を得た上で実施しております。

### 3. 食事と病気の関係について

糖尿病、高血圧、脂質異常症、心臓血管疾患、悪性腫瘍などのさまざまな疾患の予防には、食事を含めたライフスタイルの改善が必要です。そのためには食事内容の正確な把握が必要ですが、正確な評価方法が確立されていません。近年食事記録アプリが開発されていますが、正確性、再現性についてのエビデンスは確立されていません。

### 4. 研究の目的及びその意義

そこで本研究では、2つの食事記録アプリを用いて、日差間、個人間での変動を明らかにし、将来的にアプリを食事調査で利用できるか明らかにします。

### 5. 研究の方法

( 1 ) 予定される研究期間

倫理審査委員会承認日から 2024 年 3 月までを予定しています。

( 2 ) 対象となる被験者の方

スマートフォンをお持ちでアプリをダウンロードでき、この研究に協力していただける方。

( 3 ) 参加予定者数

この研究では、10 名(最大 20 名)の被験者の参加を予定しております。

( 4 ) この研究で行う検査

用意された食事を、2 種類の食事記録アプリで撮影し、解析した結果をアンケート用紙に記入していただきます。(アンケート用紙とともに、年齢、性別、BMI、職業の情報を取得します)  
なお、検査に用いる食事の試食は行いません。

( 5 ) 検査及び観察項目

第 0 日 参加者の背景情報(性別、年齢、身長および体重から計算した BMI)

第 1 日から第 5 日 市販食品および病院食のアプリ撮影、解析、アンケート用紙への結果の記入

( 6 ) その他

特になし

## 6. 研究終了後の医療の提供について

特になし

## 7. 予測される利益・不利益

( 1 ) 予定される利益

直接的な利益はありませんが、本研究へ参加することによる研究対象者への直接の利益は生じない。しかし研究成果により将来の医療の進歩に貢献できる可能性があります。

( 2 ) 予想される不利益(負担および予測されるリスク)

アプリ撮影時間は数秒であり、全ての行為は 1 日あたり 1 分未満であり、被験者の負担、リスクはありません。

## 8. 他の治療方法について

治療は本研究には含まれません。

## 9. 研究への参加を中止する場合について

あなたが研究への参加を辞めたいと申し出た場合には中止します。

## 10. 健康被害が起きた場合の処置及び補償

本研究は侵襲を伴わないため、該当しません。

## 11. 研究に係る費用の負担等

この研究に参加されることに対する謝礼はありません。

## 12. 研究に関する情報公開

この研究に関する情報は医局のホームページなどにも合わせて公開しております。

研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、他の参加者の個人情報保護やこの研究の独創性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。希望される場合は、担当医師にお申し出下さい。

本研究は、研究結果については、学会、論文等で発表予定です。

藤田医科大学 臨床栄養学のホームページ <https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/medicine/department/j93sdv0000005dgu.html>

また、あなたがこの研究に参加している間に、研究継続の意思に影響を与えるような新しい情報（有害事象など）が得られた場合には、担当医師が速やかにその情報の内容について説明します。その際、この研究に継続して参加するかどうかを改めてお聞きします。研究への継続を希望される場合には、引き続き参加できます。また、研究をやめたいと思われた場合には、いつでもやめることができますのでお申し出下さい。

## 13. 試料・情報の保管及び破棄について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された検体や診療情報などのこの研究に関するデータは、あなたのお名前を識別コード（文字や数字を組み合わせたもの）に置き換える

など個人を特定できない様に管理します。あなたのお名前と識別コードを結びつける一覧表は、研究に関するデータとは別に管理します。この研究で得られた結果は、学会や医学論文などに公表される場合がありますが、その際は識別コードに置き換えられた情報のみが公表されるため、プライバシーは保護されます。

検体の管理・保管は藤田医科大学臨床栄養学教室で行われ、検体は研究終了10年後に破棄します。情報の保管・解析は藤田医科大学臨床栄養学講座 医局で行われ、医局内の鍵の掛かる棚にて保管します。データは、研究の正確性を後に判断する事を可能とするために、可能な限り長期に保管し（少なくとも研究成果の公表後10年）、破棄する際は、藤田医科大学で決められた手順で行います。

#### 14 この研究で得られた結果の取り扱いについて

今回の研究で実施する検査は、まだ研究途上にあり十分にわかっていない段階であるため、個別に結果をお知らせすることはありません。どうかご了承ください。

#### 15 特許権等について

本研究の結果として特許権などが生じる可能性があります。その権利は研究機関及び研究者に属することになり、あなたには属しません。

#### 16. 研究の資金等と利益相反（企業等との利害関係）

使用する研究費は本学内の研究費です。

あすけんおよびライフログテクノロジー社から、食事記録アプリを無償で貸与されますが、研究資金は受けません。

研究責任者とそのグループに本研究に係わる企業等との経済的な利害関係はありません。研究の実施に対して上記企業は一切関与しません。藤田医科大学利益相反委員会から承認を得るとともに、そのマネジメントを継続的に受けて、本研究の公正性を保ちます。

#### 17. 研究体制

【研究代表者】

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚 勝美

#### 18 相談窓口

研究機関名： 藤田医科大学 臨床栄養学講座

研究責任者： 飯塚 勝美(教授)

連絡先： 藤田医科大学 臨床栄養学講座

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

Tel: 0562-93-2329

(文例A)

「食事記録アプリによる患者指導の効率化/利便性への影響と指導効果に関する検討」への協力  
のお願い

研究機関 藤田医科大学  
研究責任者 医学部 臨床栄養学  
飯塚 勝美

第 版 2021年12月16日作成

## 1. はじめに

これから、藤田医科大学臨床栄養学講座において行われている臨床研究について説明いたします。わからないことがあれば、どんなことでも担当者にお聞き下さい。この説明文書をお読み頂き、内容を十分理解した上で、今回の研究に参加してもよいと思われた場合には、「同意文書」に署名をお願いします。

あなたがこの研究に参加するかどうかは、あなた自身の自由な意思で決めてください。たとえ研究に参加されなくても、担当医師と気まづくなるなどの不利な扱いを受けることはありません。担当医師は、あなたにとって最も適した治療を行います。

また、あなたが研究に参加した後に途中で参加をやめたいと思った場合でも、理由に関係なくいつでもやめることができます。その場合でも、不利な扱いを受けることなく、あなたにとって最も適した治療に切り替えます。

## 2. 臨床研究について

病気の診断やその治療方法は、医師個人の経験則や過去からデータの積み重ねにより評価され、発展してきました。「臨床研究」とは、患者さんなど多くの方々にご協力いただき、新しい治療方法の有効性や安全性を科学的に評価していく研究活動です。

この臨床試験は、参加された方の安全や人権を守るため、国が定めた指針に従って実施されます。この研究を行うにあたり、藤田医科大学医学研究倫理審査委員会にて厳密な審査を行い、藤田医科大学 学長の許可を得た上で実施しております。

## 3. あなたの病気について

糖尿病は血液中の糖が十分利用できなくなる栄養疾患です。十分な治療をせずにほっておくと、目が悪くなったり、腎臓が悪くなったり、全身の病気が生じる危険性が高まります。糖尿病にはいろいろなタイプがありますが、タイプの如何によらず食事療法は重要な治療の一つになります。入院して出される食事や食べ物（栄養治療）について考える大事なきっかけです。

## 4. 研究の目的及びその意義

医師や医療従事者により全く違うことを言われた経験はないでしょうか？情報の共有が十分にできていないため、食い違いが生じる場合があります。そのような説明治療の食い違いを防ぐために、今回の研究を立案しました。

医療におけるIT活用は目覚ましいものがあります。近年の進歩の一つとして、予防医療の観点で未病患者に対する食事摂取アプリの活用が挙げられます。しかし、発症後の栄養治療に食事摂取アプリが活用された事例は保険適応外であるため、ほとんどありません。近年働き方改革のため、医療従事者の業務時間短縮、仕事の効率化が求められており、患者教育に食事摂取アプリを活用することで、患者教育の向上だけでなく医療従事者の負担軽減につながると考えました。そこで本研究では、アプリに栄養処方箋を搭載することで、通院している病院だけでなくかかりつけ薬局にいる管理栄養士、薬剤師と情報共有することで、患者さん・医師・医療従事者にとって指導の効率化・利便性が向上するかを明らかにします。また、食事摂取アプリを栄養指導に併用することで、退院時の栄養療法の理解度や退院後の栄養療法の履行状況に影響を与えるかも検証します。

本研究では、アプリを使用したグループとアプリを使用しなかったグループを比較することで、アプリを活用することの利点、欠点を炙り出します。そのため、アプリを使用しなかった方にも十分な研究に対する貢献をしていただくことになるので、アプリを使用していただいた方と同様の謝礼をお支払いします。アプリを使用するかはコンピューターによるクジにより行うので、同意をいただく時点ではわかりません。

## 5. 研究の方法

### (1) 予定される研究期間

倫理審査委員会承認日から2026年3月までを予定しています。

### (2) 対象となる患者さん

藤田医科大学病院内分泌/代謝/糖尿病内科入院/通院中の糖尿病患者です。

選択基準は下記の通りです。

藤田医科大学病院内分泌/代謝/糖尿病内科入院し、退院後かかりつけ医に通院される糖尿病患者

1. 本研究の参加にあたり、十分な説明を受けた後に、十分な理解の上に、本人の自由意志による文書同意が得られた患者
2. 同意取得時に20歳以上75歳未満の患者
3. 携帯アプリが使用できる機種をお持ちの方かつアプリをダウンロードし、操作できる方。
4. 退院後1ヶ月及び3ヶ月目にスギ薬局にアンケート結果を解答していただき、栄養相

談（スギ薬局で処方を受けている場合は服薬指導も）を受ける意思のある方  
5. 連絡のため、スギ薬局に連絡先を伝えても良い方。  
（連絡先は本研究の連絡のため以外には使用しない）

アプリを使用できない方、医師が不適格と判断した場合は除外とします。

### （3）参加予定者数

この研究では、60名の患者さんの参加を予定しております。他に医療関係者（院内栄養士 30名、スギ薬局 管理栄養士・薬剤師 30名ずつ）も対象になっています。

### （4）この研究で行うこと

まず、医療従事者にとってこのアプリが患者指導の上で有用であったかを調査します。無記名でアンケートを行い、指導時間や労力をスコア化し、施設間、職種による比較を行います。患者様に対しては、食事摂取を記録解析するアプリ（スギサポ eat）を使用する群、使用しない群に分けて入院中に食事についての教育を行い、理解度を評価します。それぞれの群に割り付けられる確率は乱数表を用いるため、50%です。なお、薬物による介入はありません。退院後、1ヶ月、3ヶ月での栄養療法の遵守率についても調査します。

以下が調査項目です。

#### （主要評価項目）

アプリ活用による業務効率化・安全性・利便性の向上(医療従事者のみ)

#### （副次評価項目）

アプリ活用による食事治療についての理解度調査

アプリ活用による指示された栄養療法の遵守率への影響

アプリ活用による BMI、HbA1c、eGFR、尿アルブミンへの効果

### （5）検査及び観察項目

#### 入院時

- 性別、年齢、身長、体重、BMI、糖尿病の罹病期間、細小血管及び大血管合併症の有無
- 糖尿病のタイプ（1型、2型など）、内服薬、インスリン、GLP-1の有無
- HbA1c、eGFR、尿アルブミン
- 医師から指示された入院中の総エネルギー、炭水化物、脂質、タンパク、食塩摂取量
- FFQ 簡易版による推定食事摂取量（入院時）

#### 退院時

- 入院中の食組成、食事療法に対する理解度調査、アプリの機能改善に関するアンケート(患者)
- アプリ活用による業務効率化・利便性に関するアンケート（管理栄養士、薬剤師）

退院後 1 ヶ月、3 ヶ月

- 簡易 FFQ による総エネルギー、炭水化物、脂質、タンパク、食塩摂取量(患者に対して)  
退院後 1 ヶ月、3 ヶ月
- アプリの機能改善に関するアンケート(1 ヶ月のみ)
- アプリ活用による業務効率化・利便性に関するアンケート(1 ヶ月のみ、管理栄養士、薬剤師)
- 体重、HbA1c(患者から聞き取り)

## 6. 予測される利益・不利益

### (1) 予定される利益

本研究へ参加することにより、アンケート回答の対価として QUO カード 1500 円分を進呈します。さらに薬局にて栄養相談を受けられる利点もあります。最後に、研究成果により将来の医療の進歩に貢献できる可能性があります。

### (2) 予想される不利益(負担および予測されるリスク)

アプリ撮影時間は数秒で、全ての行為は 1 日あたり 1 分未満であり、被験者の負担、リスクはないと思われます。明らかにリスクは認めず、将来診療で用いられる可能性の高いアプリの基礎データが得られることは対象者への利益が上回ります。

## 7. 研究への参加を中止する場合について

あなたが研究への参加を辞めたいと申し出た場合には中止します。また、以下に該当する場合には、参加の途中であっても中止になることがあります。

- ・あなたの病気の状態や治療経過などから、研究を継続することが好ましくないと担当医師が判断した場合
- ・研究への参加基準を満たしていないことが明らかとなった場合
- ・この研究全体が中止となった場合
- ・その他、担当医師が中止したほうが良いと判断した場合

## 8. 研究に係る費用の負担等

この研究に参加することで、通常の診療と比べ、あなたの経済的負担が増えることはありません。また、この研究に参加されることに対するアンケートに答えていただくことに対して謝礼をお支払いします(退院時、退院後 1 ヶ月、3 ヶ月の計 3 回で 1 回あたり、500 円の QUO カードです)。

## 9. 研究に関する情報公開

本研究は公開データベース（JRCT や UMIN-CTR）に登録します。研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。希望される場合は、担当医師にお申し出下さい。

藤田医科大学 臨床栄養学のホームページ : <https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/medicine/department/j93sdv0000005dgu.html>

また、あなたがこの研究に参加している間に、研究継続の意思に影響を与えるような新しい情報（有害事象など）が得られた場合には、担当医師が速やかにその情報の内容について説明します。その際、この研究に継続して参加するかどうかを改めてお聞きします。研究への継続を希望される場合には、引き続き参加できます。また、研究をやめたいと思われた場合には、いつでもやめることができますのでお申し出下さい。

## 10. 試料・情報の保管及び破棄について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された検体や診療情報などのこの研究に関するデータは、あなたのお名前を識別コード（文字や数字を組み合わせたもの）に置き換えるなど個人を特定できない様に管理します。あなたのお名前と識別コードを結びつける一覧表は、研究に関するデータとは別に管理します。この研究で得られた結果は、学会や医学論文などに公表される場合がありますが、その際は識別コードに置き換えられた情報のみが公表されるため、プライバシーは保護されます。

検体の管理・保管は藤田医科大学臨床栄養学講座で行われ、検体は研究終了 10 年後に破棄します。情報の保管・解析は藤田医科大学臨床栄養学講座で行われ、医局内の鍵の掛かる棚にて保管します。データは、研究の正確性を後に判断する事を可能とするために、可能な限り長期に保管し（少なくとも研究成果の公表後 10 年）、破棄する際は、藤田医科大学で決められた手順で行います。食事記録アプリに使用したスギサポ ID は研究終了後無効になり、データも消去されます。

## 11. この研究で得られた結果の取り扱いについて

今回の研究で実施する検査は、まだ研究途上にあり十分にわかっていない段階であるため、個別に結果をお知らせすることはありません。どうかご了承ください。

## 12. 特許権等について

本研究の結果として特許権などが生じる可能性があります、その権利は研究機関及び研究者に属することになり、あなたには属しません。

## 13. 研究の資金等と利益相反（企業等との利害関係）

**研究資金：** 本学内の講座費もしくは JST の資金を一部使用する。他、外部の研究資金を受けない。

**物的・人的支援：** スギ薬局から食事記録アプリ（スギサポ eat）を無償で貸与（研究期間内）されて利用する。

**利益相反：** スギ薬局からは資金提供を受けておらず、研究責任者と研究分担者は企業スギ薬局との間に経済的関係が一切なく、また、本研究に係わる開示すべき利益相反はない。研究の実施（研究対象者のリクルート、データ管理、モニタリング、統計・解析に關与する業務のすべてを含む）に対して、スギ薬局は一切關与しない。ただし、医療従事者に対するアンケート調査の結果をスギ薬局から提供を受ける。藤田医科大学利益相反委員会へ申請を行い、利益相反マネジメントを受ける。

## 14. 研究体制

### 【研究代表者】

藤田医科大学病院 臨床栄養学講座 教授 飯塚 勝美

### 【研究分担者】

藤田医科大学 内分泌代謝糖尿病内科 教授 鈴木敦詞

藤田医科大学 産学連携センター 教授 瀬戸孝一

藤田医科大学 内分泌代謝糖尿病内科 准教授 清野祐介

## 15. 相談窓口

研究機関名： 藤田医科大学 臨床栄養学講座

研究責任者： 飯塚 勝美(教授)

連絡先： 藤田医科大学臨床栄養学講座

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

Tel: 0562-93-2329

# 「健診受診者における食品頻度摂取調査と食事記録アプリの比較検討」への協力をお願い

研究機関 藤田医科大学  
研究責任者 医学部 臨床栄養学講座  
飯塚勝美  
第1版 2022年07月25日作成

## 1. はじめに

これから、藤田医科大学医学部臨床栄養学講座において行われている臨床研究について説明いたします。わからないことがあれば、どんなことでも担当者にお聞き下さい。この説明文書をお読み頂き、内容を十分理解した上で、今回の研究に参加してもよいと思われた場合には、「同意文書」に署名をお願いします。

あなたがこの研究に参加するかどうかは、あなた自身の自由な意思で決めてください。  
また、あなたが研究に参加した後に途中で参加をやめたいと思った場合でも、理由に関係なくいつでもやめることができます。

## 2. 臨床研究について

病気の診断やその治療方法は、医師個人の経験則や過去からデータの積み重ねにより評価され、発展してきました。「臨床研究」とは、患者さんなど多くの方々にご協力いただき、新しい治療方法の有効性や安全性を科学的に評価していく研究活動です。

この臨床試験は、参加された方の安全や人権を守るため、国が定めた指針に従って実施されます。この研究を行うにあたり、藤田医科大学医学研究倫理審査委員会にて厳密な審査を行い、藤田医科大学 学長 の許可を得た上で実施しております。

## 3. 食事と疾患の関わりについて

食事と病気の関係はさまざまな疾患、生活習慣病、癌で指摘されています。しかし、従来の検査では正確な測定は難しい面がありました。食事の是正だけでも大きく病気が良くなるものもありますので、正確な食事調査法の確立が望まれます。

## 4. 研究の目的及びその意義

2種類の従来からある食品摂取頻度調査と近年民間で普及している食事記録アプリの記録7日分をそれぞれ比較し、両者の統計学的な関連を明らかにし、より簡便で使いやすい食事記録法への移行を目指します。また、両者とも塩分、脂質などは正確に測りにくいため、腸内細菌叢や尿ナトリウム(Na)、尿尿素窒素(UN)での補正が可能かを検討します。

## 5. 研究の方法

### (1) 予定される研究期間

倫理審査委員会承認日から 2026 年 3 月までを予定しています。

### (2) 対象となる患者さん

基礎疾患がなく、6 ヶ月以内の職場の健康診断で異常なしと言われ、BMI が 18.5・22 と正常体重である、20・60 歳の男女

### (3) 参加予定者数

この研究では、100 名の患者さんの参加を予定しております。

### (4) この研究で行う治療

観察研究（非介入研究）のため、介入はありません。

### (5) 検査及び観察項目

下記は健康管理室より、健診データまたは尿サンプルをいただく。

- 年齢、性別、身長、体重、BMI、血圧、最大既往体重、既往歴の有無、
- 体脂肪率、骨格筋指数 (In body で測定)
- 健康診断での血液検査データ
- 血算、肝機能(AST, ALT, GTP)、腎機能(Cre, BUN, eGFR)、血糖、HbA1c、脂質 (TG, T-Chol, HDLc, LDLc)
- 健診受診者の総人数と健診で異常を指摘されていない人数 (性別、年代別)
- 尿 Na、尿 Cre、尿 UN 用採尿(健診時に採取済みのものを解析)

今回新たに採取するものとして、質問票の説明時もしくは回収時に

- BDHQ 及び FFQ による総エネルギー、各栄養素摂取量
- 糞便検査 (腸内細菌叢検査、シンバイオシスより提供)
- アプリの測定データ (あすけんより提供)

#### 観察時期

健診終了後、6 ヶ月以内 (できるだけ 3 ヶ月以内を努力目標とする)

#### 観察期間

質問票の記入と、アプリを使用した最長 1 ヶ月間 (データとして 7 日間が最低必要)

### (6) その他

該当なし

## 6. 予測される利益・不利益

以下の点を参考に、わかりやすく記載して下さい。

### (1) 予定される利益

直接的な利益がない場合は、ありません。研究結果による社会的利益については、今後国際医療センターなどでの検診を含め、研究成果により将来の医療の進歩に貢献できる可能性がある。

### (2) 予想される不利益（負担および予測されるリスク）

研究対象者の負担としては、2種類の質問票に回答すること（合わせて、1時間程度）です。7日間は食事アプリを入力することが挙げられるため（1回5分程度）、時間的な負担が予想される。なお、参加による経済的負担はありません。採尿は健診時に保存されたものを用います。糞便を提出いただき、腸内細菌叢の検査をします。

## 7. 研究への参加を中止する場合について

あなたが研究への参加を辞めたいと申し出た場合には止めることができます。

## 8. 研究に係る費用の負担等

この研究に参加することで、通常の診療と比べ、あなたの経済的負担が増えることはありません。また、この研究に参加されることに対する謝礼はありません。

## 9. 研究に関する情報公開

研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。

藤田医科大学 臨床栄養学のホームページもしくは

<https://fujita.bvits.com/esct/publish.aspx>

また、あなたがこの研究に参加している間に、研究継続の意思に影響を与えるような新しい情報（有害事象など）が得られた場合には、担当医師が速やかにその情報の内容について説明します。その際、この研究に継続して参加するかどうかを改めてお聞きします。研究への継続を希望される場合には、引き続き参加できます。また、研究をやめたいと思われた場合には、いつでもやめることができますのでお申し出下さい。

## 10. 試料・情報の保管及び破棄について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された検体や診療情報などのこの研究に関するデータは、あなたのお名前を識別コード（文字や数字を組み合わせたもの）に置き換えるなど個人を特定できない様に管理します。あなたのお名前と識別コードを結びつける一覧表は、研究に関するデータとは別に管理します。この研究で得られた結果は、学会や医学論文などに公表される場合がありますが、その際は識別コードに置き換えられた情報のみが公表されるため、プライバシーは保護されます。

検体の管理・保管は藤田医科大学臨床栄養学講座で行われ、検体は研究終了5年後に破棄します。情報の保管・解析は藤田医科大学 臨床栄養学講座 医局で行われ、医局内の鍵の掛かる棚にて保管します。データは、研究の正確性を後に判断する事を可能とするために、可能な限り長期に保管し（少なくとも研究成果の公表後10年）、破棄する際は、藤田医科大学で決められた手順で行います。

## 1 1. この研究で得られた結果の取り扱いについて

今回の研究で実施する検査は、まだ研究途上にあり十分にわかっていない段階であるため、個別に結果をお知らせすることはありません。どうかご了承ください。

## 1 2. 特許権等について

本研究の結果として特許権などが生じる可能性があります。その権利は研究機関及び研究者に属することになり、あなたには属しません。

## 1 3. 研究の資金等と利益相反（企業等との利害関係）

使用する研究費は本学内の研究費です。企業等から研究資金や物的・人的な支援を受けません。研究責任者とそのグループに本研究に係わる企業等との経済的な利害関係はありません。藤田医科大学利益相反委員会から承認を得るとともに、そのマネジメントを継続的に受けて、本研究の公正性を保ちます。

## 1 4. 研究体制

### 【研究代表者】

藤田医科大学 医学部 臨床栄養学講座 教授 飯塚 勝美

## 1 5. 相談窓口

研究機関名： 藤田医科大学 医学部 臨床栄養学講座

研究責任者： 飯塚 勝美(教授)

連絡先： 藤田医科大学 臨床栄養学講座

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

Tel: 0562-93-2329、Fax: 0562-93-2329

作成日：西暦 2023 年 1 月 16 日

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

**研究課題名：**若年低体重女性における栄養状態の実態調査

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1．研究の対象

2022 年度職員健診で低体重(BMI<17.5)を指摘され、藤田医科大学病院栄養評価外来に紹介された患者(2022 年 11 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに初診で受診された方で男女含む)

また、2022 年度の職員健診を受診した 20 歳から 40 歳までの男性および女性の方。

### 2．研究目的・方法・研究期間

現在、モデル体型として若い女性の間でシンデレラ体重という言葉が飛び交っています。

シンデレラ体重とは BMI 18 の人を指しますが、一般的には低体重とされる体重です。

しかし、若い女性の低体重は社会問題になっており、不妊、将来の糖尿病発症、骨折などのリスクを抱えることとなります。しかし普通は病院受診のきっかけが無いので、実態は不明な点が多いです。そのため、当院の検診で BMI<17.5 の方を対象に、栄養状態、ビタミン欠乏症の頻度、体組成について調査します。

方法は、カルテを用いて下記の情報を収集し、ビタミン欠乏の比率、低栄養の重症度、体組成の実態について調べます。期間は研究が承認されてから、2027 年 3 月 31 日までです。今年度の職員健診を受診した 20 から 40 歳までの女性(BMI、握力、血圧、HbA1c、総コレステロール、リンパ球数)及び男性(BMI、年齢)の方については、名前がすでにわからない状態で健診受診時の情報を提供いただき、正常範囲の設定に利用します。

### 3．研究に用いる試料・情報の種類

情報：

- 性別、年齢、身長、体重、BMI、
- 20 歳時、1 年前の、現在の体重と BMI
- 握力(右、左)、下腿周囲長、血圧
- 体脂肪率、骨格筋量、内臓脂肪指数(Inbody で測定)

- 食品摂取頻度調査の結果（総エネルギー、各栄養素摂取量、食品摂取の頻度など）
- 下記検査データ（健診時及び栄養評価外来の紹介受診時\*）  
ヘモグロビン、WBC、リンパ球数、総コレステロール、トリグリセリド、LDLc、  
HDLc、アルブミン、プレアルブミン、FT<sub>4</sub>、TSH、ビタミン B1、B12、葉酸、25OH  
ビタミン D、ALP、BAP、TRACP-5b、カルシウム、リン、クレアチニン、BUN、  
eGFR、HbA1c、CRP
- \* は6ヶ月以内
- 併存疾患（低栄養の鑑別で新たに分ったものを含む）

観察時期：2022 年度健診、健診後二次検診受診後（検診から大体 6 ヶ月以内）。

観察期間：検診後に紹介受診され、採血結果が全て判明した時点。

#### 4．外部への試料・情報の提供

外部への情報の提供はありません。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

#### 5．研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

#### 6．除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。さらに、研究への不参加あるいは途中で参加を取りやめることによって、勤務評定などにおいて不利益な取扱いを受けることはありません。

なお、健康管理部より提供いただく 20 歳から 40 歳の男女のデータに関してはすでに匿名化された後のデータで個人が特定できないため、研究参加拒否の申請があっても削除できません。

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範

圏内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 臨床栄養学講座

担当者：飯塚 勝美

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329

e-mail:katsumi,iizuka@fujita-hu.ac.jp

## 「栄養関連転写因子と悪性腫瘍の重症度との関連に関する観察研究」への協力をお願い

研究機関 藤田医科大学

研究責任者 医学部 臨床栄養学講座

飯塚 勝美

第1版 2021年11月25日作成

### 1. はじめに

これから、藤田医科大学臨床栄養学講座において行われている臨床研究について説明いたします。わからないことがあれば、どんなことでも担当者にお聞き下さい。この説明文書をお読み頂き、内容を十分理解した上で、今回の研究に参加してもよいと思われた場合には、「同意文書」に署名をお願いします。

あなたがこの研究に参加するかどうかは、あなた自身の自由な意思で決めてください。たとえ研究に参加されなくても、担当医師と気まづくなるなどの不利な扱いを受けることはありません。担当医師は、あなたにとって最も適した治療を行います。

また、あなたが研究に参加した後に途中で参加をやめたいと思った場合でも、理由に関係なくいつでもやめることができます。その場合でも、不利な扱いを受けることなく、あなたにとって最も適した治療に切り替えます。

### 2. 臨床研究について

病気の診断やその治療方法は、医師個人の経験則や過去からデータの積み重ねにより評価され、発展してきました。「臨床研究」とは、患者さんなど多くの方々にご協力いただき、新しい治療方法の有効性や安全性を科学的に評価していく研究活動です。

この臨床試験は、参加された方の安全や人権を守るため、国が定めた指針に従って実施されます。この研究を行うにあたり、藤田医科大学医学研究倫理審査委員会にて厳密な審査を行い、藤田医科大学 学長の許可を得た上で実施しております。

### 3. あなたの病気について

大腸がん、胃がん、肝臓がんは古くから食べ物との関係が取り沙汰されています。現在は手術や化学療法の発展により、治療成績が大きく改善している分野です。当然ながら病気の進行が軽いうちに治療できると成績も良くなります。

### 4. 研究の目的及びその意義

本研究では、手術で摘出された病気の場所で発現している遺伝子(転写因子と言う、食べ物で調節されるスイッチです)の量から病気の進み具合を将来的に予測できるかを明らかにします。食べ物のスイッチなので、今まで食べてきたものの影響を考慮することで予測が正確になる可能

性がありますので、同時に調べます。手術前1年間の食事の摂取に関する情報について、FFQ（食物摂取頻度調査）を用いて調査し、食事の影響を考慮した上で、がん、転写因子の関係を調べます。この研究から将来的にはこの転写因子が調節する血液中の物質の量を測定することや胃カメラ大腸カメラの検査をするだけで、癌の進行が予測できるようになればと考えて、この研究を企画しました。

## 5. 研究の方法

### （1）予定される研究期間

倫理審査委員会承認日から2026年3月までを予定しています。

### （2）対象となる患者さん

藤田医科大学病院総合消化器外科に通院し、手術を受ける胃癌、大腸癌、肝癌患者で、本研究の参加にあたり、十分な説明を受けた後に、十分な理解の上に、本人の自由意志による文書同意が得られた20歳以上85歳未満の患者さんです。他に腎臓や肝臓に重たい病気のある人は除きます。

### （3）参加予定者数

この研究では、胃癌、大腸癌、肝癌の各々120名の患者さんの参加を予定しております。

### （4）この研究で行う研究方法

特に治療に対して、何か特別なことを行うことはありません。手術で摘出された標本とカルテの情報から、予測モデルを作成します。なお本研究でご協力いただく臨床情報および検体(手術検体)は、本学バイオバンク(藤田医科大学:HG21-025「新薬・診断薬の開発を主たる目的としたバイオバンク・データベース構築 臨床検査 データ付サンプルの系統的保存」)の一環でバイオリソース室(大学1号館112号室)に一度保管させていただいたものを利用します。バイオバンクで保管された試料は、倫理委員会で承認された別の研究に提供される場合があります。上記試料の二次的な利用が行われた場合には、このような説明文書で当該研究者より公表されます。

### （5）検査及び観察項目

観察項目を研究期間内に調べます。

- 年齢、性別、BMI、化学療法の有無と使用した薬剤
- がんの摘出部位
- FFQ データ(総エネルギー、炭水化物、脂質、タンパク、食物繊維、塩分のいずれか)
- 組織より抽出した mRNA から合成した cDNA を用いた定量的 PCR
- 悪性腫瘍ステージングのため、画像検査データ、病理組織データ

- 内視鏡生検により得た組織サンプル
- 血算、血糖、HbA1c、脂質、腎機能、HBsAb、HCVAb、ANCA、アルブミン、Prognostic nutritional index (PNI)、インスリン、HOMA-R、Fib-4 index
- 飲酒量
- 手術術式と術後合併症の種類、有無

## 6. 予測される利益・不利益

### (1) 予定される利益

本研究は治療介入を行わない観察研究である。疾患の治療方針は通常診療として主治医と患者の意思により決定されるため、本研究に参加することによる治療上での直接的な患者の利益、不利益はともにありません。本研究へ参加することによる研究対象者への直接の利益は生じません。しかし研究成果により将来の医療の進歩に貢献できる可能性がある。明らかなリスクは認めず、将来診療で用いられる可能性の高い基礎データが得られることは対象者への利益が勝ります。探索研究であり、リスクがほぼない検討のため、個人情報の保護に十分留意します。

### (2) 予想される不利益（負担および予測されるリスク）

検査は診療の範囲名であり、手術においても切除量が増加することはありません。検査に使用するサンプル量は数ミリ程度で手術で切除される領域と比較して、大変小さいです。

## 7. 研究に係る費用の負担等

この研究に参加することで、通常の診療と比べ、あなたの経済的負担が増えることはありません。また、この研究に参加されることに対する謝礼はありません。

## 8. 研究に関する情報公開

研究成果は英語論文の形で公表いたします。また、医局のホームページなどにも合わせて公開しております。

研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。希望される場合は、担当医師にお申し出下さい。

藤田医科大学 臨床栄養学のホームページ : <https://www.clin-nutr.med.fujita-hu.ac.jp>

## 9. 試料・情報の保管及び破棄について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された検体や診療情報などのこの研究に

関するデータは、あなたのお名前を識別コード（文字や数字を組み合わせたもの）に置き換えるなど個人を特定できない様に管理します。あなたのお名前と識別コードを結びつける一覧表は、研究に関するデータとは別に管理します。この研究で得られた結果は、学会や医学論文などに公表される場合がありますが、その際は識別コードに置き換えられた情報のみが公表されるため、プライバシーは保護されます。

検体の管理・保管は藤田医科大学臨床栄養学講座もしくはバイオバンク（予定）で行われ、検体は研究終了5年後(予定、再延長の場合があります)に破棄します。情報の保管・解析は臨床栄養学講座医局もしくはバイオバンクで行われ、医局内の鍵の掛かる棚にて保管します。データは、研究の正確性を後に判断する事を可能とするために、可能な限り長期に保管し（少なくとも研究成果の公表後10年）、破棄する際は、藤田医科大学で決められた手順で行います。

**バイオバンクを使用するため、研究対象者から同意を受ける時点では特定されない将来の研究のために他の研究機関、診療科に提供する可能性が存在します。匿名化検体データ及びID紐付け情報が提供される可能性が考えられます。**

## 10. この研究で得られた結果の取り扱いについて

今回の研究で実施する検査は、まだ研究途上にあり十分にわかっていない段階であるため、個別に結果をお知らせすることはありません。どうかご了承ください。

## 11. 特許権等について

本研究の結果として特許権などが生じる可能性があります。その権利は研究機関及び研究者に属することになり、あなたには属しません。

## 12. 研究の資金等と利益相反（企業等との利害関係）

使用する研究費は本学内の研究費です。企業等から研究資金や物的・人的な支援を受けません。研究責任者とそのグループに本研究に係わる企業等との経済的な利害関係はありません。藤田医科大学利益相反委員会から承認を得るとともに、そのマネジメントを継続的に受けて、本研究の公正性を保ちます。

## 13. 研究体制

研究責任者 臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美  
研究分担者 総合消化器外科講座 教授 須田 康一  
総合消化器外科講座 准教授 田中 毅

総合消化器外科講座 講師 秋元 信吾  
総合消化器外科講座 助教 後藤 愛  
消化器内科講座 教授 廣岡 芳樹  
消化器内科講座 教授 柴田知行  
消化器内科講座 教授 宮原良二  
消化器内科講座 教授 橋本千樹  
消化器内科講座 准教授 中川義仁  
消化器内科講座 准教授 葛谷貞二  
病理診断学 教授 塚本 徹哉  
病理診断学 准教授 山田勢至

#### 1.4 相談窓口

研究機関名： 藤田医科大学 臨床栄養学講座

研究責任者： 飯塚勝美(教授)

連絡先： 藤田医科大学臨床栄養学講座

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

Tel: 0562-93-2329

作成日：西暦 2021 年 10 月 25 日

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：TG/HDLc 比の体組成マーカーとしての意義に関する観察研究

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1．研究の対象

2019 年 4 月から 2021 年 9 月まで藤田医科大学 内分泌・代謝内科学教室の外来に通院した糖尿病患者のうち、体組成測定装置 In body、空腹時採血(TG 及び HDLc を含む)結果がある患者さん

### 2．研究目的・方法・研究期間

サルコペニアは寝たきりや QOL の低下につながる病態であり、さまざまな病因により生じる。サルコペニアの診断は、筋肉量、筋力、活動量などで総合的に診断されるが、筋肉量の評価には、In body などの体組成計を必要としますので煩雑です。そこで、インスリン抵抗性の指標である TG(トリグリセリド)/HDLc 比が体脂肪率や SIM といった体組成を反映する指標たり得るかをカルテから得られた情報をもとに解析します。さらに、サルコペニアと肥満を合併した患者(いわゆるサルコペニア肥満)での TG/HDLc 比を、サルコペニアのみ、肥満のみ、非肥満非サルコペニア群と比較し、簡便なサルコペニア肥満のスクリーニング検査になるか検証します。研究期間は倫理審査委員会承認日～2025 年 3 月 31 日までです。

### 3．研究に用いる試料・情報の種類

カルテより入手する情報は、ID、年齢、性別、身長、体重より計算した BMI、空腹時血中 TG、空腹時血中 HDLc から計算した TG/HDLc 比、BIA 法 (Inbody)を用いた体組成の値(体脂肪率、体脂肪量、筋肉量、四肢及び体幹筋量、SIM)、脂質異常症内服薬の有無、参考項目として、内服薬、HbA1c、Cre、握力の数値

### 4．外部への試料・情報の提供

なし

## 5 . 研究組織

本学の研究責任者：藤田医科大学 臨床栄養学 教授 飯塚 勝美

## 6 . 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

藤田医科大学 臨床栄養学講座

担当者：飯塚勝美

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329

e-mail:katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

作成日：西暦 2021 年 11 月 12 日

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：患者背景が食行動に与える効果の検討

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1. 研究の対象

- 2019 年 4 月から 2022 年 4 月まで藤田医科大学病院 内分泌・代謝・糖尿病内科の外来に通院した糖尿病患者
- 2021 年 4 月から 2022 年 4 月まで藤田医科大学国際医療センターに検診を受けに来られた方
- 2021 年 4 月から 2022 年 4 月までに五島医院を受診された患者

### 2. 研究目的・方法・研究期間

食事療法は生活習慣病の治療の柱と考えられています。しかし、食事は、本人の思考だけでなく、家庭の経済状況、社会状況により大きい影響を受けます。高齢社

会、世代間格差が叫ばれる中、社会的な背景を加味した栄養指導が今後要求されていくと考えられます。しかし、通院している医療機関の規模や検診機関によって、通院患者の社会背景に違いが見られると考えられると予想されますが、エビデンスはまだありません。年齢は食事摂取量を規定する重要な因子であることがよく知られていますが、これが施設（患者の経済的社会的背景）の違いによりその効果が異なるかは不明です。

そこで医療機関（通常の外来通院患者、会員制精密検診施設、郊外の開業医）における患者の食環境について、今回対象の施設では日常診療に用いられている食物摂取頻度調査（FFQ）の結果を利用し、通院している医療機関の違いを加味して、年齢が食行動に及ぼす影響を明らかにします。本研究で診療機関による違いが明らかとなれば、高齢者に対してより注力すべき栄養素に対する効率的な栄養指導が施設ごとに可能になると考えられます。

方法は、カルテから、年齢、性別、BMI、HbA1c、eGFR、糖尿病罹病歴、データを得た施設、FFQにより聴取した食事組成データを取得し、年齢と食組成の関係を、性別、性別、BMI、HbA1c、eGFR、糖尿病罹病歴、データを得た施設の影響を考慮して（交互作用）解析します。

研究期間は倫理審査委員会承認日～2025年3月31日です。

### 3 . 研究に用いる試料・情報の種類

- 年齢、性別
- 身長、体重より計算した BMI
- 糖尿病罹病歴の有無
- HbA1c, eGFR
- 身長、体重より計算した BMI
- 問診より得られた FFQ（総エネルギー、炭水化物エネルギー比、脂質エネルギー比、タンパク質エネルギー比、食物繊維量、塩分量、各糖質エネルギー比、飽和脂肪酸エネルギー比）

### 4 . 外部への試料・情報の提供

該当なし

### 5 . 研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚 勝美

既存試料・情報の提供のみを行う機関：

五島医院 五島英一

## 6 . 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

### 【相談窓口】

藤田医科大学 医学部 臨床栄養学 講座 教授 飯塚勝美

〒470-1192

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1 - 98

e-mail: katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

なお、この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

## 「食事アプリの個人間、日差間、機種間変動に関する調査研究」への協力をお願い

研究機関 藤田医科大学  
研究責任者 医学部 臨床栄養学講座  
飯塚勝美

第1版 2021年10月25日作成

### 1. はじめに

これから、藤田医科大学臨床栄養学講座において行われている臨床研究について説明いたします。わからないことがあれば、どんなことでも担当者にお聞き下さい。この説明文書をお読み頂き、内容を十分理解した上で、今回の研究に参加してもよいと思われた場合には、「同意文書」に署名をお願いします。

あなたがこの研究に参加するかどうかは、あなた自身の自由な意思で決めてください。たとえ研究に参加されなくても、参加しない場合でも評価等の関連はなく不利益は生じません。

また、あなたが研究に参加した後に途中で参加をやめたいと思った場合でも、理由に関係なくいつでもやめることができます。その場合でも、不利な扱いを受けることはありません。

### 2. 臨床研究について

病気の診断やその治療方法は、医師個人の経験則や過去からデータの積み重ねにより評価され、発展してきました。「臨床研究」とは、患者さんなど多くの方々にご協力いただき、新しい治療方法の有効性や安全性を科学的に評価していく研究活動です。

この臨床試験は、参加された方の安全や人権を守るため、国が定めた指針に従って実施されます。この研究を行うにあたり、藤田医科大学医学研究倫理審査委員会にて厳密な審査を行い、藤田医科大学 学長 の許可を得た上で実施しております。

### 3. 食事と病気の関係について

糖尿病、高血圧、脂質異常症、心臓血管疾患、悪性腫瘍などのさまざまな疾患の予防には、食事を含めたライフスタイルの改善が必要です。そのためには食事内容の正確な把握が必要ですが、正確な評価方法が確立されていません。近年食事記録アプリが開発されていますが、正確性、再現性についてのエビデンスは確立されていません。

### 4. 研究の目的及びその意義

そこで本研究では、2つの食事記録アプリを用いて、日差間、個人間での変動を明らかにし、将来的にアプリを食事調査で利用できるか明らかにします。

### 5. 研究の方法

( 1 ) 予定される研究期間

倫理審査委員会承認日から 2024 年 3 月までを予定しています。

( 2 ) 対象となる被験者の方

スマートフォンをお持ちでアプリをダウンロードでき、この研究に協力していただける方。

( 3 ) 参加予定者数

この研究では、10 名(最大 20 名)の被験者の参加を予定しております。

( 4 ) この研究で行う検査

用意された食事を、2 種類の食事記録アプリで撮影し、解析した結果をアンケート用紙に記入していただきます。(アンケート用紙とともに、年齢、性別、BMI、職業の情報を取得します)  
なお、検査に用いる食事の試食は行いません。

( 5 ) 検査及び観察項目

第 0 日 参加者の背景情報(性別、年齢、身長および体重から計算した BMI)

第 1 日から第 5 日 市販食品および病院食のアプリ撮影、解析、アンケート用紙への結果の記入

( 6 ) その他

特になし

## 6. 研究終了後の医療の提供について

特になし

## 7. 予測される利益・不利益

( 1 ) 予定される利益

直接的な利益はありませんが、本研究へ参加することによる研究対象者への直接の利益は生じない。しかし研究成果により将来の医療の進歩に貢献できる可能性があります。

( 2 ) 予想される不利益(負担および予測されるリスク)

アプリ撮影時間は数秒であり、全ての行為は 1 日あたり 1 分未満であり、被験者の負担、リスクはありません。

## 8. 他の治療方法について

治療は本研究には含まれません。

## 9. 研究への参加を中止する場合について

あなたが研究への参加を辞めたいと申し出た場合には中止します。

## 10. 健康被害が起きた場合の処置及び補償

本研究は侵襲を伴わないため、該当しません。

## 11. 研究に係る費用の負担等

この研究に参加されることに対する謝礼はありません。

## 12. 研究に関する情報公開

この研究に関する情報は医局のホームページなどにも合わせて公開しております。

研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、他の参加者の個人情報保護やこの研究の独創性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。希望される場合は、担当医師にお申し出下さい。

本研究は、研究結果については、学会、論文等で発表予定です。

藤田医科大学 臨床栄養学のホームページ <https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/medicine/departament/j93sdv0000005dgu.html>

また、あなたがこの研究に参加している間に、研究継続の意思に影響を与えるような新しい情報（有害事象など）が得られた場合には、担当医師が速やかにその情報の内容について説明します。その際、この研究に継続して参加するかどうかを改めてお聞きします。研究への継続を希望される場合には、引き続き参加できます。また、研究をやめたいと思われた場合には、いつでもやめることができますのでお申し出下さい。

## 13. 試料・情報の保管及び破棄について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された検体や診療情報などのこの研究に関するデータは、あなたのお名前を識別コード（文字や数字を組み合わせたもの）に置き換える

など個人を特定できない様に管理します。あなたのお名前と識別コードを結びつける一覧表は、研究に関するデータとは別に管理します。この研究で得られた結果は、学会や医学論文などに公表される場合がありますが、その際は識別コードに置き換えられた情報のみが公表されるため、プライバシーは保護されます。

検体の管理・保管は藤田医科大学臨床栄養学教室で行われ、検体は研究終了10年後に破棄します。情報の保管・解析は藤田医科大学臨床栄養学講座 医局で行われ、医局内の鍵の掛かる棚にて保管します。データは、研究の正確性を後に判断する事を可能とするために、可能な限り長期に保管し（少なくとも研究成果の公表後10年）破棄する際は、藤田医科大学で決められた手順で行います。

#### 14 この研究で得られた結果の取り扱いについて

今回の研究で実施する検査は、まだ研究途上にあり十分にわかっていない段階であるため、個別に結果をお知らせすることはありません。どうかご了承ください。

#### 15 . 特許権等について

本研究の結果として特許権などが生じる可能性があります、その権利は研究機関及び研究者に属することになり、あなたには属しません。

#### 16. 研究の資金等と利益相反（企業等との利害関係）

使用する研究費は本学内の研究費です。

あすけんおよびライフログテクノロジー社から、食事記録アプリを無償で貸与されますが、研究資金は受けません。

研究責任者とそのグループに本研究に係わる企業等との経済的な利害関係はありません。研究の実施に対して上記企業は一切関与しません。藤田医科大学利益相反委員会から承認を得るとともに、そのマネジメントを継続的に受けて、本研究の公正性を保ちます。

#### 17. 研究体制

##### 【研究代表者】

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚 勝美

#### 18 相談窓口

研究機関名： 藤田医科大学 臨床栄養学講座

研究責任者： 飯塚 勝美(教授)

連絡先： 藤田医科大学 臨床栄養学講座

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

Tel: 0562-93-2329

(文例A)

「食事記録アプリによる患者指導の効率化/利便性への影響と指導効果に関する検討」への協力  
のお願い

研究機関 藤田医科大学  
研究責任者 医学部 臨床栄養学  
飯塚 勝美

第 版 2021年12月16日作成

## 1. はじめに

これから、藤田医科大学臨床栄養学講座において行われている臨床研究について説明いたします。わからないことがあれば、どんなことでも担当者にお聞き下さい。この説明文書をお読み頂き、内容を十分理解した上で、今回の研究に参加してもよいと思われた場合には、「同意文書」に署名をお願いします。

あなたがこの研究に参加するかどうかは、あなた自身の自由な意思で決めてください。たとえ研究に参加されなくても、担当医師と気まづくなるなどの不利な扱いを受けることはありません。担当医師は、あなたにとって最も適した治療を行います。

また、あなたが研究に参加した後に途中で参加をやめたいと思った場合でも、理由に関係なくいつでもやめることができます。その場合でも、不利な扱いを受けることなく、あなたにとって最も適した治療に切り替えます。

## 2. 臨床研究について

病気の診断やその治療方法は、医師個人の経験則や過去からデータの積み重ねにより評価され、発展してきました。「臨床研究」とは、患者さんなど多くの方々にご協力いただき、新しい治療方法の有効性や安全性を科学的に評価していく研究活動です。

この臨床試験は、参加された方の安全や人権を守るため、国が定めた指針に従って実施されます。この研究を行うにあたり、藤田医科大学医学研究倫理審査委員会にて厳密な審査を行い、藤田医科大学 学長の許可を得た上で実施しております。

## 3. あなたの病気について

糖尿病は血液中の糖が十分利用できなくなる栄養疾患です。十分な治療をせずにほっておくと、目が悪くなったり、腎臓が悪くなったり、全身の病気が生じる危険性が高まります。糖尿病にはいろいろなタイプがありますが、タイプの如何によらず食事療法は重要な治療の一つになります。入院して出される食事や食べ物（栄養治療）について考える大事なきっかけです。

## 4. 研究の目的及びその意義

医師や医療従事者により全く違うことを言われた経験はないでしょうか？情報の共有が十分にできていないため、食い違いが生じる場合があります。そのような説明治療の食い違いを防ぐために、今回の研究を立案しました。

医療におけるIT活用は目覚ましいものがあります。近年の進歩の一つとして、予防医療の観点で未病患者に対する食事摂取アプリの活用が挙げられます。しかし、発症後の栄養治療に食事摂取アプリが活用された事例は保険適応外であるため、ほとんどありません。近年働き方改革のため、医療従事者の業務時間短縮、仕事の効率化が求められており、患者教育に食事摂取アプリを活用することで、患者教育の向上だけでなく医療従事者の負担軽減につながると考えました。そこで本研究では、アプリに栄養処方箋を搭載することで、通院している病院だけでなくかかりつけ薬局にいる管理栄養士、薬剤師と情報共有することで、患者さん・医師・医療従事者にとって指導の効率化・利便性が向上するかを明らかにします。また、食事摂取アプリを栄養指導に併用することで、退院時の栄養療法の理解度や退院後の栄養療法の履行状況に影響を与えるかも検証します。

本研究では、アプリを使用したグループとアプリを使用しなかったグループを比較することで、アプリを活用することの利点、欠点を炙り出します。そのため、アプリを使用しなかった方にも十分な研究に対する貢献をしていただくことになるので、アプリを使用していただいた方と同様の謝礼をお支払いします。アプリを使用するかはコンピューターによるクジにより行うので、同意をいただく時点ではわかりません。

## 5. 研究の方法

### (1) 予定される研究期間

倫理審査委員会承認日から2026年3月までを予定しています。

### (2) 対象となる患者さん

藤田医科大学病院内分泌/代謝/糖尿病内科入院/通院中の糖尿病患者です。

選択基準は下記の通りです。

藤田医科大学病院内分泌/代謝/糖尿病内科入院し、退院後かかりつけ医に通院される糖尿病患者

1. 本研究の参加にあたり、十分な説明を受けた後に、十分な理解の上に、本人の自由意志による文書同意が得られた患者
2. 同意取得時に20歳以上75歳未満の患者
3. 携帯アプリが使用できる機種をお持ちの方かつアプリをダウンロードし、操作できる方。
4. 退院後1ヶ月及び3ヶ月目にスギ薬局にアンケート結果を解答していただき、栄養相

談（スギ薬局で処方を受けている場合は服薬指導も）を受ける意思のある方  
5. 連絡のため、スギ薬局に連絡先を伝えても良い方。  
（連絡先は本研究の連絡のため以外には使用しない）

アプリを使用できない方、医師が不適格と判断した場合は除外とします。

### （3）参加予定者数

この研究では、60名の患者さんの参加を予定しております。他に医療関係者（院内栄養士 30名、スギ薬局 管理栄養士・薬剤師 30名ずつ）も対象になっています。

### （4）この研究で行うこと

まず、医療従事者にとってこのアプリが患者指導の上で有用であったかを調査します。無記名でアンケートを行い、指導時間や労力をスコア化し、施設間、職種による比較を行います。患者様に対しては、食事摂取を記録解析するアプリ（スギサポ eat）を使用する群、使用しない群に分けて入院中に食事についての教育を行い、理解度を評価します。それぞれの群に割り付けられる確率は乱数表を用いるため、50%です。なお、薬物による介入はありません。退院後、1ヶ月、3ヶ月での栄養療法の遵守率についても調査します。

以下が調査項目です。

#### （主要評価項目）

アプリ活用による業務効率化・安全性・利便性の向上(医療従事者のみ)

#### （副次評価項目）

アプリ活用による食事治療についての理解度調査

アプリ活用による指示された栄養療法の遵守率への影響

アプリ活用による BMI、HbA1c、eGFR、尿アルブミンへの効果

### （5）検査及び観察項目

#### 入院時

- 性別、年齢、身長、体重、BMI、糖尿病の罹病期間、細小血管及び大血管合併症の有無
- 糖尿病のタイプ（1型、2型など）、内服薬、インスリン、GLP-1の有無
- HbA1c、eGFR、尿アルブミン
- 医師から指示された入院中の総エネルギー、炭水化物、脂質、タンパク、食塩摂取量
- FFQ 簡易版による推定食事摂取量（入院時）

#### 退院時

- 入院中の食組成、食事療法に対する理解度調査、アプリの機能改善に関するアンケート(患者)
- アプリ活用による業務効率化・利便性に関するアンケート（管理栄養士、薬剤師）

退院後 1 ヶ月、3 ヶ月

- 簡易 FFQ による総エネルギー、炭水化物、脂質、タンパク、食塩摂取量(患者に対して)  
退院後 1 ヶ月、3 ヶ月
- アプリの機能改善に関するアンケート(1 ヶ月のみ)
- アプリ活用による業務効率化・利便性に関するアンケート(1 ヶ月のみ、管理栄養士、薬剤師)
- 体重、HbA1c(患者から聞き取り)

## 6. 予測される利益・不利益

### (1) 予定される利益

本研究へ参加することにより、アンケート回答の対価として QUO カード 1500 円分を進呈します。さらに薬局にて栄養相談を受けられる利点もあります。最後に、研究成果により将来の医療の進歩に貢献できる可能性があります。

### (2) 予想される不利益(負担および予測されるリスク)

アプリ撮影時間は数秒で、全ての行為は 1 日あたり 1 分未満であり、被験者の負担、リスクはないと思われます。明らかにリスクは認めず、将来診療で用いられる可能性の高いアプリの基礎データが得られることは対象者への利益が上回ります。

## 7. 研究への参加を中止する場合について

あなたが研究への参加を辞めたいと申し出た場合には中止します。また、以下に該当する場合には、参加の途中であっても中止になることがあります。

- ・あなたの病気の状態や治療経過などから、研究を継続することが好ましくないと担当医師が判断した場合
- ・研究への参加基準を満たしていないことが明らかとなった場合
- ・この研究全体が中止となった場合
- ・その他、担当医師が中止したほうが良いと判断した場合

## 8. 研究に係る費用の負担等

この研究に参加することで、通常の診療と比べ、あなたの経済的負担が増えることはありません。また、この研究に参加されることに対するアンケートに答えていただくことに対して謝礼をお支払いします(退院時、退院後 1 ヶ月、3 ヶ月の計 3 回で 1 回あたり、500 円の QUO カードです)。

## 9. 研究に関する情報公開

本研究は公開データベース（JRCT や UMIN-CTR）に登録します。研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。希望される場合は、担当医師にお申し出下さい。

藤田医科大学 臨床栄養学のホームページ：<https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/medicine/department/j93sdv0000005dgu.html>

また、あなたがこの研究に参加している間に、研究継続の意思に影響を与えるような新しい情報（有害事象など）が得られた場合には、担当医師が速やかにその情報の内容について説明します。その際、この研究に継続して参加するかどうかを改めてお聞きします。研究への継続を希望される場合には、引き続き参加できます。また、研究をやめたいと思われた場合には、いつでもやめることができますのでお申し出下さい。

## 10. 試料・情報の保管及び破棄について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された検体や診療情報などのこの研究に関するデータは、あなたのお名前を識別コード（文字や数字を組み合わせたもの）に置き換えるなど個人を特定できない様に管理します。あなたのお名前と識別コードを結びつける一覧表は、研究に関するデータとは別に管理します。この研究で得られた結果は、学会や医学論文などに公表される場合がありますが、その際は識別コードに置き換えられた情報のみが公表されるため、プライバシーは保護されます。

検体の管理・保管は藤田医科大学臨床栄養学講座で行われ、検体は研究終了 10 年後に破棄します。情報の保管・解析は藤田医科大学臨床栄養学講座で行われ、医局内の鍵の掛かる棚にて保管します。データは、研究の正確性を後に判断する事を可能とするために、可能な限り長期に保管し（少なくとも研究成果の公表後 10 年）、破棄する際は、藤田医科大学で決められた手順で行います。食事記録アプリに使用したスギサポ ID は研究終了後無効になり、データも消去されます。

## 11. この研究で得られた結果の取り扱いについて

今回の研究で実施する検査は、まだ研究途上にあり十分にわかっていない段階であるため、個別に結果をお知らせすることはありません。どうかご了承ください。

## 12. 特許権等について

本研究の結果として特許権などが生じる可能性があります、その権利は研究機関及び研究者に属することになり、あなたには属しません。

## 13. 研究の資金等と利益相反（企業等との利害関係）

**研究資金：** 本学内の講座費もしくは JST の資金を一部使用する。他、外部の研究資金を受けない。

**物的・人的支援：** スギ薬局から食事記録アプリ（スギサポ eat）を無償で貸与（研究期間内）されて利用する。

**利益相反：** スギ薬局からは資金提供を受けておらず、研究責任者と研究分担者は企業スギ薬局との間に経済的関係が一切なく、また、本研究に係わる開示すべき利益相反はない。研究の実施（研究対象者のリクルート、データ管理、モニタリング、統計・解析に關与する業務のすべてを含む）に対して、スギ薬局は一切關与しない。ただし、医療従事者に対するアンケート調査の結果をスギ薬局から提供を受ける。藤田医科大学利益相反委員会へ申請を行い、利益相反マネジメントを受ける。

## 14. 研究体制

### 【研究代表者】

藤田医科大学病院 臨床栄養学講座 教授 飯塚 勝美

### 【研究分担者】

藤田医科大学 内分泌代謝糖尿病内科 教授 鈴木敦詞

藤田医科大学 産学連携センター 教授 瀬戸孝一

藤田医科大学 内分泌代謝糖尿病内科 准教授 清野祐介

## 15. 相談窓口

研究機関名： 藤田医科大学 臨床栄養学講座

研究責任者： 飯塚 勝美(教授)

連絡先： 藤田医科大学臨床栄養学講座

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

Tel: 0562-93-2329

# 「健診受診者における食品頻度摂取調査と食事記録アプリの比較検討」への協力のお 願い

研究機関 藤田医科大学  
研究責任者 医学部 臨床栄養学講座  
飯塚勝美  
第1版 2022年07月25日作成

## 1. はじめに

これから、藤田医科大学医学部臨床栄養学講座において行われている臨床研究について説明いたします。わからないことがあれば、どんなことでも担当者にお聞き下さい。この説明文書をお読み頂き、内容を十分理解した上で、今回の研究に参加してもよいと思われた場合には、「同意文書」に署名をお願いします。

あなたがこの研究に参加するかどうかは、あなた自身の自由な意思で決めてください。  
また、あなたが研究に参加した後途中で参加をやめたいと思った場合でも、理由に関係なくいつでもやめることができます。

## 2. 臨床研究について

病気の診断やその治療方法は、医師個人の経験則や過去からデータの積み重ねにより評価され、発展してきました。「臨床研究」とは、患者さんなど多くの方々にご協力いただき、新しい治療方法の有効性や安全性を科学的に評価していく研究活動です。

この臨床試験は、参加された方の安全や人権を守るため、国が定めた指針に従って実施されます。この研究を行うにあたり、藤田医科大学医学研究倫理審査委員会にて厳密な審査を行い、藤田医科大学 学長 の許可を得た上で実施しております。

## 3. 食事と疾患の関わりについて

食事と病気の関係はさまざまな疾患、生活習慣病、癌で指摘されています。しかし、従来の検査では正確な測定は難しい面がありました。食事の是正だけでも大きく病気が良くなるものもありますので、正確な食事調査法の確立が望まれます。

## 4. 研究の目的及びその意義

2種類の従来からある食品摂取頻度調査と近年民間で普及している食事記録アプリの記録7日分をそれぞれ比較し、両者の統計学的な関連を明らかにし、より簡便で使いやすい食事記録法への移行を目指します。また、両者とも塩分、脂質などは正確に測りにくいため、腸内細菌叢や尿ナトリウム(Na)、尿尿素窒素(UN)での補正が可能かを検討します。

## 5. 研究の方法

### (1) 予定される研究期間

倫理審査委員会承認日から 2026 年 3 月までを予定しています。

### (2) 対象となる患者さん

基礎疾患がなく、6 ヶ月以内の職場の健康診断で異常なしと言われ、BMI が 18.5・22 と正常体重である、20・60 歳の男女

### (3) 参加予定者数

この研究では、100 名の患者さんの参加を予定しております。

### (4) この研究で行う治療

観察研究（非介入研究）のため、介入はありません。

### (5) 検査及び観察項目

下記は健康管理室より、健診データまたは尿サンプルをいただく。

- 年齢、性別、身長、体重、BMI、血圧、最大既往体重、既往歴の有無、
- 体脂肪率、骨格筋指数 (In body で測定)
- 健康診断での血液検査データ
- 血算、肝機能(AST, ALT, GTP)、腎機能(Cre, BUN, eGFR)、血糖、HbA1c、脂質 (TG, T-Chol, HDLc, LDLc)
- 健診受診者の総人数と健診で異常を指摘されていない人数 (性別、年代別)
- 尿 Na、尿 Cre、尿 UN 用採尿(健診時に採取済みのものを解析)

今回新たに採取するものとして、質問票の説明時もしくは回収時に

- BDHQ 及び FFQ による総エネルギー、各栄養素摂取量
- 糞便検査 (腸内細菌叢検査、シンバイオシスより提供)
- アプリの測定データ (あすけんより提供)

#### 観察時期

健診終了後、6 ヶ月以内 (できるだけ 3 ヶ月以内を努力目標とする)

#### 観察期間

質問票の記入と、アプリを使用した最長 1 ヶ月間 (データとして 7 日間が最低必要)

### (6) その他

該当なし

## 6. 予測される利益・不利益

以下の点を参考に、わかりやすく記載して下さい。

### (1) 予定される利益

直接的な利益がない場合は、ありません。研究結果による社会的利益については、今後国際医療センターなどでの検診を含め、研究成果により将来の医療の進歩に貢献できる可能性がある。

### (2) 予想される不利益（負担および予測されるリスク）

研究対象者の負担としては、2種類の質問票に回答すること（合わせて、1時間程度）です。7日間は食事アプリを入力することが挙げられるため（1回5分程度）、時間的な負担が予想される。なお、参加による経済的負担はありません。採尿は健診時に保存されたものを用います。糞便を提出いただき、腸内細菌叢の検査をします。

## 7. 研究への参加を中止する場合について

あなたが研究への参加を辞めたいと申し出た場合には止めることができます。

## 8. 研究に係る費用の負担等

この研究に参加することで、通常の診療と比べ、あなたの経済的負担が増えることはありません。また、この研究に参加されることに対する謝礼はありません。

## 9. 研究に関する情報公開

研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。

藤田医科大学 臨床栄養学のホームページもしくは

<https://fujita.bvits.com/esct/publish.aspx>

また、あなたがこの研究に参加している間に、研究継続の意思に影響を与えるような新しい情報（有害事象など）が得られた場合には、担当医師が速やかにその情報の内容について説明します。その際、この研究に継続して参加するかどうかを改めてお聞きします。研究への継続を希望される場合には、引き続き参加できます。また、研究をやめたいと思われた場合には、いつでもやめることができますのでお申し出下さい。

## 10. 試料・情報の保管及び破棄について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された検体や診療情報などのこの研究に関するデータは、あなたのお名前を識別コード（文字や数字を組み合わせたもの）に置き換えるなど個人を特定できない様に管理します。あなたのお名前と識別コードを結びつける一覧表は、研究に関するデータとは別に管理します。この研究で得られた結果は、学会や医学論文などに公表される場合がありますが、その際は識別コードに置き換えられた情報のみが公表されるため、プライバシーは保護されます。

検体の管理・保管は藤田医科大学臨床栄養学講座で行われ、検体は研究終了5年後に破棄します。情報の保管・解析は藤田医科大学 臨床栄養学講座 医局で行われ、医局内の鍵の掛かる棚にて保管します。データは、研究の正確性を後に判断する事を可能とするために、可能な限り長期に保管し（少なくとも研究成果の公表後10年）、破棄する際は、藤田医科大学で決められた手順で行います。

## 1 1. この研究で得られた結果の取り扱いについて

今回の研究で実施する検査は、まだ研究途上にあり十分にわかっていない段階であるため、個別に結果をお知らせすることはありません。どうかご了承ください。

## 1 2. 特許権等について

本研究の結果として特許権などが生じる可能性があります。その権利は研究機関及び研究者に属することになり、あなたには属しません。

## 1 3. 研究の資金等と利益相反（企業等との利害関係）

使用する研究費は本学内の研究費です。企業等から研究資金や物的・人的な支援を受けません。研究責任者とそのグループに本研究に係わる企業等との経済的な利害関係はありません。藤田医科大学利益相反委員会から承認を得るとともに、そのマネジメントを継続的に受けて、本研究の公正性を保ちます。

## 1 4. 研究体制

### 【研究代表者】

藤田医科大学 医学部 臨床栄養学講座 教授 飯塚 勝美

## 1 5. 相談窓口

研究機関名： 藤田医科大学 医学部 臨床栄養学講座

研究責任者： 飯塚 勝美(教授)

連絡先： 藤田医科大学 臨床栄養学講座

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

Tel: 0562-93-2329、Fax: 0562-93-2329

作成日：西暦 2023 年 1 月 16 日

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

**研究課題名：**若年低体重女性における栄養状態の実態調査

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1．研究の対象

2022 年度職員健診で低体重(BMI<17.5)を指摘され、藤田医科大学病院栄養評価外来に紹介された患者(2022 年 11 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに初診で受診された方で男女含む)

また、2022 年度の職員健診を受診した 20 歳から 40 歳までの男性および女性の方。

### 2．研究目的・方法・研究期間

現在、モデル体型として若い女性の間でシンデレラ体重という言葉が飛び交っています。

シンデレラ体重とは BMI 18 の人を指しますが、一般的には低体重とされる体重です。

しかし、若い女性の低体重は社会問題になっており、不妊、将来の糖尿病発症、骨折などのリスクを抱えることとなります。しかし普通は病院受診のきっかけが無いので、実態は不明な点が多いです。そのため、当院の検診で BMI<17.5 の方を対象に、栄養状態、ビタミン欠乏症の頻度、体組成について調査します。

方法は、カルテを用いて下記の情報を収集し、ビタミン欠乏の比率、低栄養の重症度、体組成の実態について調べます。期間は研究が承認されてから、2027 年 3 月 31 日までです。今年度の職員健診を受診した 20 から 40 歳までの女性(BMI、握力、血圧、HbA1c、総コレステロール、リンパ球数)及び男性(BMI、年齢)の方については、名前がすでにわからない状態で健診受診時の情報を提供いただき、正常範囲の設定に利用します。

### 3．研究に用いる試料・情報の種類

情報：

- 性別、年齢、身長、体重、BMI、
- 20 歳時、1 年前の、現在の体重と BMI
- 握力(右、左)、下腿周囲長、血圧
- 体脂肪率、骨格筋量、内臓脂肪指数(Inbody で測定)

- 食品摂取頻度調査の結果（総エネルギー、各栄養素摂取量、食品摂取の頻度など）
- 下記検査データ（健診時及び栄養評価外来の紹介受診時\*）  
ヘモグロビン、WBC、リンパ球数、総コレステロール、トリグリセリド、LDLc、  
HDLc、アルブミン、プレアルブミン、FT<sub>4</sub>、TSH、ビタミン B1、B12、葉酸、25OH  
ビタミン D、ALP、BAP、TRACP-5b、カルシウム、リン、クレアチニン、BUN、  
eGFR、HbA1c、CRP
- \* は6ヶ月以内
- 併存疾患（低栄養の鑑別で新たに分ったものを含む）

観察時期：2022 年度健診、健診後二次検診受診後（検診から大体 6 ヶ月以内）。

観察期間：検診後に紹介受診され、採血結果が全て判明した時点。

#### 4．外部への試料・情報の提供

外部への情報の提供はありません。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

#### 5．研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

#### 6．除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。さらに、研究への不参加あるいは途中で参加を取りやめることによって、勤務評定などにおいて不利益な取扱いを受けることはありません。

なお、健康管理部より提供いただく 20 歳から 40 歳の男女のデータに関してはすでに匿名化された後のデータで個人が特定できないため、研究参加拒否の申請があっても削除できません。

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範

圏内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 臨床栄養学講座

担当者：飯塚 勝美

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329

e-mail:katsumi,iizuka@fujita-hu.ac.jp

## 「栄養関連転写因子と悪性腫瘍の重症度との関連に関する観察研究」への協力をお願い

研究機関 藤田医科大学

研究責任者 医学部 臨床栄養学講座

飯塚 勝美

第1版 2021年11月25日作成

### 1. はじめに

これから、藤田医科大学臨床栄養学講座において行われている臨床研究について説明いたします。わからないことがあれば、どんなことでも担当者にお聞き下さい。この説明文書をお読み頂き、内容を十分理解した上で、今回の研究に参加してもよいと思われた場合には、「同意文書」に署名をお願いします。

あなたがこの研究に参加するかどうかは、あなた自身の自由な意思で決めてください。たとえ研究に参加されなくても、担当医師と気まづくなるなどの不利な扱いを受けることはありません。担当医師は、あなたにとって最も適した治療を行います。

また、あなたが研究に参加した後に途中で参加をやめたいと思った場合でも、理由に関係なくいつでもやめることができます。その場合でも、不利な扱いを受けることなく、あなたにとって最も適した治療に切り替えます。

### 2. 臨床研究について

病気の診断やその治療方法は、医師個人の経験則や過去からデータの積み重ねにより評価され、発展してきました。「臨床研究」とは、患者さんなど多くの方々にご協力いただき、新しい治療方法の有効性や安全性を科学的に評価していく研究活動です。

この臨床試験は、参加された方の安全や人権を守るため、国が定めた指針に従って実施されます。この研究を行うにあたり、藤田医科大学医学研究倫理審査委員会にて厳密な審査を行い、藤田医科大学 学長の許可を得た上で実施しております。

### 3. あなたの病気について

大腸がん、胃がん、肝臓がんは古くから食べ物との関係が取り沙汰されています。現在は手術や化学療法の発展により、治療成績が大きく改善している分野です。当然ながら病気の進行が軽いうちに治療できると成績も良くなります。

### 4. 研究の目的及びその意義

本研究では、手術で摘出された病気の場所で発現している遺伝子(転写因子と言う、食べ物で調節されるスイッチです)の量から病気の進み具合を将来的に予測できるかを明らかにします。食べ物のスイッチなので、今まで食べてきたものの影響を考慮することで予測が正確になる可能

性がありますので、同時に調べます。手術前1年間の食事の摂取に関する情報について、FFQ（食物摂取頻度調査）を用いて調査し、食事の影響を考慮した上で、がん、転写因子の関係を調べます。この研究から将来的にはこの転写因子が調節する血液中の物質の量を測定することや胃カメラ大腸カメラの検査をするだけで、癌の進行が予測できるようになればと考えて、この研究を企画しました。

## 5. 研究の方法

### （1）予定される研究期間

倫理審査委員会承認日から2026年3月までを予定しています。

### （2）対象となる患者さん

藤田医科大学病院総合消化器外科に通院し、手術を受ける胃癌、大腸癌、肝癌患者で、本研究の参加にあたり、十分な説明を受けた後に、十分な理解の上に、本人の自由意志による文書同意が得られた20歳以上85歳未満の患者さんです。他に腎臓や肝臓に重たい病気のある人は除きます。

### （3）参加予定者数

この研究では、胃癌、大腸癌、肝癌の各々120名の患者さんの参加を予定しております。

### （4）この研究で行う研究方法

特に治療に対して、何か特別なことを行うことはありません。手術で摘出された標本とカルテの情報から、予測モデルを作成します。なお本研究でご協力いただく臨床情報および検体(手術検体)は、本学バイオバンク(藤田医科大学:HG21-025「新薬・診断薬の開発を主たる目的としたバイオバンク・データベース構築 臨床検査 データ付サンプルの系統的保存」)の一環でバイオリソース室(大学1号館112号室)に一度保管させていただいたものを利用します。バイオバンクで保管された試料は、倫理委員会で承認された別の研究に提供される場合があります。上記試料の二次的な利用が行われた場合には、このような説明文書で当該研究者より公表されます。

### （5）検査及び観察項目

観察項目を研究期間内に調べます。

- 年齢、性別、BMI、化学療法の有無と使用した薬剤
- がんの摘出部位
- FFQ データ(総エネルギー、炭水化物、脂質、タンパク、食物繊維、塩分のいずれか)
- 組織より抽出した mRNA から合成した cDNA を用いた定量的 PCR
- 悪性腫瘍ステージングのため、画像検査データ、病理組織データ

- 内視鏡生検により得た組織サンプル
- 血算、血糖、HbA1c、脂質、腎機能、HBsAb、HCVAb、ANCA、アルブミン、Prognostic nutritional index (PNI)、インスリン、HOMA-R、Fib-4 index
- 飲酒量
- 手術術式と術後合併症の種類、有無

## 6. 予測される利益・不利益

### (1) 予定される利益

本研究は治療介入を行わない観察研究である。疾患の治療方針は通常診療として主治医と患者の意思により決定されるため、本研究に参加することによる治療上での直接的な患者の利益、不利益はともにありません。本研究へ参加することによる研究対象者への直接の利益は生じません。しかし研究成果により将来の医療の進歩に貢献できる可能性がある。明らかなリスクは認めず、将来診療で用いられる可能性の高い基礎データが得られることは対象者への利益が勝ります。探索研究であり、リスクがほぼない検討のため、個人情報の保護に十分留意します。

### (2) 予想される不利益（負担および予測されるリスク）

検査は診療の範囲名であり、手術においても切除量が増加することはありません。検査に使用するサンプル量は数ミリ程度で手術で切除される領域と比較して、大変小さいです。

## 7. 研究に係る費用の負担等

この研究に参加することで、通常の診療と比べ、あなたの経済的負担が増えることはありません。また、この研究に参加されることに対する謝礼はありません。

## 8. 研究に関する情報公開

研究成果は英語論文の形で公表いたします。また、医局のホームページなどにも合わせて公開しております。

研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。希望される場合は、担当医師にお申し出下さい。

藤田医科大学 臨床栄養学のホームページ：<https://www.clin-nutr.med.fujita-hu.ac.jp>

## 9. 試料・情報の保管及び破棄について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された検体や診療情報などのこの研究に

関するデータは、あなたのお名前を識別コード（文字や数字を組み合わせたもの）に置き換えるなど個人を特定できない様に管理します。あなたのお名前と識別コードを結びつける一覧表は、研究に関するデータとは別に管理します。この研究で得られた結果は、学会や医学論文などに公表される場合がありますが、その際は識別コードに置き換えられた情報のみが公表されるため、プライバシーは保護されます。

検体の管理・保管は藤田医科大学臨床栄養学講座もしくはバイオバンク（予定）で行われ、検体は研究終了 5 年後(予定、再延長の場合があります)に破棄します。情報の保管・解析は臨床栄養学講座医局もしくはバイオバンクで行われ、医局内の鍵の掛かる棚にて保管します。データは、研究の正確性を後に判断する事を可能とするために、可能な限り長期に保管し（少なくとも研究成果の公表後 10 年）、破棄する際は、藤田医科大学で決められた手順で行います。

**バイオバンクを使用するため、研究対象者から同意を受ける時点では特定されない将来の研究のために他の研究機関、診療科に提供する可能性が存在します。匿名化検体データ及び ID 紐付け情報が提供される可能性が考えられます。**

## 10. この研究で得られた結果の取り扱いについて

今回の研究で実施する検査は、まだ研究途上にあり十分にわかっていない段階であるため、個別に結果をお知らせすることはありません。どうかご了承ください。

## 11. 特許権等について

本研究の結果として特許権などが生じる可能性があります。その権利は研究機関及び研究者に属することになり、あなたには属しません。

## 12. 研究の資金等と利益相反（企業等との利害関係）

使用する研究費は本学内の研究費です。企業等から研究資金や物的・人的な支援を受けません。研究責任者とそのグループに本研究に係わる企業等との経済的な利害関係はありません。藤田医科大学利益相反委員会から承認を得るとともに、そのマネジメントを継続的に受けて、本研究の公正性を保ちます。

## 13. 研究体制

研究責任者 臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美  
研究分担者 総合消化器外科講座 教授 須田 康一  
総合消化器外科講座 准教授 田中 毅

総合消化器外科講座 講師 秋元 信吾  
総合消化器外科講座 助教 後藤 愛  
消化器内科講座 教授 廣岡 芳樹  
消化器内科講座 教授 柴田知行  
消化器内科講座 教授 宮原良二  
消化器内科講座 教授 橋本千樹  
消化器内科講座 准教授 中川義仁  
消化器内科講座 准教授 葛谷貞二  
病理診断学 教授 塚本 徹哉  
病理診断学 准教授 山田勢至

#### 1.4 相談窓口

研究機関名： 藤田医科大学 臨床栄養学講座

研究責任者： 飯塚勝美(教授)

連絡先： 藤田医科大学臨床栄養学講座

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

Tel: 0562-93-2329

作成日：西暦 2021 年 10 月 25 日

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：TG/HDLc 比の体組成マーカーとしての意義に関する観察研究

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1．研究の対象

2019 年 4 月から 2021 年 9 月まで藤田医科大学 内分泌・代謝内科学教室の外来に通院した糖尿病患者のうち、体組成測定装置 In body、空腹時採血 (TG 及び HDLc を含む) 結果がある患者さん

### 2．研究目的・方法・研究期間

サルコペニアは寝たきりや QOL の低下につながる病態であり、さまざまな病因により生じる。サルコペニアの診断は、筋肉量、筋力、活動量などで総合的に診断されるが、筋肉量の評価には、In body などの体組成計を必要としますので煩雑です。そこで、インスリン抵抗性の指標である TG(トリグリセリド)/HDLc 比が体脂肪率や SIM といった体組成を反映する指標たり得るかをカルテから得られた情報をもとに解析します。さらに、サルコペニアと肥満を合併した患者(いわゆるサルコペニア肥満)での TG/HDLc 比を、サルコペニアのみ、肥満のみ、非肥満非サルコペニア群と比較し、簡便なサルコペニア肥満のスクリーニング検査になるか検証します。研究期間は倫理審査委員会承認日～2025 年 3 月 31 日までです。

### 3．研究に用いる試料・情報の種類

カルテより入手する情報は、ID、年齢、性別、身長、体重より計算した BMI、空腹時血中 TG、空腹時血中 HDLc から計算した TG/HDLc 比、BIA 法 (Inbody)を用いた体組成の値(体脂肪率、体脂肪量、筋肉量、四肢及び体幹筋量、SIM)、脂質異常症内服薬の有無、参考項目として、内服薬、HbA1c、Cre、握力の数値

### 4．外部への試料・情報の提供

なし

## 5 . 研究組織

本学の研究責任者：藤田医科大学 臨床栄養学 教授 飯塚 勝美

## 6 . 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

藤田医科大学 臨床栄養学講座

担当者：飯塚勝美

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329

e-mail:katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

作成日：西暦 2021 年 11 月 12 日

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：患者背景が食行動に与える効果の検討

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1．研究の対象

- 2019 年 4 月から 2022 年 4 月まで藤田医科大学病院 内分泌・代謝・糖尿病内科の外来に通院した糖尿病患者
- 2021 年 4 月から 2022 年 4 月まで藤田医科大学国際医療センターに検診を受けに来られた方
- 2021 年 4 月から 2022 年 4 月までに五島医院を受診された患者

### 2．研究目的・方法・研究期間

食事療法は生活習慣病の治療の柱と考えられています。しかし、食事は、本人の思考だけでなく、家庭の経済状況、社会状況により大きい影響を受けます。高齢社

会、世代間格差が叫ばれる中、社会的な背景を加味した栄養指導が今後要求されていくと考えられます。しかし、通院している医療機関の規模や検診機関によって、通院患者の社会背景に違いが見られると考えられると予想されますが、エビデンスはまだありません。年齢は食事摂取量を規定する重要な因子であることがよく知られていますが、これが施設（患者の経済的社会的背景）の違いによりその効果が異なるかは不明です。

そこで医療機関（通常の外来通院患者、会員制精密検診施設、郊外の開業医）における患者の食環境について、今回対象の施設では日常診療に用いられている食物摂取頻度調査（FFQ）の結果を利用し、通院している医療機関の違いを加味して、年齢が食行動に及ぼす影響を明らかにします。本研究で診療機関による違いが明らかとなれば、高齢者に対してより注力すべき栄養素に対する効率的な栄養指導が施設ごとに可能になると考えられます。

方法は、カルテから、年齢、性別、BMI、HbA1c、eGFR、糖尿病罹病歴、データを得た施設、FFQにより聴取した食事組成データを取得し、年齢と食組成の関係を、性別、性別、BMI、HbA1c、eGFR、糖尿病罹病歴、データを得た施設の影響を考慮して（交互作用）解析します。

研究期間は倫理審査委員会承認日～2025年3月31日です。

### 3 . 研究に用いる試料・情報の種類

- 年齢、性別
- 身長、体重より計算した BMI
- 糖尿病罹病歴の有無
- HbA1c, eGFR
- 身長、体重より計算した BMI
- 問診より得られた FFQ（総エネルギー、炭水化物エネルギー比、脂質エネルギー比、タンパク質エネルギー比、食物繊維量、塩分量、各糖質エネルギー比、飽和脂肪酸エネルギー比）

### 4 . 外部への試料・情報の提供

該当なし

### 5 . 研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚 勝美

既存試料・情報の提供のみを行う機関：

五島医院 五島英一

## 6 . 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

### 【相談窓口】

藤田医科大学 医学部 臨床栄養学 講座 教授 飯塚勝美

〒470-1192

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1 - 98

e-mail: katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

なお、この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

## 「食事アプリの個人間、日差間、機種間変動に関する調査研究」への協力をお願い

研究機関 藤田医科大学  
研究責任者 医学部 臨床栄養学講座  
飯塚勝美

第1版 2021年10月25日作成

### 1. はじめに

これから、藤田医科大学臨床栄養学講座において行われている臨床研究について説明いたします。わからないことがあれば、どんなことでも担当者にお聞き下さい。この説明文書をお読み頂き、内容を十分理解した上で、今回の研究に参加してもよいと思われた場合には、「同意文書」に署名をお願いします。

あなたがこの研究に参加するかどうかは、あなた自身の自由な意思で決めてください。たとえ研究に参加されなくても、参加しない場合でも評価等の関連はなく不利益は生じません。

また、あなたが研究に参加した後に途中で参加をやめたいと思った場合でも、理由に関係なくいつでもやめることができます。その場合でも、不利な扱いを受けることはありません。

### 2. 臨床研究について

病気の診断やその治療方法は、医師個人の経験則や過去からデータの積み重ねにより評価され、発展してきました。「臨床研究」とは、患者さんなど多くの方々にご協力いただき、新しい治療方法の有効性や安全性を科学的に評価していく研究活動です。

この臨床試験は、参加された方の安全や人権を守るため、国が定めた指針に従って実施されます。この研究を行うにあたり、藤田医科大学医学研究倫理審査委員会にて厳密な審査を行い、藤田医科大学 学長 の許可を得た上で実施しております。

### 3. 食事と病気の関係について

糖尿病、高血圧、脂質異常症、心臓血管疾患、悪性腫瘍などのさまざまな疾患の予防には、食事を含めたライフスタイルの改善が必要です。そのためには食事内容の正確な把握が必要ですが、正確な評価方法が確立されていません。近年食事記録アプリが開発されていますが、正確性、再現性についてのエビデンスは確立されていません。

### 4. 研究の目的及びその意義

そこで本研究では、2つの食事記録アプリを用いて、日差間、個人間での変動を明らかにし、将来的にアプリを食事調査で利用できるか明らかにします。

### 5. 研究の方法

( 1 ) 予定される研究期間

倫理審査委員会承認日から 2024 年 3 月までを予定しています。

( 2 ) 対象となる被験者の方

スマートフォンをお持ちでアプリをダウンロードでき、この研究に協力していただける方。

( 3 ) 参加予定者数

この研究では、10 名(最大 20 名)の被験者の参加を予定しております。

( 4 ) この研究で行う検査

用意された食事を、2 種類の食事記録アプリで撮影し、解析した結果をアンケート用紙に記入していただきます。(アンケート用紙とともに、年齢、性別、BMI、職業の情報を取得します)  
なお、検査に用いる食事の試食は行いません。

( 5 ) 検査及び観察項目

第 0 日 参加者の背景情報(性別、年齢、身長および体重から計算した BMI)

第 1 日から第 5 日 市販食品および病院食のアプリ撮影、解析、アンケート用紙への結果の記入

( 6 ) その他

特になし

## 6. 研究終了後の医療の提供について

特になし

## 7. 予測される利益・不利益

( 1 ) 予定される利益

直接的な利益はありませんが、本研究へ参加することによる研究対象者への直接の利益は生じない。しかし研究成果により将来の医療の進歩に貢献できる可能性があります。

( 2 ) 予想される不利益(負担および予測されるリスク)

アプリ撮影時間は数秒であり、全ての行為は 1 日あたり 1 分未満であり、被験者の負担、リスクはありません。

## 8. 他の治療方法について

治療は本研究には含まれません。

## 9. 研究への参加を中止する場合について

あなたが研究への参加を辞めたいと申し出た場合には中止します。

## 10. 健康被害が起きた場合の処置及び補償

本研究は侵襲を伴わないため、該当しません。

## 11. 研究に係る費用の負担等

この研究に参加されることに対する謝礼はありません。

## 12. 研究に関する情報公開

この研究に関する情報は医局のホームページなどにも合わせて公開しております。

研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、他の参加者の個人情報保護やこの研究の独創性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。希望される場合は、担当医師にお申し出下さい。

本研究は、研究結果については、学会、論文等で発表予定です。

藤田医科大学 臨床栄養学のホームページ <https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/medicine/department/j93sdv0000005dgu.html>

また、あなたがこの研究に参加している間に、研究継続の意思に影響を与えるような新しい情報（有害事象など）が得られた場合には、担当医師が速やかにその情報の内容について説明します。その際、この研究に継続して参加するかどうかを改めてお聞きします。研究への継続を希望される場合には、引き続き参加できます。また、研究をやめたいと思われた場合には、いつでもやめることができますのでお申し出下さい。

## 13. 試料・情報の保管及び破棄について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された検体や診療情報などのこの研究に関するデータは、あなたのお名前を識別コード（文字や数字を組み合わせたもの）に置き換える

など個人を特定できない様に管理します。あなたのお名前と識別コードを結びつける一覧表は、研究に関するデータとは別に管理します。この研究で得られた結果は、学会や医学論文などに公表される場合がありますが、その際は識別コードに置き換えられた情報のみが公表されるため、プライバシーは保護されます。

検体の管理・保管は藤田医科大学臨床栄養学教室で行われ、検体は研究終了10年後に破棄します。情報の保管・解析は藤田医科大学臨床栄養学講座 医局で行われ、医局内の鍵の掛かる棚にて保管します。データは、研究の正確性を後に判断する事を可能とするために、可能な限り長期に保管し（少なくとも研究成果の公表後10年）破棄する際は、藤田医科大学で決められた手順で行います。

#### 14 この研究で得られた結果の取り扱いについて

今回の研究で実施する検査は、まだ研究途上にあり十分にわかっていない段階であるため、個別に結果をお知らせすることはありません。どうかご了承ください。

#### 15 特許権等について

本研究の結果として特許権などが生じる可能性があります、その権利は研究機関及び研究者に属することになり、あなたには属しません。

#### 16. 研究の資金等と利益相反（企業等との利害関係）

使用する研究費は本学内の研究費です。

あすけんおよびライフログテクノロジー社から、食事記録アプリを無償で貸与されますが、研究資金は受けません。

研究責任者とそのグループに本研究に係わる企業等との経済的な利害関係はありません。研究の実施に対して上記企業は一切関与しません。藤田医科大学利益相反委員会から承認を得るとともに、そのマネジメントを継続的に受けて、本研究の公正性を保ちます。

#### 17. 研究体制

##### 【研究代表者】

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚 勝美

#### 18 相談窓口

研究機関名： 藤田医科大学 臨床栄養学講座

研究責任者： 飯塚 勝美(教授)

連絡先： 藤田医科大学 臨床栄養学講座

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

Tel: 0562-93-2329

(文例A)

「食事記録アプリによる患者指導の効率化/利便性への影響と指導効果に関する検討」への協力  
のお願い

研究機関 藤田医科大学  
研究責任者 医学部 臨床栄養学  
飯塚 勝美

第 版 2021年12月16日作成

## 1. はじめに

これから、藤田医科大学臨床栄養学講座において行われている臨床研究について説明いたします。わからないことがあれば、どんなことでも担当者にお聞き下さい。この説明文書をお読み頂き、内容を十分理解した上で、今回の研究に参加してもよいと思われた場合には、「同意文書」に署名をお願いします。

あなたがこの研究に参加するかどうかは、あなた自身の自由な意思で決めてください。たとえ研究に参加されなくても、担当医師と気まづくなるなどの不利な扱いを受けることはありません。担当医師は、あなたにとって最も適した治療を行います。

また、あなたが研究に参加した後に途中で参加をやめたいと思った場合でも、理由に関係なくいつでもやめることができます。その場合でも、不利な扱いを受けることなく、あなたにとって最も適した治療に切り替えます。

## 2. 臨床研究について

病気の診断やその治療方法は、医師個人の経験則や過去からデータの積み重ねにより評価され、発展してきました。「臨床研究」とは、患者さんなど多くの方々にご協力いただき、新しい治療方法の有効性や安全性を科学的に評価していく研究活動です。

この臨床試験は、参加された方の安全や人権を守るため、国が定めた指針に従って実施されます。この研究を行うにあたり、藤田医科大学医学研究倫理審査委員会にて厳密な審査を行い、藤田医科大学 学長の許可を得た上で実施しております。

## 3. あなたの病気について

糖尿病は血液中の糖が十分利用できなくなる栄養疾患です。十分な治療をせずにほっておくと、目が悪くなったり、腎臓が悪くなったり、全身の病気が生じる危険性が高まります。糖尿病にはいろいろなタイプがありますが、タイプの如何によらず食事療法は重要な治療の一つになります。入院して出される食事や食べ物（栄養治療）について考える大事なきっかけです。

## 4. 研究の目的及びその意義

医師や医療従事者により全く違うことを言われた経験はないでしょうか？情報の共有が十分にできていないため、食い違いが生じる場合があります。そのような説明治療の食い違いを防ぐために、今回の研究を立案しました。

医療におけるIT活用は目覚ましいものがあります。近年の進歩の一つとして、予防医療の観点で未病患者に対する食事摂取アプリの活用が挙げられます。しかし、発症後の栄養治療に食事摂取アプリが活用された事例は保険適応外であるため、ほとんどありません。近年働き方改革のため、医療従事者の業務時間短縮、仕事の効率化が求められており、患者教育に食事摂取アプリを活用することで、患者教育の向上だけでなく医療従事者の負担軽減につながると考えました。そこで本研究では、アプリに栄養処方箋を搭載することで、通院している病院だけでなくかかりつけ薬局にいる管理栄養士、薬剤師と情報共有することで、患者さん・医師・医療従事者にとって指導の効率化・利便性が向上するかを明らかにします。また、食事摂取アプリを栄養指導に併用することで、退院時の栄養療法の理解度や退院後の栄養療法の履行状況に影響を与えるかも検証します。

本研究では、アプリを使用したグループとアプリを使用しなかったグループを比較することで、アプリを活用することの利点、欠点を炙り出します。そのため、アプリを使用しなかった方にも十分な研究に対する貢献をしていただくことになるので、アプリを使用していただいた方と同様の謝礼をお支払いします。アプリを使用するかはコンピューターによるクジにより行うので、同意をいただく時点ではわかりません。

## 5. 研究の方法

### (1) 予定される研究期間

倫理審査委員会承認日から2026年3月までを予定しています。

### (2) 対象となる患者さん

藤田医科大学病院内分泌/代謝/糖尿病内科入院/通院中の糖尿病患者です。

選択基準は下記の通りです。

藤田医科大学病院内分泌/代謝/糖尿病内科入院し、退院後かかりつけ医に通院される糖尿病患者

1. 本研究の参加にあたり、十分な説明を受けた後に、十分な理解の上に、本人の自由意志による文書同意が得られた患者
2. 同意取得時に20歳以上75歳未満の患者
3. 携帯アプリが使用できる機種をお持ちの方かつアプリをダウンロードし、操作できる方。
4. 退院後1ヶ月及び3ヶ月目にスギ薬局にアンケート結果を解答していただき、栄養相

談（スギ薬局で処方を受けている場合は服薬指導も）を受ける意思のある方  
5. 連絡のため、スギ薬局に連絡先を伝えても良い方。  
（連絡先は本研究の連絡のため以外には使用しない）

アプリを使用できない方、医師が不適格と判断した場合は除外とします。

### （3）参加予定者数

この研究では、60名の患者さんの参加を予定しております。他に医療関係者（院内栄養士 30名、スギ薬局 管理栄養士・薬剤師 30名ずつ）も対象になっています。

### （4）この研究で行うこと

まず、医療従事者にとってこのアプリが患者指導の上で有用であったかを調査します。無記名でアンケートを行い、指導時間や労力をスコア化し、施設間、職種による比較を行います。患者様に対しては、食事摂取を記録解析するアプリ（スギサポ eat）を使用する群、使用しない群に分けて入院中に食事についての教育を行い、理解度を評価します。それぞれの群に割り付けられる確率は乱数表を用いるため、50%です。なお、薬物による介入はありません。退院後、1ヶ月、3ヶ月での栄養療法の遵守率についても調査します。

以下が調査項目です。

#### （主要評価項目）

アプリ活用による業務効率化・安全性・利便性の向上(医療従事者のみ)

#### （副次評価項目）

アプリ活用による食事治療についての理解度調査

アプリ活用による指示された栄養療法の遵守率への影響

アプリ活用による BMI、HbA1c、eGFR、尿アルブミンへの効果

### （5）検査及び観察項目

#### 入院時

- 性別、年齢、身長、体重、BMI、糖尿病の罹病期間、細小血管及び大血管合併症の有無
- 糖尿病のタイプ（1型、2型など）、内服薬、インスリン、GLP-1の有無
- HbA1c、eGFR、尿アルブミン
- 医師から指示された入院中の総エネルギー、炭水化物、脂質、タンパク、食塩摂取量
- FFQ 簡易版による推定食事摂取量（入院時）

#### 退院時

- 入院中の食組成、食事療法に対する理解度調査、アプリの機能改善に関するアンケート(患者)
- アプリ活用による業務効率化・利便性に関するアンケート（管理栄養士、薬剤師）

退院後 1 ヶ月、3 ヶ月

- 簡易 FFQ による総エネルギー、炭水化物、脂質、タンパク、食塩摂取量(患者に対して)  
退院後 1 ヶ月、3 ヶ月
- アプリの機能改善に関するアンケート(1 ヶ月のみ)
- アプリ活用による業務効率化・利便性に関するアンケート(1 ヶ月のみ、管理栄養士、薬剤師)
- 体重、HbA1c(患者から聞き取り)

## 6. 予測される利益・不利益

### (1) 予定される利益

本研究へ参加することにより、アンケート回答の対価として QUO カード 1500 円分を進呈します。さらに薬局にて栄養相談を受けられる利点もあります。最後に、研究成果により将来の医療の進歩に貢献できる可能性があります。

### (2) 予想される不利益(負担および予測されるリスク)

アプリ撮影時間は数秒で、全ての行為は 1 日あたり 1 分未満であり、被験者の負担、リスクはないと思われます。明らかにリスクは認めず、将来診療で用いられる可能性の高いアプリの基礎データが得られることは対象者への利益が上回ります。

## 7. 研究への参加を中止する場合について

あなたが研究への参加を辞めたいと申し出た場合には中止します。また、以下に該当する場合には、参加の途中であっても中止になることがあります。

- ・あなたの病気の状態や治療経過などから、研究を継続することが好ましくないと担当医師が判断した場合
- ・研究への参加基準を満たしていないことが明らかとなった場合
- ・この研究全体が中止となった場合
- ・その他、担当医師が中止したほうが良いと判断した場合

## 8. 研究に係る費用の負担等

この研究に参加することで、通常の診療と比べ、あなたの経済的負担が増えることはありません。また、この研究に参加されることに対するアンケートに答えていただくことに対して謝礼をお支払いします(退院時、退院後 1 ヶ月、3 ヶ月の計 3 回で 1 回あたり、500 円の QUO カードです)。

## 9. 研究に関する情報公開

本研究は公開データベース（JRCT や UMIN-CTR）に登録します。研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。希望される場合は、担当医師にお申し出下さい。

藤田医科大学 臨床栄養学のホームページ : <https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/medicine/department/j93sdv0000005dgu.html>

また、あなたがこの研究に参加している間に、研究継続の意思に影響を与えるような新しい情報（有害事象など）が得られた場合には、担当医師が速やかにその情報の内容について説明します。その際、この研究に継続して参加するかどうかを改めてお聞きします。研究への継続を希望される場合には、引き続き参加できます。また、研究をやめたいと思われた場合には、いつでもやめることができますのでお申し出下さい。

## 10. 試料・情報の保管及び破棄について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された検体や診療情報などのこの研究に関するデータは、あなたのお名前を識別コード（文字や数字を組み合わせたもの）に置き換えるなど個人を特定できない様に管理します。あなたのお名前と識別コードを結びつける一覧表は、研究に関するデータとは別に管理します。この研究で得られた結果は、学会や医学論文などに公表される場合がありますが、その際は識別コードに置き換えられた情報のみが公表されるため、プライバシーは保護されます。

検体の管理・保管は藤田医科大学臨床栄養学講座で行われ、検体は研究終了 10 年後に破棄します。情報の保管・解析は藤田医科大学臨床栄養学講座で行われ、医局内の鍵の掛かる棚にて保管します。データは、研究の正確性を後に判断する事を可能とするために、可能な限り長期に保管し（少なくとも研究成果の公表後 10 年）、破棄する際は、藤田医科大学で決められた手順で行います。食事記録アプリに使用したスギサポ ID は研究終了後無効になり、データも消去されます。

## 11. この研究で得られた結果の取り扱いについて

今回の研究で実施する検査は、まだ研究途上にあり十分にわかっていない段階であるため、個別に結果をお知らせすることはありません。どうかご了承ください。

## 12. 特許権等について

本研究の結果として特許権などが生じる可能性があります、その権利は研究機関及び研究者に属することになり、あなたには属しません。

## 13. 研究の資金等と利益相反（企業等との利害関係）

**研究資金：** 本学内の講座費もしくは JST の資金を一部使用する。他、外部の研究資金を受けない。

**物的・人的支援：** スギ薬局から食事記録アプリ（スギサポ eat）を無償で貸与（研究期間内）されて利用する。

**利益相反：** スギ薬局からは資金提供を受けておらず、研究責任者と研究分担者は企業スギ薬局との間に経済的関係が一切なく、また、本研究に係わる開示すべき利益相反はない。研究の実施（研究対象者のリクルート、データ管理、モニタリング、統計・解析に關与する業務のすべてを含む）に対して、スギ薬局は一切關与しない。ただし、医療従事者に対するアンケート調査の結果をスギ薬局から提供を受ける。藤田医科大学利益相反委員会へ申請を行い、利益相反マネジメントを受ける。

## 14. 研究体制

### 【研究代表者】

藤田医科大学病院 臨床栄養学講座 教授 飯塚 勝美

### 【研究分担者】

藤田医科大学 内分泌代謝糖尿病内科 教授 鈴木敦詞

藤田医科大学 産学連携センター 教授 瀬戸孝一

藤田医科大学 内分泌代謝糖尿病内科 准教授 清野祐介

## 15. 相談窓口

研究機関名： 藤田医科大学 臨床栄養学講座

研究責任者： 飯塚 勝美(教授)

連絡先： 藤田医科大学臨床栄養学講座

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

Tel: 0562-93-2329

# 「健診受診者における食品頻度摂取調査と食事記録アプリの比較検討」への協力のお 願い

研究機関 藤田医科大学  
研究責任者 医学部 臨床栄養学講座  
飯塚勝美  
第1版 2022年07月25日作成

## 1. はじめに

これから、藤田医科大学医学部臨床栄養学講座において行われている臨床研究について説明いたします。わからないことがあれば、どんなことでも担当者にお聞き下さい。この説明文書をお読み頂き、内容を十分理解した上で、今回の研究に参加してもよいと思われた場合には、「同意文書」に署名をお願いします。

あなたがこの研究に参加するかどうかは、あなた自身の自由な意思で決めてください。  
また、あなたが研究に参加した後に途中で参加をやめたいと思った場合でも、理由に関係なくいつでもやめることができます。

## 2. 臨床研究について

病気の診断やその治療方法は、医師個人の経験則や過去からデータの積み重ねにより評価され、発展してきました。「臨床研究」とは、患者さんなど多くの方々にご協力いただき、新しい治療方法の有効性や安全性を科学的に評価していく研究活動です。

この臨床試験は、参加された方の安全や人権を守るため、国が定めた指針に従って実施されます。この研究を行うにあたり、藤田医科大学医学研究倫理審査委員会にて厳密な審査を行い、藤田医科大学 学長 の許可を得た上で実施しております。

## 3. 食事と疾患の関わりについて

食事と病気の関係はさまざまな疾患、生活習慣病、癌で指摘されています。しかし、従来の検査では正確な測定は難しい面がありました。食事の是正だけでも大きく病気が良くなるものもありますので、正確な食事調査法の確立が望まれます。

## 4. 研究の目的及びその意義

2種類の従来からある食品摂取頻度調査と近年民間で普及している食事記録アプリの記録7日分をそれぞれ比較し、両者の統計学的な関連を明らかにし、より簡便で使いやすい食事記録法への移行を目指します。また、両者とも塩分、脂質などは正確に測りにくいため、腸内細菌叢や尿ナトリウム(Na)、尿尿素窒素(UN)での補正が可能かを検討します。

## 5. 研究の方法

### (1) 予定される研究期間

倫理審査委員会承認日から 2026 年 3 月までを予定しています。

### (2) 対象となる患者さん

基礎疾患がなく、6 ヶ月以内の職場の健康診断で異常なしと言われ、BMI が 18.5・22 と正常体重である、20・60 歳の男女

### (3) 参加予定者数

この研究では、100 名の患者さんの参加を予定しております。

### (4) この研究で行う治療

観察研究（非介入研究）のため、介入はありません。

### (5) 検査及び観察項目

下記は健康管理室より、健診データまたは尿サンプルをいただく。

- 年齢、性別、身長、体重、BMI、血圧、最大既往体重、既往歴の有無、
- 体脂肪率、骨格筋指数 (In body で測定)
- 健康診断での血液検査データ
- 血算、肝機能(AST, ALT, GTP)、腎機能(Cre, BUN, eGFR)、血糖、HbA1c、脂質 (TG, T-Chol, HDLc, LDLc)
- 健診受診者の総人数と健診で異常を指摘されていない人数 (性別、年代別)
- 尿 Na、尿 Cre、尿 UN 用採尿(健診時に採取済みのものを解析)

今回新たに採取するものとして、質問票の説明時もしくは回収時に

- BDHQ 及び FFQ による総エネルギー、各栄養素摂取量
- 糞便検査 (腸内細菌叢検査、シンバイオシスより提供)
- アプリの測定データ (あすけんより提供)

#### 観察時期

健診終了後、6 ヶ月以内 (できるだけ 3 ヶ月以内を努力目標とする)

#### 観察期間

質問票の記入と、アプリを使用した最長 1 ヶ月間 (データとして 7 日間が最低必要)

### (6) その他

該当なし

## 6. 予測される利益・不利益

以下の点を参考に、わかりやすく記載して下さい。

### (1) 予定される利益

直接的な利益がない場合は、ありません。研究結果による社会的利益については、今後国際医療センターなどでの検診を含め、研究成果により将来の医療の進歩に貢献できる可能性がある。

### (2) 予想される不利益（負担および予測されるリスク）

研究対象者の負担としては、2種類の質問票に回答すること（合わせて、1時間程度）です。7日間は食事アプリを入力することが挙げられるため（1回5分程度）、時間的な負担が予想される。なお、参加による経済的負担はありません。採尿は健診時に保存されたものを用います。糞便を提出いただき、腸内細菌叢の検査をします。

## 7. 研究への参加を中止する場合について

あなたが研究への参加を辞めたいと申し出た場合には止めることができます。

## 8. 研究に係る費用の負担等

この研究に参加することで、通常の診療と比べ、あなたの経済的負担が増えることはありません。また、この研究に参加されることに対する謝礼はありません。

## 9. 研究に関する情報公開

研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。

藤田医科大学 臨床栄養学のホームページもしくは

<https://fujita.bvits.com/esct/publish.aspx>

また、あなたがこの研究に参加している間に、研究継続の意思に影響を与えるような新しい情報（有害事象など）が得られた場合には、担当医師が速やかにその情報の内容について説明します。その際、この研究に継続して参加するかどうかを改めてお聞きします。研究への継続を希望される場合には、引き続き参加できます。また、研究をやめたいと思われた場合には、いつでもやめることができますのでお申し出下さい。

## 10. 試料・情報の保管及び破棄について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された検体や診療情報などのこの研究に関するデータは、あなたのお名前を識別コード（文字や数字を組み合わせたもの）に置き換えるなど個人を特定できない様に管理します。あなたのお名前と識別コードを結びつける一覧表は、研究に関するデータとは別に管理します。この研究で得られた結果は、学会や医学論文などに公表される場合がありますが、その際は識別コードに置き換えられた情報のみが公表されるため、プライバシーは保護されます。

検体の管理・保管は藤田医科大学臨床栄養学講座で行われ、検体は研究終了5年後に破棄します。情報の保管・解析は藤田医科大学 臨床栄養学講座 医局で行われ、医局内の鍵の掛かる棚にて保管します。データは、研究の正確性を後に判断する事を可能とするために、可能な限り長期に保管し（少なくとも研究成果の公表後10年）、破棄する際は、藤田医科大学で決められた手順で行います。

## 1 1. この研究で得られた結果の取り扱いについて

今回の研究で実施する検査は、まだ研究途上にあり十分にわかっていない段階であるため、個別に結果をお知らせすることはありません。どうかご了承ください。

## 1 2. 特許権等について

本研究の結果として特許権などが生じる可能性があります。その権利は研究機関及び研究者に属することになり、あなたには属しません。

## 1 3. 研究の資金等と利益相反（企業等との利害関係）

使用する研究費は本学内の研究費です。企業等から研究資金や物的・人的な支援を受けません。研究責任者とそのグループに本研究に係わる企業等との経済的な利害関係はありません。藤田医科大学利益相反委員会から承認を得るとともに、そのマネジメントを継続的に受けて、本研究の公正性を保ちます。

## 1 4. 研究体制

### 【研究代表者】

藤田医科大学 医学部 臨床栄養学講座 教授 飯塚 勝美

## 1 5. 相談窓口

研究機関名： 藤田医科大学 医学部 臨床栄養学講座

研究責任者： 飯塚 勝美(教授)

連絡先： 藤田医科大学 臨床栄養学講座

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

Tel: 0562-93-2329、Fax: 0562-93-2329

## 「栄養関連転写因子と悪性腫瘍の重症度との関連に関する観察研究」への協力をお願い

研究機関 藤田医科大学

研究責任者 医学部 臨床栄養学講座

飯塚 勝美

第1版

2021年11月25日作成

### 1. はじめに

これから、藤田医科大学臨床栄養学講座において行われている臨床研究について説明いたします。わからないことがあれば、どんなことでも担当者にお聞き下さい。この説明文書をお読み頂き、内容を十分理解した上で、今回の研究に参加してもよいと思われた場合には、「同意文書」に署名をお願いします。

あなたがこの研究に参加するかどうかは、あなた自身の自由な意思で決めてください。たとえ研究に参加されなくても、担当医師と気まづくなるなどの不利な扱いを受けることはありません。担当医師は、あなたにとって最も適した治療を行います。

また、あなたが研究に参加した後に途中で参加をやめたいと思った場合でも、理由に関係なくいつでもやめることができます。その場合でも、不利な扱いを受けることなく、あなたにとって最も適した治療に切り替えます。

### 2. 臨床研究について

病気の診断やその治療方法は、医師個人の経験則や過去からデータの積み重ねにより評価され、発展してきました。「臨床研究」とは、患者さんなど多くの方々にご協力いただき、新しい治療方法の有効性や安全性を科学的に評価していく研究活動です。

この臨床試験は、参加された方の安全や人権を守るため、国が定めた指針に従って実施されます。この研究を行うにあたり、藤田医科大学医学研究倫理審査委員会にて厳密な審査を行い、藤田医科大学 学長の許可を得た上で実施しております。

### 3. あなたの病気について

大腸がん、胃がん、肝臓がんは古くから食べ物との関係が取り沙汰されています。現在は手術や化学療法の発展により、治療成績が大きく改善している分野です。当然ながら病気の進行が軽いうちに治療できると成績も良くなります。

### 4. 研究の目的及びその意義

本研究では、手術で摘出された病気の場所で発現している遺伝子(転写因子と言う、食べ物で調節されるスイッチです)の量から病気の進み具合を将来的に予測できるかを明らかにします。食べ物のスイッチなので、今まで食べてきたものの影響を考慮することで予測が正確になる可能

性がありますので、同時に調べます。手術前1年間の食事の摂取に関する情報について、FFQ（食物摂取頻度調査）を用いて調査し、食事の影響を考慮した上で、がん、転写因子の関係を調べます。この研究から将来的にはこの転写因子が調節する血液中の物質の量を測定することや胃カメラ大腸カメラの検査をするだけで、癌の進行が予測できるようになればと考えて、この研究を企画しました。

## 5. 研究の方法

### （1）予定される研究期間

倫理審査委員会承認日から2026年3月までを予定しています。

### （2）対象となる患者さん

藤田医科大学病院総合消化器外科に通院し、手術を受ける胃癌、大腸癌、肝癌患者で、本研究の参加にあたり、十分な説明を受けた後に、十分な理解の上に、本人の自由意志による文書同意が得られた20歳以上85歳未満の患者さんです。他に腎臓や肝臓に重たい病気のある人は除きます。

### （3）参加予定者数

この研究では、胃癌、大腸癌、肝癌の各々120名の患者さんの参加を予定しております。

### （4）この研究で行う研究方法

特に治療に対して、何か特別なことを行うことはありません。手術で摘出された標本とカルテの情報から、予測モデルを作成します。なお本研究でご協力いただく臨床情報および検体(手術検体)は、本学バイオバンク(藤田医科大学:HG21-025「新薬・診断薬の開発を主たる目的としたバイオバンク・データベース構築 臨床検査 データ付サンプルの系統的保存」)の一環でバイオリソース室(大学1号館112号室)に一度保管させていただいたものを利用します。バイオバンクで保管された試料は、倫理委員会で承認された別の研究に提供される場合があります。上記試料の二次的な利用が行われた場合には、このような説明文書で当該研究者より公表されます。

### （5）検査及び観察項目

観察項目を研究期間内に調べます。

- 年齢、性別、BMI、化学療法の有無と使用した薬剤
- がんの摘出部位
- FFQ データ(総エネルギー、炭水化物、脂質、タンパク、食物繊維、塩分のいずれか)
- 組織より抽出した mRNA から合成した cDNA を用いた定量的 PCR
- 悪性腫瘍ステージングのため、画像検査データ、病理組織データ

- 内視鏡生検により得た組織サンプル
- 血算、血糖、HbA1c、脂質、腎機能、HBsAb、HCVAb、ANCA、アルブミン、Prognostic nutritional index (PNI)、インスリン、HOMA-R、Fib-4 index
- 飲酒量
- 手術術式と術後合併症の種類、有無

## 6. 予測される利益・不利益

### (1) 予定される利益

本研究は治療介入を行わない観察研究である。疾患の治療方針は通常診療として主治医と患者の意思により決定されるため、本研究に参加することによる治療上での直接的な患者の利益、不利益はともにありません。本研究へ参加することによる研究対象者への直接の利益は生じません。しかし研究成果により将来の医療の進歩に貢献できる可能性がある。明らかなリスクは認めず、将来診療で用いられる可能性の高い基礎データが得られることは対象者への利益が勝ります。探索研究であり、リスクがほぼない検討のため、個人情報の保護に十分留意します。

### (2) 予想される不利益（負担および予測されるリスク）

検査は診療の範囲名であり、手術においても切除量が増加することはありません。検査に使用するサンプル量は数ミリ程度で手術で切除される領域と比較して、大変小さいです。

## 7. 研究に係る費用の負担等

この研究に参加することで、通常の診療と比べ、あなたの経済的負担が増えることはありません。また、この研究に参加されることに対する謝礼はありません。

## 8. 研究に関する情報公開

研究成果は英語論文の形で公表いたします。また、医局のホームページなどにも合わせて公開しております。

研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。希望される場合は、担当医師にお申し出下さい。

藤田医科大学 臨床栄養学のホームページ : <https://www.clin-nutr.med.fujita-hu.ac.jp>

## 9. 試料・情報の保管及び破棄について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された検体や診療情報などのこの研究に

関するデータは、あなたのお名前を識別コード（文字や数字を組み合わせたもの）に置き換えるなど個人を特定できない様に管理します。あなたのお名前と識別コードを結びつける一覧表は、研究に関するデータとは別に管理します。この研究で得られた結果は、学会や医学論文などに公表される場合がありますが、その際は識別コードに置き換えられた情報のみが公表されるため、プライバシーは保護されます。

検体の管理・保管は藤田医科大学臨床栄養学講座もしくはバイオバンク（予定）で行われ、検体は研究終了 5 年後(予定、再延長の場合があります)に破棄します。情報の保管・解析は臨床栄養学講座医局もしくはバイオバンクで行われ、医局内の鍵の掛かる棚にて保管します。データは、研究の正確性を後に判断する事を可能とするために、可能な限り長期に保管し（少なくとも研究成果の公表後 10 年）、破棄する際は、藤田医科大学で決められた手順で行います。

バイオバンクを使用するため、研究対象者から同意を受ける時点では特定されない将来の研究のために他の研究機関、診療科に提供する可能性が存在します。匿名化検体データ及び ID 紐付け情報が提供される可能性が考えられます。

## 10. この研究で得られた結果の取り扱いについて

今回の研究で実施する検査は、まだ研究途上にあり十分にわかっていない段階であるため、個別に結果をお知らせすることはありません。どうかご了承ください。

## 11. 特許権等について

本研究の結果として特許権などが生じる可能性があります。その権利は研究機関及び研究者に属することになり、あなたには属しません。

## 12. 研究の資金等と利益相反（企業等との利害関係）

使用する研究費は本学内の研究費です。企業等から研究資金や物的・人的な支援を受けません。研究責任者とそのグループに本研究に係わる企業等との経済的な利害関係はありません。藤田医科大学利益相反委員会から承認を得るとともに、そのマネジメントを継続的に受けて、本研究の公正性を保ちます。

## 13. 研究体制

研究責任者 臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美  
研究分担者 総合消化器外科講座 教授 須田 康一  
総合消化器外科講座 准教授 田中 毅

総合消化器外科講座 講師 秋元 信吾  
総合消化器外科講座 助教 後藤 愛  
消化器内科講座 教授 廣岡 芳樹  
消化器内科講座 教授 柴田知行  
消化器内科講座 教授 宮原良二  
消化器内科講座 教授 橋本千樹  
消化器内科講座 准教授 中川義仁  
消化器内科講座 准教授 葛谷貞二  
病理診断学 教授 塚本 徹哉  
病理診断学 准教授 山田勢至

#### 14 相談窓口

研究機関名： 藤田医科大学 臨床栄養学講座

研究責任者： 飯塚勝美(教授)

連絡先： 藤田医科大学臨床栄養学講座

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

Tel: 0562-93-2329

作成日：西暦 2021 年 10 月 25 日

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：TG/HDLc 比の体組成マーカーとしての意義に関する観察研究

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1．研究の対象

2019 年 4 月から 2021 年 9 月まで藤田医科大学 内分泌・代謝内科学教室の外来に通院した糖尿病患者のうち、体組成測定装置 In body、空腹時採血 (TG 及び HDLc を含む) 結果がある患者さん

### 2．研究目的・方法・研究期間

サルコペニアは寝たきりや QOL の低下につながる病態であり、さまざまな病因により生じる。サルコペニアの診断は、筋肉量、筋力、活動量などで総合的に診断されるが、筋肉量の評価には、In body などの体組成計を必要としますので煩雑です。そこで、インスリン抵抗性の指標である TG(トリグリセリド)/HDLc 比が体脂肪率や SIM といった体組成を反映する指標たり得るかをカルテから得られた情報をもとに解析します。さらに、サルコペニアと肥満を合併した患者(いわゆるサルコペニア肥満)での TG/HDLc 比を、サルコペニアのみ、肥満のみ、非肥満非サルコペニア群と比較し、簡便なサルコペニア肥満のスクリーニング検査になるか検証します。研究期間は倫理審査委員会承認日～2025 年 3 月 31 日までです。

### 3．研究に用いる試料・情報の種類

カルテより入手する情報は、ID、年齢、性別、身長、体重より計算した BMI、空腹時血中 TG、空腹時血中 HDLc から計算した TG/HDLc 比、BIA 法 (Inbody)を用いた体組成の値(体脂肪率、体脂肪量、筋肉量、四肢及び体幹筋量、SIM)、脂質異常症内服薬の有無、参考項目として、内服薬、HbA1c、Cre、握力の数値

### 4．外部への試料・情報の提供

なし

## 5 . 研究組織

本学の研究責任者：藤田医科大学 臨床栄養学 教授 飯塚 勝美

## 6 . 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

藤田医科大学 臨床栄養学講座

担当者：飯塚勝美

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329

e-mail:katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

作成日：西暦 2021 年 11 月 12 日

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：患者背景が食行動に与える効果の検討

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1. 研究の対象

- 2019 年 4 月から 2022 年 4 月まで藤田医科大学病院 内分泌・代謝・糖尿病内科の外来に通院した糖尿病患者
- 2021 年 4 月から 2022 年 4 月まで藤田医科大学国際医療センターに検診を受けに来られた方
- 2021 年 4 月から 2022 年 4 月までに五島医院を受診された患者

### 2. 研究目的・方法・研究期間

食事療法は生活習慣病の治療の柱と考えられています。しかし、食事は、本人の思考だけでなく、家庭の経済状況、社会状況により大きい影響を受けます。高齢社

会、世代間格差が叫ばれる中、社会的な背景を加味した栄養指導が今後要求されていくと考えられます。しかし、通院している医療機関の規模や検診機関によって、通院患者の社会背景に違いが見られると考えられると予想されますが、エビデンスはまだありません。年齢は食事摂取量を規定する重要な因子であることがよく知られていますが、これが施設（患者の経済的社会的背景）の違いによりその効果が異なるかは不明です。

そこで医療機関（通常の外来通院患者、会員制精密検診施設、郊外の開業医）における患者の食環境について、今回対象の施設では日常診療に用いられている食物摂取頻度調査（FFQ）の結果を利用し、通院している医療機関の違いを加味して、年齢が食行動に及ぼす影響を明らかにします。本研究で診療機関による違いが明らかとなれば、高齢者に対してより注力すべき栄養素に対する効率的な栄養指導が施設ごとに可能になると考えられます。

方法は、カルテから、年齢、性別、BMI、HbA1c、eGFR、糖尿病罹病歴、データを得た施設、FFQにより聴取した食事組成データを取得し、年齢と食組成の関係を、性別、性別、BMI、HbA1c、eGFR、糖尿病罹病歴、データを得た施設の影響を考慮して（交互作用）解析します。

研究期間は倫理審査委員会承認日～2025年3月31日です。

### 3 . 研究に用いる試料・情報の種類

- 年齢、性別
- 身長、体重より計算した BMI
- 糖尿病罹病歴の有無
- HbA1c, eGFR
- 身長、体重より計算した BMI
- 問診より得られた FFQ（総エネルギー、炭水化物エネルギー比、脂質エネルギー比、タンパク質エネルギー比、食物繊維量、塩分量、各糖質エネルギー比、飽和脂肪酸エネルギー比）

### 4 . 外部への試料・情報の提供

該当なし

### 5 . 研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚 勝美

既存試料・情報の提供のみを行う機関：

五島医院 五島英一

## 6 . 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

### 【相談窓口】

藤田医科大学 医学部 臨床栄養学 講座 教授 飯塚勝美

〒470-1192

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1 - 98

e-mail: katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

なお、この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

## 「食事アプリの個人間、日差間、機種間変動に関する調査研究」への協力をお願い

研究機関 藤田医科大学  
研究責任者 医学部 臨床栄養学講座  
飯塚勝美

第1版 2021年10月25日作成

### 1. はじめに

これから、藤田医科大学臨床栄養学講座において行われている臨床研究について説明いたします。わからないことがあれば、どんなことでも担当者にお聞き下さい。この説明文書をお読み頂き、内容を十分理解した上で、今回の研究に参加してもよいと思われた場合には、「同意文書」に署名をお願いします。

あなたがこの研究に参加するかどうかは、あなた自身の自由な意思で決めてください。たとえ研究に参加されなくても、参加しない場合でも評価等の関連はなく不利益は生じません。

また、あなたが研究に参加した後に途中で参加をやめたいと思った場合でも、理由に関係なくいつでもやめることができます。その場合でも、不利な扱いを受けることはありません。

### 2. 臨床研究について

病気の診断やその治療方法は、医師個人の経験則や過去からデータの積み重ねにより評価され、発展してきました。「臨床研究」とは、患者さんなど多くの方々にご協力いただき、新しい治療方法の有効性や安全性を科学的に評価していく研究活動です。

この臨床試験は、参加された方の安全や人権を守るため、国が定めた指針に従って実施されます。この研究を行うにあたり、藤田医科大学医学研究倫理審査委員会にて厳密な審査を行い、藤田医科大学 学長 の許可を得た上で実施しております。

### 3. 食事と病気の関係について

糖尿病、高血圧、脂質異常症、心臓血管疾患、悪性腫瘍などのさまざまな疾患の予防には、食事を含めたライフスタイルの改善が必要です。そのためには食事内容の正確な把握が必要ですが、正確な評価方法が確立されていません。近年食事記録アプリが開発されていますが、正確性、再現性についてのエビデンスは確立されていません。

### 4. 研究の目的及びその意義

そこで本研究では、2つの食事記録アプリを用いて、日差間、個人間での変動を明らかにし、将来的にアプリを食事調査で利用できるか明らかにします。

### 5. 研究の方法

( 1 ) 予定される研究期間

倫理審査委員会承認日から 2024 年 3 月までを予定しています。

( 2 ) 対象となる被験者の方

スマートフォンをお持ちでアプリをダウンロードでき、この研究に協力していただける方。

( 3 ) 参加予定者数

この研究では、10 名(最大 20 名)の被験者の参加を予定しております。

( 4 ) この研究で行う検査

用意された食事を、2 種類の食事記録アプリで撮影し、解析した結果をアンケート用紙に記入していただきます。(アンケート用紙とともに、年齢、性別、BMI、職業の情報を取得します)  
なお、検査に用いる食事の試食は行いません。

( 5 ) 検査及び観察項目

第 0 日 参加者の背景情報(性別、年齢、身長および体重から計算した BMI)

第 1 日から第 5 日 市販食品および病院食のアプリ撮影、解析、アンケート用紙への結果の記入

( 6 ) その他

特になし

## 6. 研究終了後の医療の提供について

特になし

## 7. 予測される利益・不利益

( 1 ) 予定される利益

直接的な利益はありませんが、本研究へ参加することによる研究対象者への直接の利益は生じない。しかし研究成果により将来の医療の進歩に貢献できる可能性があります。

( 2 ) 予想される不利益(負担および予測されるリスク)

アプリ撮影時間は数秒であり、全ての行為は 1 日あたり 1 分未満であり、被験者の負担、リスクはありません。

## 8. 他の治療方法について

治療は本研究には含まれません。

## 9. 研究への参加を中止する場合について

あなたが研究への参加を辞めたいと申し出た場合には中止します。

## 10. 健康被害が起きた場合の処置及び補償

本研究は侵襲を伴わないため、該当しません。

## 11. 研究に係る費用の負担等

この研究に参加されることに対する謝礼はありません。

## 12. 研究に関する情報公開

この研究に関する情報は医局のホームページなどにも合わせて公開しております。

研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、他の参加者の個人情報保護やこの研究の独創性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。希望される場合は、担当医師にお申し出下さい。

本研究は、研究結果については、学会、論文等で発表予定です。

藤田医科大学 臨床栄養学のホームページ <https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/medicine/departament/j93sdv0000005dgu.html>

また、あなたがこの研究に参加している間に、研究継続の意思に影響を与えるような新しい情報（有害事象など）が得られた場合には、担当医師が速やかにその情報の内容について説明します。その際、この研究に継続して参加するかどうかを改めてお聞きします。研究への継続を希望される場合には、引き続き参加できます。また、研究をやめたいと思われた場合には、いつでもやめることができますのでお申し出下さい。

## 13. 試料・情報の保管及び破棄について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された検体や診療情報などのこの研究に関するデータは、あなたのお名前を識別コード（文字や数字を組み合わせたもの）に置き換える

など個人を特定できない様に管理します。あなたのお名前と識別コードを結びつける一覧表は、研究に関するデータとは別に管理します。この研究で得られた結果は、学会や医学論文などに公表される場合がありますが、その際は識別コードに置き換えられた情報のみが公表されるため、プライバシーは保護されます。

検体の管理・保管は藤田医科大学臨床栄養学教室で行われ、検体は研究終了10年後に破棄します。情報の保管・解析は藤田医科大学臨床栄養学講座 医局で行われ、医局内の鍵の掛かる棚にて保管します。データは、研究の正確性を後に判断する事を可能とするために、可能な限り長期に保管し（少なくとも研究成果の公表後10年）破棄する際は、藤田医科大学で決められた手順で行います。

#### 14 この研究で得られた結果の取り扱いについて

今回の研究で実施する検査は、まだ研究途上にあり十分にわかっていない段階であるため、個別に結果をお知らせすることはありません。どうかご了承ください。

#### 15 特許権等について

本研究の結果として特許権などが生じる可能性があります、その権利は研究機関及び研究者に属することになり、あなたには属しません。

#### 16. 研究の資金等と利益相反（企業等との利害関係）

使用する研究費は本学内の研究費です。

あすけんおよびライフログテクノロジー社から、食事記録アプリを無償で貸与されますが、研究資金は受けません。

研究責任者とそのグループに本研究に係わる企業等との経済的な利害関係はありません。研究の実施に対して上記企業は一切関与しません。藤田医科大学利益相反委員会から承認を得るとともに、そのマネジメントを継続的に受けて、本研究の公正性を保ちます。

#### 17. 研究体制

##### 【研究代表者】

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚 勝美

#### 18 相談窓口

研究機関名： 藤田医科大学 臨床栄養学講座

研究責任者： 飯塚 勝美(教授)

連絡先： 藤田医科大学 臨床栄養学講座

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

Tel: 0562-93-2329

作成日：西暦 2023 年 5 月 7 日(第 2 版)

西暦 2023 年 1 月 16 日(第 1 版)

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：若年低体重女性における栄養状態の実態調査

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1．研究の対象

2022 年度職員健診で低体重(BMI<17.5)を指摘され、藤田医科大学病院栄養評価外来に紹介された患者(2022 年 11 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに初診で受診された方で男女含む)

また、2012 年度から 2022 年度の職員健診を受診した 20 歳から 65 歳までの男性および女性の方。

### 2．研究目的・方法・研究期間

現在、モデル体型として若い女性の間でシンデレラ体重という言葉が飛び交っています。

シンデレラ体重とは BMI 18 の人を指しますが、一般的には低体重とされる体重です。

しかし、若い女性の低体重は社会問題になっており、不妊、将来の糖尿病発症、骨折などのリスクを抱えることとなります。しかし普通は病院受診のきっかけが無いので、実態は不明な点が多いです。そのため、当院の検診で BMI<17.5 の方を対象に、栄養状態、ビタミン欠乏症の頻度、体組成について調査します。

方法は、カルテを用いて下記の情報を収集し、ビタミン欠乏の比率、低栄養の重症度、体組成の実態について調べます。期間は研究が承認されてから、2027 年 3 月 31 日までです。今年度の職員健診を受診した 20 から 40 歳までの女性(BMI、握力、血圧、HbA1c、総コレステロール、リンパ球数)及び男性(BMI、年齢)の方については、名前がすでにわからない状態で健診受診時の情報を提供いただき、正常範囲の設定に利用します。また、2012 年度から 2022 年度の職員健診を受診した 20 歳から 65 歳まで男性および女性の方について、年齢、性別、BMI、身長、体重とともに、栄養マーカー(総コレステロール、リンパ球数、ヘモグロビン)、代謝マーカー(HbA1c、トリグリセリ

ド、non HDL コレステロール) を名前がすでにわからない状態で提供していただき、  
経年変化を観察します。

### 3 . 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

- 性別、年齢、身長、体重、BMI、
  - 20 歳時、1 年前の、現在の体重と BMI
  - 握力 (右、左)、下腿周囲長、血圧
  - 体脂肪率、骨格筋量、内臓脂肪指数 (Inbody で測定)
  - 食品摂取頻度調査の結果 (総エネルギー、各栄養素摂取量、食品摂取の頻度など)
  - 下記検査データ (健診時及び栄養評価外来の紹介受診時\*)
- ヘモグロビン、WBC、リンパ球数、総コレステロール、トリグリセリド、LDLc、  
HDLc、アルブミン、プレアルブミン、FT<sub>4</sub>、TSH、ビタミン B1、B12、葉酸、25OH  
ビタミン D、ALP、BAP、TRACP-5b、カルシウム、リン、クレアチニン、BUN、  
eGFR、HbA1c、CRP
- \*       は 6 ヶ月以内
- 併存疾患 (低栄養の鑑別で新たに分ったものを含む)

観察時期：2022 年度健診、健診後二次検診受診後 (検診から大体 6 ヶ月以内)。

観察期間：検診後に紹介受診され、採血結果が全て判明した時点。

2012 年から 2022 年度までの健診データ (個人がわからない状態で健康管理部より供与)  
年齢、性別、BMI、身長、体重、総コレステロール、リンパ球数、ヘモグロビン、代謝マ  
ーカー (HbA1c、トリグリセリド、non HDL コレステロール

### 4 . 外部への試料・情報の提供

外部への情報の提供はありません。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理しま  
す。

### 5 . 研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

### 6 . 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。さらに、研究への不参加あるいは途中で参加を取りやめることによって、勤務評定などにおいて不利益な取扱いを受けることはありません。

なお、健康管理部より提供いただく 20 歳から 65 歳の男女のデータに関してはすでに匿名化された後のデータで個人が特定できないため、研究参加拒否の申請があっても削除できません。

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 臨床栄養学講座

担当者：飯塚 勝美

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329

e-mail:katsumi,iizuka@fujita-hu.ac.jp

# 「健診受診者における食品頻度摂取調査と食事記録アプリの比較検討」への協力のお 願い

研究機関 藤田医科大学  
研究責任者 医学部 臨床栄養学講座  
飯塚勝美  
第1版 2022年07月25日作成

## 1. はじめに

これから、藤田医科大学医学部臨床栄養学講座において行われている臨床研究について説明いたします。わからないことがあれば、どんなことでも担当者にお聞き下さい。この説明文書をお読み頂き、内容を十分理解した上で、今回の研究に参加してもよいと思われた場合には、「同意文書」に署名をお願いします。

あなたがこの研究に参加するかどうかは、あなた自身の自由な意思で決めてください。  
また、あなたが研究に参加した後に途中で参加をやめたいと思った場合でも、理由に関係なくいつでもやめることができます。

## 2. 臨床研究について

病気の診断やその治療方法は、医師個人の経験則や過去からデータの積み重ねにより評価され、発展してきました。「臨床研究」とは、患者さんなど多くの方々にご協力いただき、新しい治療方法の有効性や安全性を科学的に評価していく研究活動です。

この臨床試験は、参加された方の安全や人権を守るため、国が定めた指針に従って実施されます。この研究を行うにあたり、藤田医科大学医学研究倫理審査委員会にて厳密な審査を行い、藤田医科大学 学長 の許可を得た上で実施しております。

## 3. 食事と疾患の関わりについて

食事と病気の関係はさまざまな疾患、生活習慣病、癌で指摘されています。しかし、従来の検査では正確な測定は難しい面がありました。食事の是正だけでも大きく病気が良くなるものもありますので、正確な食事調査法の確立が望まれます。

## 4. 研究の目的及びその意義

2種類の従来からある食品摂取頻度調査と近年民間で普及している食事記録アプリの記録7日分をそれぞれ比較し、両者の統計学的な関連を明らかにし、より簡便で使いやすい食事記録法への移行を目指します。また、両者とも塩分、脂質などは正確に測りにくいため、腸内細菌叢や尿ナトリウム(Na)、尿尿素窒素(UN)での補正が可能かを検討します。

## 5. 研究の方法

### (1) 予定される研究期間

倫理審査委員会承認日から 2026 年 3 月までを予定しています。

### (2) 対象となる患者さん

基礎疾患がなく、6 ヶ月以内の職場の健康診断で異常なしと言われ、BMI が 18.5・22 と正常体重である、20・60 歳の男女

### (3) 参加予定者数

この研究では、100 名の患者さんの参加を予定しております。

### (4) この研究で行う治療

観察研究（非介入研究）のため、介入はありません。

### (5) 検査及び観察項目

下記は健康管理室より、健診データまたは尿サンプルをいただく。

- 年齢、性別、身長、体重、BMI、血圧、最大既往体重、既往歴の有無、
- 体脂肪率、骨格筋指数（In body で測定）
- 健康診断での血液検査データ
- 血算、肝機能(AST, ALT, GTP)、腎機能(Cre, BUN, eGFR)、血糖、HbA1c、脂質（TG, T-Chol, HDLc, LDLc）
- 健診受診者の総人数と健診で異常を指摘されていない人数（性別、年代別）
- 尿 Na、尿 Cre、尿 UN 用採尿(健診時に採取済みのものを解析)

今回新たに採取するものとして、質問票の説明時もしくは回収時に

- BDHQ 及び FFQ による総エネルギー、各栄養素摂取量
- 糞便検査（腸内細菌叢検査、シンバイオシスより提供）
- アプリの測定データ（あすけんより提供）

#### 観察時期

健診終了後、6 ヶ月以内（できるだけ3 ヶ月以内を努力目標とする）

#### 観察期間

質問票の記入と、アプリを使用した最長1 ヶ月間（データとして7 日間が最低必要）

### (6) その他

該当なし

## 6. 予測される利益・不利益

以下の点を参考に、わかりやすく記載して下さい。

### (1) 予定される利益

直接的な利益がない場合は、ありません。研究結果による社会的利益については、今後国際医療センターなどでの検診を含め、研究成果により将来の医療の進歩に貢献できる可能性がある。

### (2) 予想される不利益（負担および予測されるリスク）

研究対象者の負担としては、2種類の質問票に回答すること（合わせて、1時間程度）です。7日間は食事アプリを入力することが挙げられるため（1回5分程度）、時間的な負担が予想される。なお、参加による経済的負担はありません。採尿は健診時に保存されたものを用います。糞便を提出いただき、腸内細菌叢の検査をします。

## 7. 研究への参加を中止する場合について

あなたが研究への参加を辞めたいと申し出た場合には止めることができます。

## 8. 研究に係る費用の負担等

この研究に参加することで、通常の診療と比べ、あなたの経済的負担が増えることはありません。また、この研究に参加されることに対する謝礼はありません。

## 9. 研究に関する情報公開

研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。

藤田医科大学 臨床栄養学のホームページもしくは

<https://fujita.bvits.com/esct/publish.aspx>

また、あなたがこの研究に参加している間に、研究継続の意思に影響を与えるような新しい情報（有害事象など）が得られた場合には、担当医師が速やかにその情報の内容について説明します。その際、この研究に継続して参加するかどうかを改めてお聞きします。研究への継続を希望される場合には、引き続き参加できます。また、研究をやめたいと思われた場合には、いつでもやめることができますのでお申し出下さい。

## 10. 試料・情報の保管及び破棄について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された検体や診療情報などのこの研究に関するデータは、あなたのお名前を識別コード（文字や数字を組み合わせたもの）に置き換えるなど個人を特定できない様に管理します。あなたのお名前と識別コードを結びつける一覧表は、研究に関するデータとは別に管理します。この研究で得られた結果は、学会や医学論文などに公表される場合がありますが、その際は識別コードに置き換えられた情報のみが公表されるため、プライバシーは保護されます。

検体の管理・保管は藤田医科大学臨床栄養学講座で行われ、検体は研究終了5年後に破棄します。情報の保管・解析は藤田医科大学 臨床栄養学講座 医局で行われ、医局内の鍵の掛かる棚にて保管します。データは、研究の正確性を後に判断する事を可能とするために、可能な限り長期に保管し（少なくとも研究成果の公表後10年）、破棄する際は、藤田医科大学で決められた手順で行います。

## 1 1. この研究で得られた結果の取り扱いについて

今回の研究で実施する検査は、まだ研究途上にあり十分にわかっていない段階であるため、個別に結果をお知らせすることはありません。どうかご了承ください。

## 1 2. 特許権等について

本研究の結果として特許権などが生じる可能性があります。その権利は研究機関及び研究者に属することになり、あなたには属しません。

## 1 3. 研究の資金等と利益相反（企業等との利害関係）

使用する研究費は本学内の研究費です。企業等から研究資金や物的・人的な支援を受けません。研究責任者とそのグループに本研究に係わる企業等との経済的な利害関係はありません。藤田医科大学利益相反委員会から承認を得るとともに、そのマネジメントを継続的に受けて、本研究の公正性を保ちます。

## 1 4. 研究体制

### 【研究代表者】

藤田医科大学 医学部 臨床栄養学講座 教授 飯塚 勝美

## 1 5. 相談窓口

研究機関名： 藤田医科大学 医学部 臨床栄養学講座

研究責任者： 飯塚 勝美(教授)

連絡先： 藤田医科大学 臨床栄養学講座

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

Tel: 0562-93-2329、Fax: 0562-93-2329

## 「成人における清涼飲料水の摂取頻度に関する実態調査」への協力をお願い

研究機関 藤田医科大学  
研究責任者 医学部 臨床栄養学講座  
教授 飯塚勝美  
第1版 2023年 8月14日作成

### 1. はじめに

これから、藤田医科大学臨床栄養学講座において行われている臨床研究について説明いたします。わからないことがあれば、どんなことでも担当者にお聞き下さい。この説明文書をお読み頂き、内容を十分理解した上で、今回の研究に参加してもよいと思われた場合には、「同意文書」に署名をお願いします。

あなたがこの研究に参加するかどうかは、あなた自身の自由な意思で決めてください。たとえ研究に参加されなくても、勤務上や学業上などで不利な扱いを受けることはありません。

また、あなたが研究に参加した後に途中で参加をやめたいと思った場合でも、理由に関係なくいつでもやめることができます。その場合でも、不利な扱いを受けることはありません。

### 2. 臨床研究について

病気の診断やその治療方法は、医師個人の経験則や過去からデータの積み重ねにより評価され、発展してきました。「臨床研究」とは、患者さんや一般の方など多くの方々にご協力いただき、新しい治療方法および予防の有効性や安全性を科学的に評価していく研究活動です。

この臨床試験は、参加された方の安全や人権を守るため、国が定めた指針に従って実施されます。この研究を行うにあたり、藤田医科大学医学研究倫理審査委員会にて厳密な審査を行い、藤田医科大学 学長の許可を得た上で実施しております。

### 3. 研究の目的及びその意義

砂糖摂取過多の食習慣は、総エネルギー摂取量の増加により肥満関連疾患と関連することが報告されています。また最近、砂糖の代替え甘味料として作られた人工甘味料が、体内の腸内細菌叢を変化させることにより、糖代謝に悪影響を及ぼすことも報告されています。それを受けて、WHO(世界保健機関)は、人工甘味料を肥満や糖尿病等疾患の発症予防のためにとらないように勧告を発表するなど、世界的に新たな動きが出てきています。しかし、日本では人工甘味料の摂取量を含めた清涼飲料水の摂取頻度と肥満関連疾患の関連に関する報告はほとんどありません。

そこで、本研究では、日本における実態について、健康診断を受診した20・39歳の男女に対し、人工甘味料入り飲料を含めた清涼飲料水の摂取頻度と肥満関連疾患との関連を明らかにす

ることを目的とします。

本研究により肥満関連疾患と清涼飲料水(特に人工甘味料)の関係が明らかになれば、本学の職員や学生の健康管理に有用なことに加えて、栄養指導や保健指導に有用な日本独自のエビデンスが構築されます。

#### 4. 研究の方法

##### (1) 予定される研究期間

倫理審査委員会承認日から 2026 年 03 月 31 日までを予定しています。

##### (2) 対象となる方

藤田医科大学で働く教職員、学生

選択基準：本研究の参加にあたり、十分な説明を受けた後に、十分な理解の上に、本人の自由意志による文書同意が得られた 20 歳以上 39 歳以下の方

除外基準：評価に影響があると判断し、研究責任者と研究分担者が不適切と判断した方

##### (3) 参加予定者数

この研究では、300 名に案内文を配り、そのうち 100 名の参加者を予定しております。

##### (4) この研究で行う調査方法

研究対象者は、飲料摂取頻度調査票、人工甘味料摂取頻度調査票、簡易型自記式食事歴法質問票を行い、終了時に謝礼(クオカード 500 円)を提供します。なお参加者には、健康診断での特定の項目に関して、特定の検査結果のみ健康管理部に照会することを伝えます。アンケート結果と健康診断結果を結びつけたのちに、研究対象者の名前を識別コード(文字や数字を組み合わせたもの)に置き換えて匿名化し、対応表を作成します。以後の統計解析では匿名の状態で個人が特定されないようにします。

研究への参加は自由意志であり強制するものではありません。参加を希望しない場合もしくは途中で同意を撤回しても、勤務上もしくは学業上の不利益を被ることはありません。本研究は観察研究であり、研究対象者への介入はありません。

##### (5) 検査及び観察項目

・職業の種類(学生、職員(事務職、医療職))

・健康診断結果

身長、体重、性別、年齢、BMI、HbA1c、Hb、血圧、握力、血中脂質(中性脂肪、総コレステロール、HDL コレステロール、non-HDL コレステロール)、リンパ球数

・飲料摂取頻度調査票(BEVQ-15)

BEVQ-15 スコア(飲料水の総量(週)、アルコールの総量(週)、ミルクの総量(週)、砂糖入り飲料の総量(週))

- ・人工甘味料含有飲料摂取頻度調査票

人工甘味料含有飲料および清涼飲料水の種類、摂取頻度、総量（週）、摂取している人工甘味料の種類、摂取に対する対象者の意識

- ・簡易自記式食事歴法質問票(B D H Q)

総エネルギー量、各栄養素の摂取量や頻度、飲酒量と飲酒頻度

- ・人工甘味料含有飲料摂取頻度調査票内生活習慣質問項目

20歳時の体重、人工甘味料入り飲料の摂取頻度と清涼飲料水に含まれる人工甘味料の種類

## スケジュール

職員健康診断後3ヶ月以内に、研究対象者へアンケートへの参加呼びかけを行います（対象者は性別、年代が偏らないようにするため、健康管理部に抽出していただきます）。

## （6）その他

特定の健康診断結果とアンケート結果とを結びつけたのちに匿名化を行い、以後の統計解析では匿名状態で個人が特定されることはありません。

## 5. 研究終了後の医療の提供について

医療でないため、該当しません。

## 6. 予測される利益・不利益

### 1) 研究対象者の負担、予測されるリスク

研究対象者の負担としては、1種類の質問票に回答すること（30分程度）があります。なお、参加による経済的負担はありません。

### 2) 予測される利益

本研究へ参加することによる研究対象者への直接の利益は生じません。

しかし研究成果により将来の医療の進歩に貢献できる可能性があります。

### 3) 負担、リスク、利益の総合評価

研究参加者には上記の時間的負担が発生するが、自分の食事内容を客観的に知ることができ、健康上の利益も同時にある。したがって、負担が利益を上回ると考えられます。

### 4) 負担・リスクを最小化する対策

本研究は治療介入を行わない観察研究です。

本研究に参加することによる直接的な被験者の利益、不利益はともにありません。

謝礼としてQUOカード500円分提供する。

## 7. 研究への参加を中止する場合について

あなたが研究への参加を辞めたいと申し出た場合には中止します。また、研究責任者、研究分担者が参加基準を満たしていないと判断した場合は、中止になることがあります。

## 8. 健康被害が起きた場合の処置及び補償

該当なし

## 9. 研究に係る費用の負担等

この研究に参加することで、あなたの経済的負担が増えることはありません。また、この研究に参加されることに対する謝礼はQUOカード500円分です。

## 10. 研究に関する情報公開

この研究に関する情報は公開しませんが、研究結果は、学会、論文等で発表予定です。医局のホームページなどにも合わせて公開しております。

研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。希望される場合は、担当医師にお申し出下さい。

## 11. 試料・情報の保管及び破棄について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供されたこの研究に関するデータは、あなたのお名前を識別コード（文字や数字を組み合わせたもの）に置き換えるなど個人を特定できない様に管理します。あなたのお名前と識別コードを結びつける一覧表は、研究に関するデータとは別に管理します。この研究で得られた結果は、学会や医学論文などに公表される場合がありますが、その際は識別コードに置き換えられた情報のみが公表されるため、プライバシーは保護されます。

情報の保管・解析は藤田医科大学 医学研究科 臨床栄養学講座 医局で行われ、医局内の鍵の掛かる棚にて保管します。データは、研究の正確性を後に判断する事を可能とするために、可能な限り長期に保管し（少なくとも研究成果の公表後10年）破棄する際は、藤田医科大学で決められた手順で行います。

## 12. 研究の質の保証について

該当なし

## 13. この研究で得られた結果の取り扱いについて

今回の研究で実施する検査は、まだ研究途上にあり十分にわかっていない段階であるため、個別に結果をお知らせすることはありません。どうかご了承下さい。

## 14. 特許権等について

本研究の結果として特許権などが生じる可能性があります、その権利は研究機関及び研究者に属することになり、あなたには属しません。

## 15. 研究の資金等と利益相反（企業等との利害関係）

使用する研究費は本学内の研究費です。企業等から研究資金や物的・人的な支援を受けません。研究責任者とそのグループに本研究に係わる企業等との経済的な利害関係はありません。藤田医科大学利益相反委員会から承認を得るとともに、そのマネジメントを継続的に受けて、本研究の公正性を保ちます。

## 16. 研究体制

### 【研究責任者】

藤田医科大学 医学部 臨床栄養学講座 教授 飯塚 勝美

### 【研究分担者】

藤田医科大学 医療科学部 教授 成瀬 寛之

## 17. 相談窓口

研究機関名： 藤田医科大学 医学部 臨床栄養学講座  
研究責任者： 飯塚 勝美  
連絡先： 藤田医科大学 医学研究科 臨床栄養学講座  
〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98  
Tel: 0562-93-2329、Fax: 0562-93-2329

## 掲示文書

### 入院中食事アンケートを用いた食欲低下に関連する因子 の同定に関する横断的観察研究

低栄養リスク患者の早期発見、早期栄養介入を目的とした研究  
についての案内です。

研究期間：倫理審査委員会承認日～2027年3月31日

研究対象の期間：2022年1月1日・2026年3月31日

研究の概要、試料・情報の利用目的及び利用方法

皆さんが入院中に提出された、食事満足度調査(食事に関するアンケート調査)を二次利用し、食欲が低下している人の原因を調べる研究をしています。結果を用いて、食欲低下をきたしやすい人を割り出し、早めに管理栄養士が食事の提案をすることを目指します。また、食欲低下と食事の満足度との関係を調べます。

なお、全て匿名のデータを利用するため、**どの方**のデータを利用したかを確認する手段がないので、申し出ても研究データから削除することはできません。

利用し、又は提供する試料・情報の項目

アンケートは無記名で、アンケートで聞かれた結果(年齢、性別、入院期間、食種、入院病棟及び体格の情報(BMI)、食欲低下の原因(味覚障害、下痢、便秘、嘔吐、歯の痛み、全身の痛み、発熱、口内炎)、食事満足度

利用する者の範囲

藤田医科大学病院の入院患者で、食事満足度調査に答えていただいた患者

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚 勝美

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること。

該当しない

なお、研究にかかる費用は学内の講座研究費により支払い、外部からの資金提供はありません。

研究資金： 本学内の講座研究費を使用する。外部の研究資金を受けない。

物的・人的支援： 外部の物的・人的な支援を受けない。

利益相反： 研究責任者と研究分担者に、本研究に係わる開示すべき利益相反はない。藤田医科大学利益相反委員会へ申請を行い、利益相反マネジメントを受ける。

相談窓口

藤田医科大学医学部臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

電話：0562-93-2329

メールアドレス：katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

研究機関の名称並びに研究機関の長及び研究責任者の氏名

研究期間の長：藤田医科大学 学長 湯澤由紀夫

研究責任者：藤田医科大学 医学部 臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

HM23-111 健診受診者における食品頻度摂取調査と食事記録アプリの比較検討の研究に参加された皆様へ

**酢酸摂取量の実態調査及び各種栄養素摂取量、体組成の関連についての検討という研究を行います。**

#### 研究の目的：

我々は酢酸自体の効果よりむしろ“酢酸”を使った料理の持つ食品には栄養素の多様性があり、これが栄養状態に影響するのではないかと考えました。

また、従来の食品摂取記録調査では調味料での酢酸摂取量しか評価できず、食べ物に入っている酢酸量を推定することは困難だったので、我々が開発した7日間の食事記録アプリでの記録により食事摂取量を評価する方法を利用して、酢酸摂取量と食物繊維などの各種栄養素、食品多様性との関連を明らかにします。酢を使った料理の摂取量から、食品多様性が類推できるのであれば、食事記録アプリへ表示し、酢を使った料理の摂取を促すなど簡便な栄養指導の創出につながると考えました。

本研究では150名の方に食事記録アプリでの測定を行いますが、大変人手も手間もかかる研究であるため、HM23-111研究の結果(59名)を部分的に二次利用します。

対象者は以下のとおりです。

\* 新規に食事記録アプリの記録及びBDHQを行う方 150名

\* 以前の研究でBDHQと食事記録アプリを行った方 59名(承認番号HM23-111)

この文書は、以前の研究でBDHQと食事記録アプリを行った方 59名(承認番号HM23-111)を対象にしたものです。

HM23-111研究に参加された方に関して、情報を利用するのは以下のとおりです。

#### 研究の概要、試料・情報の利用目的及び利用方法

2022年度に実施した食事記録アプリと食物頻度摂取調査(FFQ、BDHQ)の試験結果を標準データとして再利用します。

#### 利用し、又は提供する試料・情報の項目

年齢、性別、身長、体重、BMI、握力

健診時採血データ(Hb、HbA1c、T-Chol、TG、HDLc、non HDLc、リンパ

球数)

BDHQ 及び食事記録アプリにおける栄養素及びエネルギー量

項目：エネルギー量、酢酸摂取量、炭水化物、脂質、たんぱく質、各種  
ビタミン摂取量、飽和および不飽和脂肪酸量、コレステロール、n-3 系及  
び n-6 系不飽和脂肪酸、食物繊維(水溶性、不溶性、総量)、食塩、Fe、  
Ca)、アルコール摂取量、及び食品多様性スコア(DVS)

利用する者の範囲

20-60 歳の当大学の教職員

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・  
情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること。該当者でこの研究で  
使用したくない人は申し出ていただき、データから除外することが可能です。

の研究対象者又はその代理人の求めを受け付ける方法、及び相談窓口

藤田医科大学臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

メール：katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp 電話：0562-93-2329

研究機関の名称並びに研究機関の長及び研究責任者の氏名

研究機関の長:藤田医科大学 学長 湯澤由紀夫

研究責任者：藤田医科大学臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

作成日：西暦 2022 年 06 月 29 日

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：栄養関連転写因子と悪性腫瘍の重症度との関連に関する観察研究

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1. 研究の対象

2019 年 1 月～2019 年 12 月に当院で大腸がんの手術を受けられた方（バイオバンクへサンプル保存の同意を頂いた方）

### 2. 研究目的・方法・研究期間

食事とがんの関係（特に悪性度）を明らかにするため、栄養素で活性化される転写因子（遺伝子のスイッチ）と標的遺伝子（食べ物の吸収・代謝に関わるもの）の遺伝子発現量（働き具合）とがんの悪性度を調べることで、将来的に治療の目印にできるかを調べます。

方法は、それぞれのがん（胃癌、大腸癌、肝臓癌）に対して、手術で採取した癌と正常部分における上記遺伝子の発現量を定量的 PCR 法で測定し、年齢などを考慮した上で癌の悪性度と比較します。

研究期間は倫理審査委員会承認日～2026 年 3 月 31 日です。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、臨床的に診断されたステージ（画像検査データ、病理組織データ）、BMI、化学療法の有無、がんの場所、飲酒量

血液データ（血算、血糖、HbA1c、脂質、腎機能、HBsAb、HCVAb、ANCA、アルブミン、白血球数、Prognostic nutritional index (PNI)、インスリン、C ペプチド、Fib-4 index、HOMA-R)

試料：手術で摘出した組織（癌、正常）

### 4. 外部への試料・情報の提供

ありません。

## 5 . 研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚 勝美

## 6 . 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 臨床栄養学講座

担当者：飯塚勝美

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329

e-mail:katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

HM23-111 健診受診者における食品頻度摂取調査と食事記録アプリの比較検討の研究に参加された皆様へ

**酢酸摂取量の実態調査及び各種栄養素摂取量、体組成の関連についての検討という研究を行います。**

#### 研究の目的：

我々は酢酸自体の効果よりむしろ“酢酸”を使った料理の持つ食品には栄養素の多様性があり、これが栄養状態に影響するのではないかと考えました。

また、従来の食品摂取記録調査では調味料での酢酸摂取量しか評価できず、食べ物に入っている酢酸量を推定することは困難だったので、我々が開発した7日間の食事記録アプリでの記録により食事摂取量を評価する方法を利用して、酢酸摂取量と食物繊維などの各種栄養素、食品多様性との関連を明らかにします。酢を使った料理の摂取量から、食品多様性が類推できるのであれば、食事記録アプリへ表示し、酢を使った料理の摂取を促すなど簡便な栄養指導の創出につながると考えました。

本研究では150名の方に食事記録アプリでの測定を行いますが、大変人手も手間もかかる研究であるため、HM23-111研究の結果(59名)を部分的に二次利用します。

対象者は以下のとおりです。

\* 新規に食事記録アプリの記録及びBDHQを行う方 150名

\* 以前の研究でBDHQと食事記録アプリを行った方 59名(承認番号HM23-111)

この文書は、以前の研究でBDHQと食事記録アプリを行った方 59名(承認番号HM23-111)を対象にしたものです。

HM23-111研究に参加された方に関して、情報を利用するのは以下のとおりです。

研究の概要、試料・情報の利用目的及び利用方法

2022年度に実施した食事記録アプリと食物頻度摂取調査(FFQ、BDHQ)の試験結果を標準データとして再利用します。

利用し、又は提供する試料・情報の項目

年齢、性別、身長、体重、BMI、握力

健診時採血データ(Hb、HbA1c、T-Chol、TG、HDLc、non HDLc、リンパ

球数)

BDHQ 及び食事記録アプリにおける栄養素及びエネルギー量

項目：エネルギー量、酢酸摂取量、炭水化物、脂質、たんぱく質、各種  
ビタミン摂取量、飽和および不飽和脂肪酸量、コレステロール、n-3 系及  
び n-6 系不飽和脂肪酸、食物繊維(水溶性、不溶性、総量)、食塩、Fe、  
Ca)、アルコール摂取量、及び食品多様性スコア(DVS)

利用する者の範囲

20-60 歳の当大学の教職員

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・  
情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること。該当者でこの研究で  
使用したくない人は申し出ていただき、データから除外することが可能です。

の研究対象者又はその代理人の求めを受け付ける方法、及び相談窓口

藤田医科大学臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

メール：katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp 電話：0562-93-2329

研究機関の名称並びに研究機関の長及び研究責任者の氏名

研究機関の長:藤田医科大学 学長 湯澤由紀夫

研究責任者：藤田医科大学臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

## 揭示文書

### 入院中食事アンケートを用いた食欲低下に関連する因子 の同定に関する横断的観察研究

低栄養リスク患者の早期発見、早期栄養介入を目的とした研究  
についての案内です。

研究期間：倫理審査委員会承認日～2027年3月31日

研究対象の期間：2022年1月1日・2026年3月31日

研究の概要、試料・情報の利用目的及び利用方法

皆さんが入院中に提出された、食事満足度調査(食事に関するアンケート調査)を二次利用し、食欲が低下している人の原因を調べる研究をしています。結果を用いて、食欲低下をきたしやすい人を割り出し、早めに管理栄養士が食事の提案をすることを目指します。また、食欲低下と食事の満足度との関係を調べます。

なお、全て匿名のデータを利用するため、**どの方**のデータを利用したかを確認する手段がないので、申し出ても研究データから削除することはできません。

利用し、又は提供する試料・情報の項目

アンケートは無記名で、アンケートで聞かれた結果(年齢、性別、入院期間、食種、入院病棟及び体格の情報(BMI)、食欲低下の原因(味覚障害、下痢、便秘、嘔吐、歯の痛み、全身の痛み、発熱、口内炎)、食事満足度

利用する者の範囲

藤田医科大学病院の入院患者で、食事満足度調査に答えていただいた患者

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚 勝美

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること。

該当しない

なお、研究にかかる費用は学内の講座研究費により支払い、外部からの資金提供はありません。

研究資金： 本学内の講座研究費を使用する。外部の研究資金を受けない。

物的・人的支援： 外部の物的・人的な支援を受けない。

利益相反： 研究責任者と研究分担者に、本研究に係わる開示すべき利益相反はない。藤田医科大学利益相反委員会へ申請を行い、利益相反マネジメントを受ける。

相談窓口

藤田医科大学医学部臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

電話：0562-93-2329

メールアドレス：katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

研究機関の名称並びに研究機関の長及び研究責任者の氏名

研究期間の長：藤田医科大学 学長 湯澤由紀夫

研究責任者：藤田医科大学 医学部 臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

作成日：西暦 2024 年 1 月 12 日

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：食事調査に基づくビタミン欠乏とその原因の実態調査

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1．研究の対象

2021 年 12 月から 2023 年 11 月に藤田医科大学病院 国際医療センターで検診を受けた方

### 2．研究目的・方法・研究期間

目的

藤田医科大学病院 国際医療センターの検診では、ビタミンの測定だけでなく、口腔評価、内服薬（制酸薬、糖尿病薬）、内分泌機能（甲状腺）、ピロリ抗体、胃内視鏡の検査を同時に行なっているため、この研究では、ビタミン欠乏の頻度および原因の実態調査を行います。

方法

カルテからビタミン濃度、内服薬の情報、口腔機能評価、内分泌機能（甲状腺）、ピロリ抗体などのビタミン欠乏の原因がビタミン欠乏の有無でどう変わるかを調べます。またロジスティック回帰分析を行い、上記の原因がどのようにビタミン欠乏に寄与するかを明らかにします。

研究期間

承認日～2027 年 1 月 31 日

### 3．研究に用いる試料・情報の種類

情報：内服薬、既往歴、アルコール摂取量、サプリメントの服用歴、カルテ番号、血液検査データ（ビタミン B1、B12、25OHD、TSH、FT4、アルブミン、プレアルブミン、CRP、リンパ球数、コレステロール、Conut Score）、口腔フレイル検査、義歯の本数

### 4．外部への試料・情報の提供

なし

## 5 . 研究組織

本学の研究責任者：藤田以下大学医学部臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

## 6 . 除外の申出・お問い合わせ先

情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方に  
ご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお  
申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生  
じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範  
囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 医学部 臨床栄養学講座

担当者：飯塚 勝美

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329

e-mail:katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と  
研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

## 食事摂取速度測定法と食事の種類による違いに関する検討 という研究に参加していただける方を募集しています。

### 研究の目的：

食事を食べる速度が病気や栄養状態と結びついている可能性はあるのですが、未だ証明されていません。何らかの基礎疾患が発症した場合には、将来的に肥満や痩せなどの栄養障害が発症する恐れがあります。そのため、食事を食べる際の速度や癖を知ることによって将来の栄養障害を予防できる可能性があります。

### 募集対象：

藤田医科大学病院に勤務する教職員、学生で下記を満たす方。

1. 本研究の参加にあたり、十分な説明を受けた後に、十分な理解の上に、本人の自由意志による文書同意が得られた職員、学生
2. 同意取得時に 20 歳以上 65 歳以下の職員、学生

#### (注意)

研究への不参加あるいは途中で参加を取りやめることによって、勤務評定や学業成績などにおいて不利益な取扱いを受けることはありません。

### 協力していただくこと：

朝ごはんから 4 時間空けて、昼食として、普通市販されているピザもしくはパンケーキを食べるスピード、噛む回数を測ります。違う日に、ハンバーグ定食とサラダを食べていただきます。

サラダから先に食べる場合、ハンバーグとご飯から食べる場合の 2 回行います。なお、身長（自己申告）、体重、筋肉量、体脂肪量、血圧、握力を測定します。

募集人員：20・30 人程度

謝礼：1 回の食事につき、500 円の QIO カードを進呈します。(最大 1500 円)

連絡先：臨床栄養学講座 飯塚 勝美にメールにてご連絡ください。

メール：katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

メトロノームのリズム刺激が咀嚼テンポに与える影響に関する研究という研究に参加していただける方を募集しています。

**研究の目的：**

咀嚼は栄養素の吸収に必要な機能として知られています。咀嚼回数の増加は唾液の分泌量の増加につながる事が知られ、歯周病の予防につながるとされています。それ以外にも、頬、唇、舌の筋肉を協調させるため、脳へ刺激を与えることで、認知症予防になると言われている。高齢者では咀嚼回数は低下しないものの、咀嚼テンポ（速度）が低下することが言われているものの、咀嚼テンポは体のどの部位における機能低下を反映するのかわかりません。そのため、年齢やBMIで調整したのちに、咀嚼テンポと筋肉量、筋力（握力）、身体運動能、体格、咀嚼力との関連をまず明らかにします。咀嚼テンポと身体機能や体組成との関連が明らかになれば、咀嚼テンポは、バイオマーカーの一つとしての意義を明らかにすることができます。次に、パーキンソン病では歩行訓練にて音リズム刺激が用いられることに着想を得て、メトロノームのリズムに合わせることで咀嚼テンポ、咀嚼回数が増加するかを検討します。メトロノームのリズムを早めたり、遅くしたりすることで咀嚼テンポが調節できるのであれば、音楽により試験者の食事時間を調節することが可能となります。肥満は早食いといわれるが、ゆっくりしたテンポの音楽を流すことで、食事時間を延長させることで、肥満症患者的の早食いを改善できる可能性があります。

**募集対象：**

藤田医科大学病院に勤務する教職員、学生で下記を満たす方。

1. 本研究の参加にあたり、十分な説明を受けた後に、十分な理解の上に、本人の自由意志による文書同意が得られた職員、学生
2. 同意取得時に20歳以上65歳以下の職員、学生

（注意）

研究への不参加あるいは途中で参加を取りやめることによって、勤務評定や学業成績などにおいて不利益な取扱いを受けることはありません。

**協力していただくこと：**

朝ごはんから 4 時間空けて、昼食として、普通市販されているピザ、フランスパンを食べるスピード、噛む回数を測ります。

なお、身長（自己申告）、体重、筋肉量、体脂肪量、血圧、握力、5 回椅子立ち上がり試験を測定します。食事に関する質問票により、通常の食事摂取量も測定します。食事中には影響が出るため、水分の摂取を行わないようにお願いします。

**募集人員：**30・50 人程度

**謝礼：**1000 円の QIO カードを進呈します。

**連絡先：**臨床栄養学講座 飯塚 勝美にメールにてご連絡ください。

**メール：**katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

作成日：西暦 2024 年 7 月 3 日(第 3 版)  
西暦 2023 年 5 月 7 日(第 2 版)  
西暦 2023 年 1 月 16 日(第 1 版)

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：若年低体重女性における栄養状態の実態調査

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1．研究の対象

2022 年度職員健診で低体重(BMI<17.5)を指摘され、藤田医科大学病院栄養評価外来に紹介された患者(2022 年 11 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに初診で受診された方で男女含む)

また、2012 年度から 2022 年度の職員健診を受診した 20 歳から 65 歳までの男性および女性の方。

### 2．研究目的・方法・研究期間

現在、モデル体型として若い女性の間でシンデレラ体重という言葉が飛び交っています。

シンデレラ体重とは BMI 18 の人を指しますが、一般的には低体重とされる体重です。

しかし、若い女性の低体重は社会問題になっており、不妊、将来の糖尿病発症、骨折などのリスクを抱えることとなります。しかし普通は病院受診のきっかけが無いので、実態は不明な点が多いです。そのため、当院の検診で BMI<17.5 の方を対象に、栄養状態、ビタミン欠乏症の頻度、体組成について調査します。

方法は、カルテを用いて下記の情報を収集し、ビタミン欠乏の比率、低栄養の重症度、体組成の実態について調べます。期間は研究が承認されてから、2027 年 3 月 31 日までです。今年度の職員健診を受診した 20 から 40 歳までの女性(BMI、握力、血圧、HbA1c、総コレステロール、リンパ球数)及び男性(BMI、年齢)の方については、名前がすでにわからない状態で健診受診時の情報を提供いただき、正常範囲の設定に利用します。また、2012 年度から 2022 年度の職員健診を受診した 20 歳から 65 歳まで男性および女性の方について、年齢、性別、BMI、身長、体重とともに、栄養マーカー(総コレステロール、リンパ球数、ヘモグロビン)、代謝マーカー(HbA1c、トリグリセリ

ド、non HDL コレステロール) を名前がすでにわからない状態で提供していただき、  
経年変化を観察します。

### 3 . 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

- 性別、年齢、身長、体重、BMI、
  - 20 歳時、1 年前の、現在の体重と BMI
  - 握力 (右、左)、下腿周囲長、血圧
  - 体脂肪率、骨格筋量、内臓脂肪指数 (Inbody で測定)
  - 食品摂取頻度調査の結果 (総エネルギー、各栄養素摂取量、食品摂取の頻度など)
  - 下記検査データ (健診時及び栄養評価外来の紹介受診時\*)
- ヘモグロビン、WBC、リンパ球数、総コレステロール、トリグリセリド、LDLc、  
HDLc、アルブミン、プレアルブミン、FT<sub>4</sub>、TSH、ビタミン B1、B12、葉酸、25OH  
ビタミン D、ALP、BAP、TRACP-5b、カルシウム、リン、クレアチニン、BUN、  
eGFR、HbA1c、CRP
- \*       は 6 ヶ月以内
- 併存疾患 (低栄養の鑑別で新たに分ったものを含む)

観察時期：2022 年度健診、健診後二次検診受診後 (検診から大体 6 ヶ月以内)。

観察期間：検診後に紹介受診され、採血結果が全て判明した時点。

2012 年から 2022 年度までの健診データ (個人がわからない状態で健康管理部より供与)  
年齢、性別、BMI、身長、体重、総コレステロール、リンパ球数、ヘモグロビン、代謝マ  
ーカー (HbA1c、トリグリセリド、non HDL コレステロール

### 4 . 外部への試料・情報の提供

外部への情報の提供はありません。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理しま  
す。

### 5 . 研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

### 6 . 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。さらに、研究への不参加あるいは途中で参加を取りやめることによって、勤務評定などにおいて不利益な取扱いを受けることはありません。

なお、健康管理部より提供いただく 20 歳から 65 歳の男女のデータに関してはすでに匿名化された後のデータで個人が特定できないため、研究参加拒否の申請があっても削除できません。

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 臨床栄養学講座

担当者：飯塚 勝美

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329

e-mail:katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

作成日：西暦 2024 年 10 月 19 日(第 1 版)

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：低体重女性における骨格筋量と栄養状態の観察研究 性別・年齢との比較

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1. 研究の対象

2022-2024 年度職員健診で低体重(BMI<17.5)を指摘され、藤田医科大学病院栄養評価外来に紹介された患者(2022 年 11 月 1 日から 2024 年 11 月 30 日までに初診で受診された方で男女含む)

### 2. 研究目的・方法・研究期間

現在、モデル体型として若い女性の間でシンデレラ体重という言葉が飛び交っています。シンデレラ体重とは BMI 18 の人を指しますが、一般的には低体重とされる体重です。しかし、若い女性の低体重は社会問題になっており、不妊、将来の糖尿病発症、骨折などのリスクを抱えることとなります。しかし普通は病院受診のきっかけが無いので、実態は不明な点が多いです。そのため、当院の検診で BMI<17.5 の方を対象に、栄養状態、ビタミン欠乏症の頻度、体組成について調査してきました。今回は 2022 年度から 2024 年度の 3 か年について調査します。方法は、カルテを用いて下記の情報を収集し、ビタミン欠乏の比率、低栄養の重症度、体組成の実態について調べます。なお、若年女性に加えて、男性や中年女性のデータも収集し、異なる年代、性別とも比較します。期間は研究が承認されてから、2027 年 3 月 31 日までです。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

- 性別、年齢、身長、体重、BMI、
- 20 歳時の体重と BMI
- 体脂肪率、骨格筋量、内臓脂肪指数 (Inbody で測定)、骨格筋指数 (骨格筋量と身長より計算)
- 食品摂取頻度調査の結果 (総エネルギー、各栄養素摂取量、食品摂取の頻度、朝食欠食の有無、食品摂取の多様性得点 (DVS) のような多様性の指標)

- 骨密度（大腿頸部、椎骨 L1-L4）（骨密度は栄養評価外来で初診後 3 年以内に測定したものを含む）
- 下記検査データ（健診時及び栄養評価外来初診時から 6 ヶ月以内）  
検診データ（受診時に持参）及び初診時から 6 ヶ月以内の血液検査データ（血算及び白血球分画、リンパ球数、総コレステロール、トリグリセリド、HDL コレステロール、アルブミン、プレアルブミン、FT4、TSH、ビタミン B1、B12、葉酸、25OH ビタミン D、ナトリウム、カリウム、クロール、カルシウム、リン、クレアチニン、BUN、eGFR、HbA1c、CRP、血糖、HbA1c）
- 骨密度（大腿頸部、椎骨 L1-L4）（骨密度は栄養評価外来で初診後 3 年以内に測定したものを含む）
- 併存疾患（低栄養の鑑別で新たに分ったものを含む）
- 内服薬
- 月経異常の有無

観察時期：2022-2024 年度健診後二次検診受診後（検診から大体 6 ヶ月以内）。

観察期間：健康診断後に健康管理部より紹介受診され、採血結果が全て判明した時点。

#### 4．外部への試料・情報の提供

外部への情報の提供はありません。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

#### 5．研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

#### 6．除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。さらに、研究への不参加あるいは途中で参加を取りやめることによって、勤務評定などにおいて不利益な取扱いを受けることはありません。

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 臨床栄養学講座

担当者：飯塚 勝美

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329

e-mail:katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

作成日：西暦 2024 年 12 月 16 日

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：藤田医科大学職員における食事摂取状況と検診結果の関係に関する研究

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1. 研究の対象

2023 年度定期職員健診を受診した藤田医科大学の職員（20-60 歳）

### 2. 研究目的・方法・研究期間

#### 目的

医療機関において、職員の健康管理は健康経営の要です。そのためには職場の実態を把握し、適切な健康情報を提供していく必要があります。本学では 2023 年度から健康診断の際に食品摂取調査を採血データと紐付けて行うようになったため、職員全体での食生活の実態をまず把握します。次に、質問票から計算した食品多様性スコア、朝食欠食の有無、睡眠時間と、体格(BMI)、握力、検診データの異常（糖尿病、脂質異常症、肝機能異常）との関連を明らかにします。その結果を分析し、健康管理部を通じて職員への健康の啓発活動に利用します。

#### 方法

本研究では、2023 年度に定期職員健診を受診され、すでに健康管理部で匿名化した検診結果を用いて、以下の解析を行います。年代、性別ごとに、BMI、朝食欠食の有無、食品多様性スコア(高、中、低)、睡眠時間、検診データ（AST、ALT、GTP、S、HbA1c、Hb、T-Chol、TG、HDL-c、non HDLc、eGFR、UA、血圧、握力）を比較します。次に、朝食欠食の有無及び食品多様性スコア(高、中、低)で群分けし、年代、性別で調整した検診データ（BS、HbA1c、Hb、T-Chol、TG、HDL-c、non HDLc、UA、血圧、握力、BMI）について群間比較を行います。さらに睡眠時間（7 時間未満、7 時間以上）群での年代、性別で調整し

た検診データ（S、HbA1c、Hb、T-Chol、TG、HDL-c、non HDLc、UA、血圧、握力、BMI）について群間比較を行います。最後に朝食欠食の有無、食品多様性スコア、睡眠時間でスコア化した際の年代、性別で調整した検診データ（S、HbA1c、Hb、T-Chol、TG、HDLc、non HDLc、eGFR、Cre、UA、血圧、握力、BMI）の群間比較を行います。さらに、年齢、性別、BMI ごとのグループに対して、10 種類の食品摂取頻度に対する多様性（群内の多様性比較）、多様性（群間の多様性比較）を検討します。

#### 研究期間

倫理審査委員会承認日～2027年1月31日

### 3．研究に用いる試料・情報の種類

情報：・年齢、性別、身長、体重、BMI、握力、血圧、腹囲、HbA1c、Hb、AST、ALT、GTP、T-Chol、TG、HDL-c、LDLc、non HDLc、Cre、eGFR、UA  
・食事摂取調査の結果（FFQg）、睡眠時間、運動量

### 4．外部への試料・情報の提供

なし

### 5．研究組織

本学の研究責任者：藤田医科大学医学部臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

### 6．除外の申出・お問い合わせ先

本研究ではすでに健康管理部より匿名加工情報としたデータをいただいて解析するため、個人の特定ができないため、除外をすることができません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先：

藤田医科大学 医学部 臨床栄養学講座

担当者：飯塚 勝美

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329

e-mail:katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

作成日：西暦 2025 年 1 月 6 日(第 2 版)

西暦 2024 年 6 月 3 日(第 1 版)

## 下記研究に参加される方を募集します。

研究課題名：食事速度測定の個人内再現性と代謝パラメータとの関連についての検証

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1．研究の対象

藤田医科大学に勤務する教職員、学生で下記を満たす方。

1. 本研究の参加にあたり、十分な説明を受けた後に、十分な理解の上に、本人の自由意志による文書同意が得られた職員、学生
2. 同意取得時に 20 歳以上 60 歳以下の職員、学生

### 2．研究目的・方法・研究期間

まずテスト食（冷凍の鮭弁当のおかずとレトルトご飯）を異なる日（2 週間くらい開ける）に 2 回食べていただき、食べる速度や食べる順番、咀嚼回数が変わるかを測定します。2 回とも同一の傾向であれば、1 回だけの検査で個人の食事の癖が評価できると思われます。また、食事速度は性別や年齢で補正しても、個人の栄養摂取量や代謝状態（HbA1c、血液脂質、尿酸、腎機能など）と関連が見られるかを探索的研究として明らかにします。上記研究を行うことで、テスト食の摂取速度を栄養治療における新規の指標として用いることが可能になります。ビデオは食事を撮影し、本人の姿は映らないため、個人が特定されることはありません。1 回目のテストから 1 週間以上 1 ヶ月以内（2 週間後を推奨）にもう一度テスト食による試験を行います。参加者には、食事のたびに 500 円の QUO カードを進呈します（計 2 回）。期間は、倫理審査委員会承認日から 2027 年 3 月までを予定しています。この研究は、本学内の講座研究費及び研究助成金（鈴木謙三記念医科学応用研究財団）の研究費を用いて行います。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。EBNJAPN DHQ サポートセンターに BDHQ 調査票を提供し、栄養素とエネルギー量を計算していただきます。

### 3．研究に用いる試料・情報の種類

食物摂取頻度調査票（BDHQ）、検診データ（HbA1c、T-Chol、TG、HDL C、Cre、BUN、eGFR）、身長、体重、血圧、握力、BMI、体組成（体脂肪量、筋肉量、骨格筋量（SMI））、食事摂取時間、咀嚼回数、食事

### 4．参加のお問い合わせ

藤田医科大学 臨床栄養学講座

担当者：飯塚勝美、出口香菜子

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329 0562-93-9975

e-mail: [katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp](mailto:katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp) [kanasakuran@gmail.com](mailto:kanasakuran@gmail.com)

作成日：西暦 2021 年 10 月 25 日

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：TG/HDLc 比の体組成マーカーとしての意義に関する観察研究

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1．研究の対象

2019 年 4 月から 2021 年 9 月まで藤田医科大学 内分泌・代謝内科学教室の外来に通院した糖尿病患者のうち、体組成測定装置 In body、空腹時採血(TG 及び HDLc を含む)結果がある患者さん

### 2．研究目的・方法・研究期間

サルコペニアは寝たきりや QOL の低下につながる病態であり、さまざまな病因により生じる。サルコペニアの診断は、筋肉量、筋力、活動量などで総合的に診断されるが、筋肉量の評価には、In body などの体組成計を必要としますので煩雑です。そこで、インスリン抵抗性の指標である TG(トリグリセリド)/HDLc 比が体脂肪率や SIM といった体組成を反映する指標たり得るかをカルテから得られた情報をもとに解析します。さらに、サルコペニアと肥満を合併した患者(いわゆるサルコペニア肥満)での TG/HDLc 比を、サルコペニアのみ、肥満のみ、非肥満非サルコペニア群と比較し、簡便なサルコペニア肥満のスクリーニング検査になるか検証します。研究期間は倫理審査委員会承認日～2025 年 3 月 31 日までです。

### 3．研究に用いる試料・情報の種類

カルテより入手する情報は、ID、年齢、性別、身長、体重より計算した BMI、空腹時血中 TG、空腹時血中 HDLc から計算した TG/HDLc 比、BIA 法 (Inbody)を用いた体組成の値(体脂肪率、体脂肪量、筋肉量、四肢及び体幹筋量、SIM)、脂質異常症内服薬の有無、参考項目として、内服薬、HbA1c、Cre、握力の数値

### 4．外部への試料・情報の提供

なし

## 5 . 研究組織

本学の研究責任者：藤田医科大学 臨床栄養学 教授 飯塚 勝美

## 6 . 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

藤田医科大学 臨床栄養学講座

担当者：飯塚勝美

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329

e-mail:katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

## 食事摂取速度測定法と食事の種類による違いに関する検討

という研究に参加していただける方を募集しています。

### 研究の目的：

食事を食べる速度が病気や栄養状態と結びついている可能性はあるのですが、未だ証明されていません。何らかの基礎疾患が発症した場合には、将来的に肥満や痩せなどの栄養障害が発症する恐れがあります。そのため、食事を食べる際の速度や癖を知ることによって将来の栄養障害を予防できる可能性があります。

### 募集対象：

藤田医科大学病院に勤務する教職員、学生で下記を満たす方。

1. 本研究の参加にあたり、十分な説明を受けた後に、十分な理解の上に、本人の自由意志による文書同意が得られた職員、学生
2. 同意取得時に 20 歳以上 65 歳以下の職員、学生

#### (注意)

研究への不参加あるいは途中で参加を取りやめることによって、勤務評定や学業成績などにおいて不利益な取扱いを受けることはありません。

### 協力していただくこと：

朝ごはんから 4 時間空けて、昼食として、普通市販されているピザもしくはパンケーキを食べるスピード、噛む回数を測ります。違う日に、ハンバーグ定食とサラダを食べていただきます。

サラダから先に食べる場合、ハンバーグとご飯から食べる場合の 2 回行います。なお、身長（自己申告）、体重、筋肉量、体脂肪量、血圧、握力を測定します。

募集人員：20-30 人程度

謝礼：1 回の食事につき、500 円の QIO カードを進呈します。(最大 1500 円)

連絡先：臨床栄養学講座 飯塚 勝美にメールにてご連絡ください。

メール：katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

メトロノームのリズム刺激が咀嚼テンポに与える影響に関する研究という研究に参加していただける方を募集しています。

**研究の目的：**

咀嚼は栄養素の吸収に必要な機能として知られています。咀嚼回数の増加は唾液の分泌量の増加につながる事が知られ、歯周病の予防につながるとされています。それ以外にも、頬、唇、舌の筋肉を協調させるため、脳へ刺激を与えることで、認知症予防になると言われている。高齢者では咀嚼回数は低下しないものの、咀嚼テンポ（速度）が低下することが言われているものの、咀嚼テンポは体のどの部位における機能低下を反映するのかは不明です。そのため、年齢やBMIで調整したのちに、咀嚼テンポと筋肉量、筋力（握力）、身体運動能、体格、咀嚼力との関連をまず明らかにします。咀嚼テンポと身体機能や体組成との関連が明らかになれば、咀嚼テンポは、バイオマーカーの一つとしての意義を明らかにすることができます。次に、パーキンソン病では歩行訓練にて音リズム刺激が用いられることに着想を得て、メトロノームのリズムに合わせることで咀嚼テンポ、咀嚼回数が増加するかを検討します。メトロノームのリズムを早めたり、遅くしたりすることで咀嚼テンポが調節できるのであれば、音楽により試験者の食事時間を調節することが可能となります。肥満は早食いといわれるが、ゆっくりしたテンポの音楽を流すことで、食事時間を延長させることで、肥満症患者的の早食いを改善できる可能性があります。

**募集対象：**

藤田医科大学病院に勤務する教職員、学生で下記を満たす方。

1. 本研究の参加にあたり、十分な説明を受けた後に、十分な理解の上に、本人の自由意志による文書同意が得られた職員、学生
2. 同意取得時に20歳以上65歳以下の職員、学生

（注意）

研究への不参加あるいは途中で参加を取りやめることによって、勤務評定や学業成績などにおいて不利益な取扱いを受けることはありません。

**協力していただくこと：**

朝ごはんから 4 時間空けて、昼食として、普通市販されているピザ、フランスパンを食べるスピード、噛む回数を測ります。

なお、身長（自己申告）、体重、筋肉量、体脂肪量、血圧、握力、5 回椅子立ち上がり試験を測定します。食事に関する質問票により、通常の食事摂取量も測定します。食事中には影響が出るため、水分の摂取を行わないようにお願いします。

**募集人員：**30・50 人程度

**謝礼：**1000 円の QIO カードを進呈します。

**連絡先：**臨床栄養学講座 飯塚 勝美にメールにてご連絡ください。

**メール：**[katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp](mailto:katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp)

作成日：西暦 2024 年 7 月 3 日 (第 3 版)

西暦 2023 年 5 月 7 日 (第 2 版)

西暦 2023 年 1 月 16 日 (第 1 版)

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

**研究課題名：**若年低体重女性における栄養状態の実態調査

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1. 研究の対象

2022 年度職員健診で低体重 (BMI<17.5) を指摘され、藤田医科大学病院栄養評価外来に紹介された患者 (2022 年 11 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに初診で受診された方で男女含む)

また、2012 年度から 2022 年度の職員健診を受診した 20 歳から 65 歳までの男性および女性の方。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

現在、モデル体型として若い女性の間でシンデレラ体重という言葉が飛び交っています。

シンデレラ体重とは BMI 18 の人を指しますが、一般的には低体重とされる体重です。

しかし、若い女性の低体重は社会問題になっており、不妊、将来の糖尿病発症、骨折などのリスクを抱えることとなります。しかし普通は病院受診のきっかけが無いので、実態は不明な点が多いです。そのため、当院の検診で BMI<17.5 の方を対象に、栄養状態、ビタミン欠乏症の頻度、体組成について調査します。

方法は、カルテを用いて下記の情報を収集し、ビタミン欠乏の比率、低栄養の重症度、体組成の実態について調べます。期間は研究が承認されてから、2027 年 3 月 31 日までです。今年度の職員健診を受診した 20 から 40 歳までの女性 (BMI、握力、血圧、HbA1c、総コレステロール、リンパ球数) 及び男性 (BMI、年齢) の方については、名前がすでにわからない状態で健診受診時の情報を提供いただき、正常範囲の設定に利用します。また、2012 年度から 2022 年度の職員健診を受診した 20 歳から 65 歳まで男性および女性の方について、年齢、性別、BMI、身長、体重とともに、栄養マーカー (総コレステロール、リンパ球数、ヘモグロビン)、代謝マーカー (HbA1c、トリグリセリ

ド、non HDL コレステロール) を名前がすでにわからない状態で提供していただき、経年変化を観察します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

- 性別、年齢、身長、体重、BMI、
- 20 歳時、1 年前の、現在の体重と BMI
- 握力（右、左）、下腿周囲長、血圧
- 体脂肪率、骨格筋量、内臓脂肪指数（Inbody で測定）
- 食品摂取頻度調査の結果（総エネルギー、各栄養素摂取量、食品摂取の頻度など）
- 下記検査データ（健診時及び栄養評価外来の紹介受診時\*）

ヘモグロビン、WBC、リンパ球数、総コレステロール、トリグリセリド、LDLc、HDLc、アルブミン、プレアルブミン、FT<sub>4</sub>、TSH、ビタミン B1、B12、葉酸、25OH ビタミン D、ALP、BAP、TRACP-5b、カルシウム、リン、クレアチニン、BUN、eGFR、HbA1c、CRP

\* は 6 ヶ月以内

- 併存疾患（低栄養の鑑別で新たに分ったものを含む）

観察時期：2022 年度健診、健診後二次検診受診後（検診から大体 6 ヶ月以内）。

観察期間：検診後に紹介受診され、採血結果が全て判明した時点。

2012 年から 2022 年度までの健診データ（個人がわからない状態で健康管理部より供与）  
年齢、性別、BMI、身長、体重、総コレステロール、リンパ球数、ヘモグロビン、代謝マーカー（HbA1c、トリグリセリド、non HDL コレステロール

### 4. 外部への試料・情報の提供

外部への情報の提供はありません。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

### 6. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。さらに、研究への不参加あるいは途中で参加を取りやめることによって、勤務評定などにおいて不利益な取扱いを受けることはありません。

なお、健康管理部より提供いただく 20 歳から 65 歳の男女のデータに関してはすでに匿名化された後のデータで個人が特定できないため、研究参加拒否の申請があっても削除できません。

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 臨床栄養学講座

担当者：飯塚 勝美

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329

e-mail:katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

作成日：西暦 2024 年 1 月 12 日

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：食事調査に基づくビタミン欠乏とその原因の実態調査

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1. 研究の対象

2021 年 12 月から 2023 年 11 月に藤田医科大学病院 国際医療センターで検診を受けた方

### 2. 研究目的・方法・研究期間

目的

藤田医科大学病院 国際医療センターの検診では、ビタミンの測定だけでなく、口腔評価、内服薬（制酸薬、糖尿病薬）、内分泌機能（甲状腺）、ピロリ抗体、胃内視鏡の検査を同時に行なっているため、この研究では、ビタミン欠乏の頻度および原因の実態調査を行います。

方法

カルテからビタミン濃度、内服薬の情報、口腔機能評価、内分泌機能（甲状腺）、ピロリ抗体などのビタミン欠乏の原因がビタミン欠乏の有無でどう変わるかを調べます。またロジスティック回帰分析を行い、上記の原因がどのようにビタミン欠乏に寄与するかを明らかにします。

研究期間

承認日～2027 年 1 月 31 日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：内服薬、既往歴、アルコール摂取量、サプリメントの服用歴、カルテ番号、血液検査データ（ビタミン B1、B12、25OHD、TSH、FT4、アルブミン、プレアルブミン、CRP、リンパ球数、コレステロール、Conut Score）、口腔フレイル検査、義歯の本数

### 4. 外部への試料・情報の提供

なし

## 5 . 研究組織

本学の研究責任者：藤田以下大学医学部臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

## 6 . 除外の申出・お問い合わせ先

情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 医学部 臨床栄養学講座

担当者：飯塚 勝美

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329

e-mail:katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

HM23-111 健診受診者における食品頻度摂取調査と食事記録アプリの比較検討の研究に参加された皆様へ

**酢酸摂取量の実態調査及び各種栄養素摂取量、体組成の関連についての検討という研究を行います。**

#### 研究の目的：

我々は酢酸自体の効果よりむしろ“酢酸”を使った料理の持つ食品には栄養素の多様性があり、これが栄養状態に影響するのではないかと考えました。

また、従来の食品摂取記録調査では調味料での酢酸摂取量しか評価できず、食べ物に入っている酢酸量を推定することは困難だったので、我々が開発した7日間の食事記録アプリでの記録により食事摂取量を評価する方法を利用して、酢酸摂取量と食物繊維などの各種栄養素、食品多様性との関連を明らかにします。酢を使った料理の摂取量から、食品多様性が類推できるのであれば、食事記録アプリへ表示し、酢を使った料理の摂取を促すなど簡便な栄養指導の創出につながると考えました。

本研究では150名の方に食事記録アプリでの測定を行いますが、大変人手も手間もかかる研究であるため、HM23-111研究の結果(59名)を部分的に二次利用します。

対象者は以下のとおりです。

\* 新規に食事記録アプリの記録及びBDHQを行う方 150名

\* 以前の研究でBDHQと食事記録アプリを行った方 59名(承認番号HM23-111)

この文書は、以前の研究でBDHQと食事記録アプリを行った方 59名(承認番号HM23-111)を対象にしたものです。

HM23-111研究に参加された方に関して、情報を利用するのは以下のとおりです。

研究の概要、試料・情報の利用目的及び利用方法

2022年度に実施した食事記録アプリと食物頻度摂取調査(FFQ、BDHQ)の試験結果を標準データとして再利用します。

利用し、又は提供する試料・情報の項目

年齢、性別、身長、体重、BMI、握力

健診時採血データ(Hb、HbA1c、T-Chol、TG、HDLc、non HDLc、リンパ

球数)

BDHQ 及び食事記録アプリにおける栄養素及びエネルギー量

項目：エネルギー量、酢酸摂取量、炭水化物、脂質、たんぱく質、各種  
ビタミン摂取量、飽和および不飽和脂肪酸量、コレステロール、n-3 系及  
び n-6 系不飽和脂肪酸、食物繊維(水溶性、不溶性、総量)、食塩、Fe、  
Ca)、アルコール摂取量、及び食品多様性スコア(DVS)

利用する者の範囲

20-60 歳の当大学の教職員

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・  
情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること。該当者でこの研究で  
使用したくない人は申し出ていただき、データから除外することが可能です。

の研究対象者又はその代理人の求めを受け付ける方法、及び相談窓口

藤田医科大学臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

メール：katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp 電話：0562-93-2329

研究機関の名称並びに研究機関の長及び研究責任者の氏名

研究機関の長:藤田医科大学 学長 湯澤由紀夫

研究責任者：藤田医科大学臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

## 揭示文書

### 入院中食事アンケートを用いた食欲低下に関連する因子 の同定に関する横断的観察研究

低栄養リスク患者の早期発見、早期栄養介入を目的とした研究  
についての案内です。

研究期間：倫理審査委員会承認日～2027年3月31日

研究対象の期間：2022年1月1日・2026年3月31日

#### 研究の概要、試料・情報の利用目的及び利用方法

皆さんが入院中に提出された、食事満足度調査(食事に関するアンケート調査)を二次利用し、食欲が低下している人の原因を調べる研究をしています。結果を用いて、食欲低下をきたしやすい人を割り出し、早めに管理栄養士が食事の提案をすることを目指します。また、食欲低下と食事の満足度との関係を調べます。

**なお、全て匿名のデータを利用するため、どの方のデータを利用したかを確認する手段がないので、申し出ても研究データから削除することはできません。**

#### 利用し、又は提供する試料・情報の項目

アンケートは無記名で、アンケートで聞かれた結果(年齢、性別、入院期間、食種、入院病棟及び体格の情報(BMI)、食欲低下の原因(味覚障害、下痢、便秘、嘔吐、歯の痛み、全身の痛み、発熱、口内炎)、食事満足度

#### 利用する者の範囲

藤田医科大学病院の入院患者で、食事満足度調査に答えていただいた患者

#### 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚 勝美

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること。

#### 該当しない

なお、研究にかかる費用は学内の講座研究費により支払い、外部からの資金提供はありません。

**研究資金：** 本学内の講座研究費を使用する。外部の研究資金を受けない。

**物的・人的支援：** 外部の物的・人的な支援を受けない。

**利益相反：** 研究責任者と研究分担者に、本研究に係わる開示すべき利益相反はない。藤田医科大学利益相反委員会へ申請を行い、利益相反マネジメントを受ける。

#### 相談窓口

藤田医科大学医学部臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

電話：0562-93-2329

メールアドレス：katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

研究機関の名称並びに研究機関の長及び研究責任者の氏名

研究期間の長：藤田医科大学 学長 湯澤由紀夫

研究責任者：藤田医科大学 医学部 臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

作成日：西暦 2025 年 3 月 21 日(第 2 版)

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：低体重女性における体格（骨格筋量、体脂肪率、脂肪/筋肉比）と栄養状態の観察研究 性別・年齢との比較

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1．研究の対象

2022-2024 年度職員健診で低体重(BMI<17.5)を指摘され、藤田医科大学病院栄養評価外来に紹介された患者（2022 年 11 月 1 日から 2024 年 11 月 30 日までに初診で受診された方で男女含む）

### 2．研究目的・方法・研究期間

現在、モデル体型として若い女性の間でシンデレラ体重という言葉が飛び交っています。シンデレラ体重とは BMI 18 の人を指しますが、一般的には低体重とされる体重です。しかし、若い女性の低体重は社会問題になっており、不妊、将来の糖尿病発症、骨折などのリスクを抱えることとなります。しかし普通は病院受診のきっかけが無いので、実態は不明な点が多いです。そのため、当院の検診で BMI<17.5 の方を対象に、栄養状態、ビタミン欠乏症の頻度、体組成について調査してきました。今回は 2022 年度から 2024 年度の 3 か年について調査します。方法は、カルテを用いて下記の情報を収集し、ビタミン欠乏の比率、低栄養の重症度、体組成の実態について調べます。なお、若年女性に加えて、男性や中年女性のデータも収集し、異なる年代、性別とも比較します。期間は研究が承認されてから、2027 年 3 月 31 日までです。

### 3．研究に用いる試料・情報の種類

情報：

- 性別、年齢、身長、体重、BMI、握力
- 20 歳時の体重と BMI
- 体脂肪率、骨格筋量、内臓脂肪指数 (Inbody で測定)、骨格筋指数（骨格筋量と身長より計算）、脂肪/筋肉比

- 食品摂取頻度調査の結果（総エネルギー、各栄養素摂取量、食品摂取の頻度、朝食欠食の有無、食品摂取の多様性得点（DVS）のような多様性の指標）
- 骨密度（大腿頸部、椎骨 L1-L4）（骨密度は栄養評価外来で初診後 3 年以内に測定したものを含む）
- 下記検査データ（健診時及び栄養評価外来初診時から 6 ヶ月以内）  
 検診データ（受診時に持参）及び初診時から 6 ヶ月以内の血液検査データ（血算及び白血球分画、リンパ球数、総コレステロール、トリグリセリド、HDL コレステロール、アルブミン、プレアルブミン、FT4、TSH、ビタミン B1、B12、葉酸、25OH ビタミン D、ナトリウム、カリウム、クロール、カルシウム、リン、クレアチニン、BUN、eGFR、HbA1c、CRP、血糖、HbA1c）
- 骨密度（大腿頸部、椎骨 L1-L4）（骨密度は栄養評価外来で初診後 3 年以内に測定したものを含む）
- 併存疾患（低栄養の鑑別で新たに分ったものを含む）
- 内服薬
- 月経異常の有無

観察時期：2022-2024 年度健診後二次検診受診後（検診から大体 6 ヶ月以内）。

観察期間：健康診断後に健康管理部より紹介受診され、採血結果が全て判明した時点。

#### 4．外部への試料・情報の提供

外部への情報の提供はありません。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

#### 5．研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

#### 6．除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。さらに、研究への不参加あるいは途中で参加を取りやめることによって、勤務評定などにおいて不利益な取扱いを受けることはありません。

この研究は、一般社団法人 J ミルク乳の学術連合牛乳乳製品健康科学会議の研究委託金を受けています。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 臨床栄養学講座

担当者：飯塚 勝美

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329

e-mail:katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

作成日：西暦 2025 年 3 月 12 日

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：藤田医科大学職員における食事摂取状況と検診結果の関係に関する研究

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1. 研究の対象

2023 年度および 2024 年度定期職員健診を受診した藤田医科大学の職員（20-60 歳）

### 2. 研究目的・方法・研究期間

#### 目的

医療機関において、職員の健康管理は健康経営の要です。そのためには職場の実態を把握し、適切な健康情報を提供していく必要があります。本学では 2023 年度から健康診断の際に食品摂取調査を採血データと紐付けて行うようになったため、職員全体での食生活の実態をまず把握します。次に、質問票から計算した食品多様性スコア、朝食欠食の有無、睡眠時間と、体格(BMI)、握力、検診データの異常（糖尿病、脂質異常症、肝機能異常）との関連を明らかにします。その結果を分析し、健康管理部を通じて職員への健康の啓発活動に利用します。

#### 方法

本研究では、2023 年度および 2024 年度に定期職員健診を受診され、すでに健康管理部で匿名化した検診結果を用いて、以下の解析を行います。年代、性別ごとに、BMI、朝食欠食の有無、食品多様性スコア(高、中、低)、睡眠時間、検診データ（AST、ALT、GTP、S、HbA1c、Hb、T-Chol、TG、HDL-c、non HDLc、eGFR、UA、血圧、握力）を比較します。次に、朝食欠食の有無及び食品多様性スコア(高、中、低)で群分けし、年代、性別で調整した検診データ（BS、HbA1c、Hb、T-Chol、TG、HDL-c、non HDLc、UA、血圧、握力、BMI）について群間比較を行います。さらに睡眠時間（7 時間未満、7 時間以上）群での年

代、性別で調整した検診データ（S、HbA1c、Hb、T-Chol、TG、HDL-c、non HDLc、UA、  
血圧、握力、BMI）について群間比較を行います。最後に朝食欠食の有無、食品多様性ス  
コア、睡眠時間でスコア化した際の年代、性別で調整した検診データ（S、HbA1c、Hb、  
T-Chol、TG、HDLc、non HDLc、eGFR、Cre、UA、血圧、握力、BMI）の群間比較を行いま  
す。

さらに、年齢、性別、BMI ごとのグループに対して、10 種類の食品摂取頻度に対する 多  
様性（群内の多様性比較）、 多様性（群間の多様性比較）を検討します。

#### 研究期間

倫理審査委員会承認日～2027年1月31日

### 3．研究に用いる試料・情報の種類

情報：・年齢、性別、身長、体重、BMI、握力、血圧、腹囲、HbA1c、Hb、AST、  
ALT、GTP、T-Chol、TG、HDL-c、LDLc、non HDLc、Cre、eGFR、UA  
・食事摂取調査の結果（FFQg）、睡眠時間、運動量

### 4．外部への試料・情報の提供

なし

### 5．研究組織

本学の研究責任者：藤田医科大学医学部臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

### 6．除外の申出・お問い合わせ先

本研究ではすでに健康管理部より匿名加工情報としたデータをいただいて解析するため、  
個人の特定ができないため、除外をすることができません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範  
囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先：

藤田医科大学 医学部 臨床栄養学講座  
担当者：飯塚 勝美

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329

e-mail:katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

この研究は、一般社団法人 J ミルク 乳の学術連合牛乳乳製品健康科学会議より研究委託費を受けます。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

作成日：西暦 2025 年 1 月 4 日

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：TG/HDLc 比の体組成マーカーとしての意義に関する観察研究

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1．研究の対象

2019 年 4 月から 2021 年 9 月まで藤田医科大学 内分泌・代謝内科学教室の外来に通院した糖尿病患者のうち、体組成測定装置 In body、空腹時採血 (TG 及び HDLc を含む) 結果がある患者さん

### 2．研究目的・方法・研究期間

サルコペニアは寝たきりや QOL の低下につながる病態であり、さまざまな病因により生じる。サルコペニアの診断は、筋肉量、筋力、活動量などで総合的に診断されるが、筋肉量の評価には、In body などの体組成計を必要としますので煩雑です。そこで、インスリン抵抗性の指標である TG(トリグリセリド)/HDLc 比が体脂肪率や SIM といった体組成を反映する指標たり得るかをカルテから得られた情報をもとに解析します。さらに、サルコペニアと肥満を合併した患者(いわゆるサルコペニア肥満)での TG/HDLc 比を、サルコペニアのみ、肥満のみ、非肥満非サルコペニア群と比較し、簡便なサルコペニア肥満のスクリーニング検査になるか検証します。研究期間は倫理審査委員会承認日～2027 年 3 月 31 日までです。

### 3．研究に用いる試料・情報の種類

カルテより入手する情報は、ID、年齢、性別、身長、体重より計算した BMI、空腹時血中 TG、空腹時血中 HDLc から計算した TG/HDLc 比、BIA 法 (Inbody)を用いた体組成の値(体脂肪率、体脂肪量、筋肉量、四肢及び体幹筋量、SIM)、脂質異常症内服薬の有無、参考項目として、内服薬、HbA1c、Cre、握力の数値

### 4．外部への試料・情報の提供

なし

## 5 . 研究組織

本学の研究責任者：藤田医科大学 臨床栄養学 教授 飯塚 勝美

## 6 . 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

藤田医科大学 臨床栄養学講座

担当者：飯塚勝美

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329

e-mail:katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

作成日：西暦 2025 年 1 月 6 日(第 2 版)

西暦 2024 年 6 月 3 日(第 1 版)

## 下記研究に参加される方を募集します。

**研究課題名：食事速度測定の個人内再現性と代謝パラメータとの関連についての検証**

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1．研究の対象

藤田医科大学に勤務する教職員、学生で下記を満たす方。

1. 本研究の参加にあたり、十分な説明を受けた後に、十分な理解の上に、本人の自由意志による文書同意が得られた職員、学生
2. 同意取得時に 20 歳以上 60 歳以下の職員、学生

### 2．研究目的・方法・研究期間

まずテスト食（冷凍の鮭弁当のおかずとレトルトご飯）を異なる日（2 週間くらい開ける）に 2 回食べていただき、食べる速度や食べる順番、咀嚼回数が変わるかを測定します。2 回とも同一の傾向であれば、1 回だけの検査で個人の食事の癖が評価できると思われます。また、食事速度は性別や年齢で補正しても、個人の栄養摂取量や代謝状態（HbA1c、血液脂質、尿酸、腎機能など）と関連が見られるかを探索的研究として明らかにします。上記研究を行うことで、テスト食の摂取速度を栄養治療における新規の指標として用いることが可能になります。ビデオは食事を撮影し、本人の姿は映らないため、個人が特定されることはありません。1 回目のテストから 1 週間以上 1 ヶ月以内（2 週間後を推奨）にもう一度テスト食による試験を行います。参加者には、食事のたびに 500 円の QUO カードを進呈します(計 2 回)。期間は、倫理審査委員会承認日から 2027 年 3 月までを予定しています。この研究は、本学内の講座研究費及び研究助成金（鈴木謙三記念医科学応用研究財団）の研究費を用いて行います。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。EBNJAPN DHQ サポートセンターに BDHQ 調査票を提供し、栄養素とエネルギー量を計算していただきます。

### 3．研究に用いる試料・情報の種類

食物摂取頻度調査票（BDHQ）、検診データ（HbA1c、T-Chol、TG、HDL C、Cre、BUN、eGFR）、身長、体重、血圧、握力、BMI、体組成（体脂肪量、筋肉量、骨格筋量（SMI））、食事摂取時間、咀嚼回数、食事

### 4．参加のお問い合わせ

藤田医科大学 臨床栄養学講座

担当者：飯塚勝美、出口香菜子

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329 0562-93-9975

e-mail: [katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp](mailto:katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp) [kanasakuran@gmail.com](mailto:kanasakuran@gmail.com)

作成日：西暦 2024 年 7 月 3 日(第 3 版)  
西暦 2023 年 5 月 7 日(第 2 版)  
西暦 2023 年 1 月 16 日(第 1 版)

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

**研究課題名：**若年低体重女性における栄養状態の実態調査

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1．研究の対象

2022 年度職員健診で低体重(BMI<17.5)を指摘され、藤田医科大学病院栄養評価外来に紹介された患者(2022 年 11 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに初診で受診された方で男女含む)

また、2012 年度から 2022 年度の職員健診を受診した 20 歳から 65 歳までの男性および女性の方。

### 2．研究目的・方法・研究期間

現在、モデル体型として若い女性の間でシンデレラ体重という言葉が飛び交っています。

シンデレラ体重とは BMI 18 の人を指しますが、一般的には低体重とされる体重です。

しかし、若い女性の低体重は社会問題になっており、不妊、将来の糖尿病発症、骨折などのリスクを抱えることとなります。しかし普通は病院受診のきっかけが無いので、実態は不明な点が多いです。そのため、当院の検診で BMI<17.5 の方を対象に、栄養状態、ビタミン欠乏症の頻度、体組成について調査します。

方法は、カルテを用いて下記の情報を収集し、ビタミン欠乏の比率、低栄養の重症度、体組成の実態について調べます。期間は研究が承認されてから、2027 年 3 月 31 日までです。今年度の職員健診を受診した 20 から 40 歳までの女性(BMI、握力、血圧、HbA1c、総コレステロール、リンパ球数)及び男性(BMI、年齢)の方については、名前がすでにわからない状態で健診受診時の情報を提供いただき、正常範囲の設定に利用します。また、2012 年度から 2022 年度の職員健診を受診した 20 歳から 65 歳まで男性および女性の方について、年齢、性別、BMI、身長、体重とともに、栄養マーカー(総コレステロール、リンパ球数、ヘモグロビン)、代謝マーカー(HbA1c、トリグリセリ

ド、non HDL コレステロール) を名前がすでにわからない状態で提供していただき、  
経年変化を観察します。

### 3 . 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

- 性別、年齢、身長、体重、BMI、
  - 20 歳時、1 年前の、現在の体重と BMI
  - 握力 (右、左)、下腿周囲長、血圧
  - 体脂肪率、骨格筋量、内臓脂肪指数 (Inbody で測定)
  - 食品摂取頻度調査の結果 (総エネルギー、各栄養素摂取量、食品摂取の頻度など)
  - 下記検査データ (健診時及び栄養評価外来の紹介受診時\*)
- ヘモグロビン、WBC、リンパ球数、総コレステロール、トリグリセリド、LDLc、  
HDLc、アルブミン、プレアルブミン、FT<sub>4</sub>、TSH、ビタミン B1、B12、葉酸、25OH  
ビタミン D、ALP、BAP、TRACP-5b、カルシウム、リン、クレアチニン、BUN、  
eGFR、HbA1c、CRP
- \*       は 6 ヶ月以内
- 併存疾患 (低栄養の鑑別で新たに分ったものを含む)

観察時期：2022 年度健診、健診後二次検診受診後 (検診から大体 6 ヶ月以内)。

観察期間：検診後に紹介受診され、採血結果が全て判明した時点。

2012 年から 2022 年度までの健診データ (個人がわからない状態で健康管理部より供与)  
年齢、性別、BMI、身長、体重、総コレステロール、リンパ球数、ヘモグロビン、代謝マ  
ーカー (HbA1c、トリグリセリド、non HDL コレステロール

### 4 . 外部への試料・情報の提供

外部への情報の提供はありません。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理しま  
す。

### 5 . 研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

### 6 . 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。さらに、研究への不参加あるいは途中で参加を取りやめることによって、勤務評定などにおいて不利益な取扱いを受けることはありません。

なお、健康管理部より提供いただく 20 歳から 65 歳の男女のデータに関してはすでに匿名化された後のデータで個人が特定できないため、研究参加拒否の申請があっても削除できません。

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 臨床栄養学講座

担当者：飯塚 勝美

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329

e-mail:katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

作成日：西暦 2023 年 5 月 7 日(第 2 版)

西暦 2023 年 1 月 16 日(第 1 版)

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：若年低体重女性における栄養状態の実態調査

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1．研究の対象

2022 年度職員健診で低体重(BMI<17.5)を指摘され、藤田医科大学病院栄養評価外来に紹介された患者(2022 年 11 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに初診で受診された方で男女含む)

また、2012 年度から 2022 年度の職員健診を受診した 20 歳から 65 歳までの男性および女性の方。

### 2．研究目的・方法・研究期間

現在、モデル体型として若い女性の間でシンデレラ体重という言葉が飛び交っています。

シンデレラ体重とは BMI 18 の人を指しますが、一般的には低体重とされる体重です。

しかし、若い女性の低体重は社会問題になっており、不妊、将来の糖尿病発症、骨折などのリスクを抱えることとなります。しかし普通は病院受診のきっかけが無いので、実態は不明な点が多いです。そのため、当院の検診で BMI<17.5 の方を対象に、栄養状態、ビタミン欠乏症の頻度、体組成について調査します。

方法は、カルテを用いて下記の情報を収集し、ビタミン欠乏の比率、低栄養の重症度、体組成の実態について調べます。期間は研究が承認されてから、2027 年 3 月 31 日までです。今年度の職員健診を受診した 20 から 40 歳までの女性(BMI、握力、血圧、HbA1c、総コレステロール、リンパ球数)及び男性(BMI、年齢)の方については、名前がすでにわからない状態で健診受診時の情報を提供いただき、正常範囲の設定に利用します。また、2012 年度から 2022 年度の職員健診を受診した 20 歳から 65 歳まで男性および女性の方について、年齢、性別、BMI、身長、体重とともに、栄養マーカー(総コレステロール、リンパ球数、ヘモグロビン)、代謝マーカー(HbA1c、トリグリセリ

ド、non HDL コレステロール) を名前がすでにわからない状態で提供していただき、  
経年変化を観察します。

### 3 . 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

- 性別、年齢、身長、体重、BMI、
  - 20 歳時、1 年前の、現在の体重と BMI
  - 握力 (右、左)、下腿周囲長、血圧
  - 体脂肪率、骨格筋量、内臓脂肪指数 (Inbody で測定)
  - 食品摂取頻度調査の結果 (総エネルギー、各栄養素摂取量、食品摂取の頻度など)
  - 下記検査データ (健診時及び栄養評価外来の紹介受診時\*)
- ヘモグロビン、WBC、リンパ球数、総コレステロール、トリグリセリド、LDLc、  
HDLc、アルブミン、プレアルブミン、FT<sub>4</sub>、TSH、ビタミン B1、B12、葉酸、25OH  
ビタミン D、ALP、BAP、TRACP-5b、カルシウム、リン、クレアチニン、BUN、  
eGFR、HbA1c、CRP
- \*       は 6 ヶ月以内
- 併存疾患 (低栄養の鑑別で新たに分ったものを含む)

観察時期：2022 年度健診、健診後二次検診受診後 (検診から大体 6 ヶ月以内)。

観察期間：検診後に紹介受診され、採血結果が全て判明した時点。

2012 年から 2022 年度までの健診データ (個人がわからない状態で健康管理部より供与)  
年齢、性別、BMI、身長、体重、総コレステロール、リンパ球数、ヘモグロビン、代謝マ  
ーカー (HbA1c、トリグリセリド、non HDL コレステロール

### 4 . 外部への試料・情報の提供

外部への情報の提供はありません。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理しま  
す。

### 5 . 研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

### 6 . 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。さらに、研究への不参加あるいは途中で参加を取りやめることによって、勤務評定などにおいて不利益な取扱いを受けることはありません。

なお、健康管理部より提供いただく 20 歳から 65 歳の男女のデータに関してはすでに匿名化された後のデータで個人が特定できないため、研究参加拒否の申請があっても削除できません。

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 臨床栄養学講座

担当者：飯塚 勝美

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329

e-mail:katsumi,iizuka@fujita-hu.ac.jp

## 食事摂取速度測定法と食事の種類による違いに関する検討 という研究に参加していただける方を募集しています。

### 研究の目的：

食事を食べる速度が病気や栄養状態と結びついている可能性はあるのですが、未だ証明されていません。何らかの基礎疾患が発症した場合には、将来的に肥満や痩せなどの栄養障害が発症する恐れがあります。そのため、食事を食べる際の速度や癖を知ることによって将来の栄養障害を予防できる可能性があります。

### 募集対象：

藤田医科大学病院に勤務する教職員、学生で下記を満たす方。

1. 本研究の参加にあたり、十分な説明を受けた後に、十分な理解の上に、本人の自由意志による文書同意が得られた職員、学生
2. 同意取得時に 20 歳以上 65 歳以下の職員、学生

#### (注意)

研究への不参加あるいは途中で参加を取りやめることによって、勤務評定や学業成績などにおいて不利益な取扱いを受けることはありません。

### 協力していただくこと：

朝ごはんから 4 時間空けて、昼食として、普通市販されているピザもしくはパンケーキを食べるスピード、噛む回数を測ります。違う日に、ハンバーグ定食とサラダを食べていただきます。

サラダから先に食べる場合、ハンバーグとご飯から食べる場合の 2 回行います。なお、身長（自己申告）、体重、筋肉量、体脂肪量、血圧、握力を測定します。

募集人員：20・30 人程度

謝礼：1 回の食事につき、500 円の QIO カードを進呈します。(最大 1500 円)

連絡先：臨床栄養学講座 飯塚 勝美にメールにてご連絡ください。

メール：katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

作成日：西暦 2024 年 1 月 12 日

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：食事調査に基づくビタミン欠乏とその原因の実態調査

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1．研究の対象

2021 年 12 月から 2023 年 11 月に藤田医科大学病院 国際医療センターで検診を受けた方

### 2．研究目的・方法・研究期間

目的

藤田医科大学病院 国際医療センターの検診では、ビタミンの測定だけでなく、口腔評価、内服薬（制酸薬、糖尿病薬）、内分泌機能（甲状腺）、ピロリ抗体、胃内視鏡の検査を同時に行なっているため、この研究では、ビタミン欠乏の頻度および原因の実態調査を行います。

方法

カルテからビタミン濃度、内服薬の情報、口腔機能評価、内分泌機能（甲状腺）、ピロリ抗体などのビタミン欠乏の原因がビタミン欠乏の有無でどう変わるかを調べます。またロジスティック回帰分析を行い、上記の原因がどのようにビタミン欠乏に寄与するかを明らかにします。

研究期間

承認日～2027 年 1 月 31 日

### 3．研究に用いる試料・情報の種類

情報：内服薬、既往歴、アルコール摂取量、サプリメントの服用歴、カルテ番号、血液検査データ（ビタミン B1、B12、25OHD、TSH、FT4、アルブミン、プレアルブミン、CRP、リンパ球数、コレステロール、Conut Score）、口腔フレイル検査、義歯の本数

### 4．外部への試料・情報の提供

なし

## 5 . 研究組織

本学の研究責任者：藤田以下大学医学部臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

## 6 . 除外の申出・お問い合わせ先

情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方に  
ご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお  
申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生  
じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範  
囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 医学部 臨床栄養学講座

担当者：飯塚 勝美

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329

e-mail:katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と  
研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

## 揭示文書

### 入院中食事アンケートを用いた食欲低下に関連する因子 の同定に関する横断的観察研究

低栄養リスク患者の早期発見、早期栄養介入を目的とした研究  
についての案内です。

研究期間：倫理審査委員会承認日～2027年3月31日

研究対象の期間：2022年1月1日・2026年3月31日

#### 研究の概要、試料・情報の利用目的及び利用方法

皆さんが入院中に提出された、食事満足度調査(食事に関するアンケート調査)を二次利用し、食欲が低下している人の原因を調べる研究をしています。結果を用いて、食欲低下をきたしやすい人を割り出し、早めに管理栄養士が食事の提案をすることを目指します。また、食欲低下と食事の満足度との関係を調べます。

**なお、全て匿名のデータを利用するため、どの方のデータを利用したかを確認する手段がないので、申し出ても研究データから削除することはできません。**

#### 利用し、又は提供する試料・情報の項目

アンケートは無記名で、アンケートで聞かれた結果(年齢、性別、入院期間、食種、入院病棟及び体格の情報(BMI)、食欲低下の原因(味覚障害、下痢、便秘、嘔吐、歯の痛み、全身の痛み、発熱、口内炎)、食事満足度

#### 利用する者の範囲

藤田医科大学病院の入院患者で、食事満足度調査に答えていただいた患者

#### 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚 勝美

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること。

#### 該当しない

なお、研究にかかる費用は学内の講座研究費により支払い、外部からの資金提供はありません。

**研究資金：** 本学内の講座研究費を使用する。外部の研究資金を受けない。

**物的・人的支援：** 外部の物的・人的な支援を受けない。

**利益相反：** 研究責任者と研究分担者に、本研究に係わる開示すべき利益相反はない。藤田医科大学利益相反委員会へ申請を行い、利益相反マネジメントを受ける。

#### 相談窓口

藤田医科大学医学部臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

電話：0562-93-2329

メールアドレス：katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

研究機関の名称並びに研究機関の長及び研究責任者の氏名

研究期間の長：藤田医科大学 学長 湯澤由紀夫

研究責任者：藤田医科大学 医学部 臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

HM23-111 健診受診者における食品頻度摂取調査と食事記録アプリの比較検討の研究に参加された皆様へ

**酢酸摂取量の実態調査及び各種栄養素摂取量、体組成の関連についての検討という研究を行います。**

#### 研究の目的：

我々は酢酸自体の効果よりむしろ“酢酸”を使った料理の持つ食品には栄養素の多様性があり、これが栄養状態に影響するのではないかと考えました。

また、従来の食品摂取記録調査では調味料での酢酸摂取量しか評価できず、食べ物に入っている酢酸量を推定することは困難だったので、我々が開発した7日間の食事記録アプリでの記録により食事摂取量を評価する方法を利用して、酢酸摂取量と食物繊維などの各種栄養素、食品多様性との関連を明らかにします。酢を使った料理の摂取量から、食品多様性が類推できるのであれば、食事記録アプリへ表示し、酢を使った料理の摂取を促すなど簡便な栄養指導の創出につながると考えました。

本研究では150名の方に食事記録アプリでの測定を行いますが、大変人手も手間もかかる研究であるため、HM23-111研究の結果(59名)を部分的に二次利用します。

対象者は以下のとおりです。

\* 新規に食事記録アプリの記録及びBDHQを行う方 150名

\* 以前の研究でBDHQと食事記録アプリを行った方 59名(承認番号HM23-111)

この文書は、以前の研究でBDHQと食事記録アプリを行った方 59名(承認番号HM23-111)を対象にしたものです。

HM23-111研究に参加された方に関して、情報を利用するのは以下のとおりです。

研究の概要、試料・情報の利用目的及び利用方法

2022年度に実施した食事記録アプリと食物頻度摂取調査(FFQ、BDHQ)の試験結果を標準データとして再利用します。

利用し、又は提供する試料・情報の項目

年齢、性別、身長、体重、BMI、握力

健診時採血データ(Hb、HbA1c、T-Chol、TG、HDLc、non HDLc、リンパ

球数)

BDHQ 及び食事記録アプリにおける栄養素及びエネルギー量

項目：エネルギー量、酢酸摂取量、炭水化物、脂質、たんぱく質、各種  
ビタミン摂取量、飽和および不飽和脂肪酸量、コレステロール、n-3 系及  
び n-6 系不飽和脂肪酸、食物繊維(水溶性、不溶性、総量)、食塩、Fe、  
Ca)、アルコール摂取量、及び食品多様性スコア(DVS)

利用する者の範囲

20-60 歳の当大学の教職員

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・  
情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること。該当者でこの研究で  
使用したくない人は申し出ていただき、データから除外することが可能です。

の研究対象者又はその代理人の求めを受け付ける方法、及び相談窓口

藤田医科大学臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

メール：katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp 電話：0562-93-2329

研究機関の名称並びに研究機関の長及び研究責任者の氏名

研究機関の長:藤田医科大学 学長 湯澤由紀夫

研究責任者：藤田医科大学臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

作成日：西暦 2022 年 06 月 29 日

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：栄養関連転写因子と悪性腫瘍の重症度との関連に関する観察研究

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1．研究の対象

2019 年 1 月～2019 年 12 月に当院で大腸がんの手術を受けられた方（バイオバンクへサンプル保存の同意を頂いた方）

### 2．研究目的・方法・研究期間

食事とがんの関係（特に悪性度）を明らかにするため、栄養素で活性化される転写因子（遺伝子のスイッチ）と標的遺伝子（食べ物の吸収・代謝に関わるもの）の遺伝子発現量（働き具合）とがんの悪性度を調べることで、将来的に治療の目印にできるかを調べます。

方法は、それぞれのがん（胃癌、大腸癌、肝臓癌）に対して、手術で採取した癌と正常部分における上記遺伝子の発現量を定量的 PCR 法で測定し、年齢などを考慮した上で癌の悪性度と比較します。

研究期間は倫理審査委員会承認日～2026 年 3 月 31 日です。

### 3．研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、臨床的に診断されたステージ（画像検査データ、病理組織データ）、BMI、化学療法の有無、がんの場所、飲酒量

血液データ（血算、血糖、HbA1c、脂質、腎機能、HBsAb、HCVAb、ANCA、アルブミン、白血球数、Prognostic nutritional index (PNI)、インスリン、C ペプチド、Fib-4 index、HOMA-R)

試料：手術で摘出した組織（癌、正常）

### 4．外部への試料・情報の提供

ありません。

## 5 . 研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚 勝美

## 6 . 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 臨床栄養学講座

担当者：飯塚勝美

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329

e-mail:katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。